

講師・支援研究者・協力者紹介

講師（番組担当）

太田 満（おおたみつる）

北海道赤平市生まれ。天理大学外国語学部ロシア語学科卒業。外国語学士。
旭川アイヌ語教室講師。ロシア語・ルーマニア語法廷通訳。
北海道教育大学旭川校非常勤講師。ラジオ講座教科書校閲も担当。

支援研究者（教科書執筆担当）

井筒 勝信（いつつかつのぶ）

神奈川県横浜市生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。
北海道教育大学旭川校助教授。
専門は機能主義・認知言語学に基づく西洋語・東亜語対照研究。

協力者

文化指導・資料提供・録音協力（声の出演）

川村シンリツ・エオリパック・アイヌ（兼一）

旭川市近文コタン生まれ。川村カ子トアイヌ記念館第三代目館長。
1987年より旭川アイヌ語教室を主宰し、イオマンテを行うなど積極的に民族の精神と伝統・文化の保存と発展に努めている。祖父君はコタンコロクルで記念館初代館長のイタキシロマ翁。
父君は測量技師としてもアイヌ文化伝承者としても著名な
記念館第二代目館長川村カ子トゥカアイヌ翁。

杉村 フサ

旭川市近文コタン生まれ。
夫君の故杉村満氏と共に旭川アイヌ語教室の開設以来の主要な構成員で、近年ではアイヌ語上級講座講師も勤める。刺繍、踊り、料理を中心に民族の伝統・文化の保存と普及に努めている。
母君はアイヌ語・アイヌ文学の伝承者として名高い杉村キナラブック媼。

教科書執筆協力（ドリル原案作成）

手塚 順孝（てづかよりたか）

東京都板橋区生まれ。中央大学大学院文学研究科博士前期課程修了。修士（文学）。
米国ポートランド州立大学大学院TESOL修士課程修了。英語科教授法修士。
中央学院大学兼任講師・明治大学法学部非常勤講師。
専門は言語政策・言語教育を対象とした認知言語学的研究。ラジオ講座教科書校閲も担当。

録音協力（声の出演）

太田 奈奈（旭川チカップニ・アイヌ民族文化保存会）
川村 久恵（旭川チカップニ・アイヌ民族文化保存会）
川村 愛（旭川チカップニ・アイヌ民族文化保存会）
川村 晴道（旭川チカップニ・アイヌ民族文化保存会）

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール

月	日	タイトル	ページ
1月	2日	ユカル（1）	5
	9日	ユカル（2）	7
	16日	ユカル（3）	9
	23日	ユカル（4）	11
	30日	ユカル（5）	13
2月	6日	アイヌ語教室	15
	13日	ウエランカラブ（1）	17
	20日	ウエランカラブ（2）	19
	27日	練習問題（8）	21
3月	6日	カムイノミ（1）	23
	13日	カムイノミ（2）	25
	20日	カムイノミ（3）	27
	27日	練習問題（9）	29

【旭川アイヌ語教室の活動について】

旭川アイヌ語教室は、毎週日曜日、18時30分から21時まで、旭川市市民生活館で開講されています。年齢、性別などいかなる条件も問わず、どなたでも歓迎します。お問い合わせは、

川村カ子ト アイヌ記念館（電話0166-51-2461）

までお気軽にご連絡下さい。また、記念館公式ホームページ（<http://www.g-web.co.jp/ainu/>）もご覧下さい。

アイヌ語旭川方言：発音と表記法

アイヌ語旭川方言

本年度のアイヌ語ラジオ講座では、旭川方言を学びます。ここで旭川方言と呼ばれるのは、主に石狩川中流域から上流域にかけての地域で話されていた言葉です。石狩方言と呼ばれることもあります、「石狩」という地名を用いると札幌を中心とする現在の石狩支庁を想起しやすく誤解を招きやすいことからこの名称を避け、むしろ当該方言話者の主な生活地であり、またこの方言のアイヌ語教室の開催地でもある「旭川市」から名前を取って旭川方言と呼ぶのが慣習的になっています。

旭川方言は、石狩川にあるカムイコタンより下流に住むパニウンクル（川下の人）の言葉とカムイコタンより上流に住むベニウンクル（川上の人）の言葉の二つに下位分類されます。それぞれ、空知方言と上川方言と呼ばれることもあります。これら二つの下位方言は、他の地域の方言と比べれば互いに極めて似通っているのですが、パニウンクルとベニウンクルの人々は互いの微妙な言葉遣いの違いを意識していたようです（第一期の教科書 *kampinuye 6* の「文化的背景」の項を参照）。このような方言上の差異はそれぞれの地域のアイデンティティーを象徴するものであったのか、川下から川上へあるいはその反対に移り住んだものは行った先の言葉を使うよう強く勧められたり、元の地方の言葉をあからさまに使い続けると、たしなめられたりもしたそうです。

また、目下調査中のため、まだはっきりとしたことは言えないのですが、古い資料などから石狩川の下流域から河口にかけての地域で話されていた言葉も旭川方言とおおむね同様な方言であった可能性が示唆され始めています。もし、この示唆が事実であるとなると、上川方言と空知方言からなる旭川方言と石狩川下流域の方言全てを包括するより大きな方言は「石狩方言」と呼ぶのがふさわしいかもしれません。この方言は全て石狩川筋に分布するわけですし、札幌の一部もこの方言圏に属することになるからです。このようなことを考えると、今後これらの方言に関して行われる研究の動向からは目が離せません。

アイヌ語旭川方言の発音

アイヌ語の他の方言と同様、旭川方言でも意味の違いを生じる音の最小単位（音素と呼ばれます）は、ア、エ、イ、オ、ウの五つの母音とカ、サ、タ、ナ、ハ、マ、ヤ、ラ、ワ、チャ、パの中でアの前に響く11の子音（アルファベットでは、*k, s, t, n, h, m, y, r, w, c, p* と表記されます）を合わせた計16個だけです。ただし、意味の違いを生じないものの、カケコク、サソス、タテト、チャチェ、パベビポプの代わりにそれとはやや異なる響きを持つ音（異音と呼ばれます）が用いられることもあります。カケコクの代わりにガゲゴゲ（例：インカラをインガラ）、サソスの代わりにシャショシュ（例：ソモをショモ）、タテトの代わりにダデド（例：ネコンタをネコンダ）、チャチェの代わりにジャジェまたはザゼ（例：アチャボをアジャボまたはアザボ）、パベビポプの代わりにバベビボブ（例：タンペをタンベ）が使われることがあります。これら交替する音同士（異音同士）はどちらを使っても基本的には良いのですが、旭川方言としてより頻繁に使われる音というのも実際あるようで、パベビボブの代わりのバベビボブはその代表的なものです。

これらの他にも、幾つか注意すべき音の変化があります。まず、子音終わりの語に母音で始まる語が続く場合、終わりの子音と始まりの母音はしばしば繋げて発音されます。

n_a → na	nekon_a n ... /nekon a n/	どんな…
----------	---	------

次に、歯ないしは歯茎で作られる子音は、前後の子音の影響を受けて変化しやすいようです。前の音の影響を受ける例として、nやrに後続するyの脱落が挙げられます。

n_ya → na	...a n_ya /a n a/	…あるの？
r_ya → ra	nuka r_ya n /nuka r a n /	見てください

また、歯ないしは歯茎で作られる子音が（多く同様に歯ないしは歯茎で作られる）別の子音に後続されると、次のように後続の子音の影響を受けて変化しやすくなります。

r_t → tt	ku=kor_t uresi /kukot t uresi/	私の妹
r_c → tc	an=kor_c ise /ankot c ise/	私たちの家
n_s → ys	pon n_su /po y su/	小さな鍋
r_r → nr	...ku=kor_r usuy /kukon r usuy/	私は…が欲しい
r_n → nn	...nankor_r na /nankon n a/	…んだぞ

n_y → yy	...yak a n =_y e /yakay y e/	…だそうだ
n_w → ww	...a n =_w ente /a w wente/	私たちは…を駄目にした

中には、次に挙げた組み合わせのように、二つの子音の両方が変化することもあります。

n_w → mm	oka=a n_w a... /oka a m m a/	私たちはいて…
----------	---	---------

一方、アクセントは原則として二つ目の母音（a, e, i, o, u）に置かれます。但し、一つ目の母音の後に子音が二つ続く場合は、一つ目の母音にアクセントが置かれます。アクセントの置かれる母音は、やや高め、やや強め、やや長めに発音されます。

menoko「女（の子）」：一つ目の母音eの後に子音がn一つしかないので、二つ目の母音oにアクセント。
aynu「人間」：一つ目の母音aの後はyとnの子音二つが来るので、一つ目の母音aにアクセント。
kor「持つ」：母音はo一つなので、この唯一の母音oにアクセント。

中には、一つ目の母音の後に一つしか子音が後続しないのに、一つ目の母音にアクセントが置かれる語がわずかながら存在します（yukar, hure, totek, topen etc.）。講座で発せられる実際の発音に耳を傾けて、用いられるそれぞれの語のどの母音にアクセントがあるかに注意を配りながら、慣れていって下さい。

アイヌ語の表記法

アイヌ語には、比較的最近まで正書法というものが存在しませんでした。研究の場で比較的長きに渡って実践されてきたアルファベットとカタカナ併記による表記法が『アコロイタッ』（北海道ウタリ協会1994）という教科書で採択され、それが正書法に近い形で確立されました。本講座でも、教科書の本文ではこの表記法にならいますが、旭川アイヌ語教室での実践に従ってアルファベット表記を優先的に用い、カタカナは発音などを捉えやすくするための補助的な使用にとどめます。従って、本文以外の解説でのアイヌ語表記には基本的にアルファベットを用いています。これは、アイヌ語以外の言語を母語とする人がアイヌ語を学ぶ際の便宜を図るもので、今後の正書法確立に対して何ら特定の示唆を意図したものではないことを申し添えておきます。

アイヌ語の文体

日本語でも口語体と文語体の区別があるようにアイヌ語にも類似した文体の区別があるようです。これは、第一期の教科書の *kampinuye sine*（第一課）の文化的背景で紹介したように、動詞に見られる「単数と複数」という文法的（形式的）な区別と意味・機能上で関係が深いようです。親しいもの同士で交わされる日常的な会話や文学性の必ずしも高くない語り物で用いられるのが口語体とでも呼ぶことが出来る文体で、これは方言的な差異も大きく時にはぶっきらぼうな言い方に響くこともある言葉遣いです。それに対して、初対面の人同士やあるいは社会的地位に差のある者同士の間で交わされるより正式な言葉遣い、文学性の高い語り物ないしは謡い物で用いられる言葉遣いは文語体とでも呼ぶことが出来る文体で、しばしば丁寧な言い回しと受け取られます。

子供の自然な言語獲得という観点から見ると、口語体を身に付けるほうが圧倒的に早く、文語体はそれよりも大分後になってから獲得されるはずなのですが、大人が別の言語を母語として身に付けた後に異言語としてアイヌ語を学ぶとなると最初に口語体のみを学び始めるのは余り得策とはいえません。ある意味ではぶっきらぼうな、またある意味では子供っぽい言葉遣いをするようになるからです。

そこで、第一期の前半では同じ口語体でも完全な略式の言い回しではなく、やや文語寄りの正式な言い回しを先ず取り上げ、第一期の後半で略式の言い回しを学ぶことにしました。そうすることで、学んだ表現をすぐさま使ったとしても、大人の言葉遣いとしてそれほど不適切ではないアイヌ語で会話が出来よう配慮しました。これを受けて、第二期では口語的な略式の言い回しと文語的な正式な言い回しの両方を織り交ぜながら、方言や年齢による差異も取り入れることによって、現代アイヌ語会話の多様な有り様を描き出そうと試みました。第三期からは、これら会話に加えて本格的な文語（文芸語あるいは雅語）を学び始めました。自叙という形で展開するアイヌ文学のジャンルのうち、神々の物語（旭川ではオイナと呼ばれます）と人々の物語（旭川ではトゥイタクと呼ばれます）を取り上げました。今年度最後となる第四期では、アイヌ文学の真髄とも言える英雄の物語（いわゆるユーカラ）から、会見の辞、祈りの言葉（いわゆるカムイノミの言葉）に至る、アイヌ文化の深い部分に関わる本格的な文語に挑戦します。

kampinuye 40 (ine hot): ユカル(1)

カンピヌイエ　イネホツ

Tomisanpeci トミサンベツ	トミサンベツ	iki=an_awa イキアナワ	そうしたところ
Sinutapka ta シヌタツカタ	シヌタブカに、	u poro kotantay ウポロコタンタイ	大きい村の立ち並ぶところ
yaykonisnu=an kor ヤイコニ シ (ヌ)アンコロ	私が独り暮らして	an=_yaysirepare アイヤイシレパレ	に私は着いて
okay_=as_awa オカヤサワ	いると	inkar_=an_awa インカラナワ	見てみると、
sineanta シネアンタ	ある時、	kotan noski ta コタンノ シ キタ	村の真ん中に
inu=an_hike イヌアニケ	聞いたところ、	u poro cise ウポロチセ	大きな家が
tupesan kotan トゥベサンコタン	八つの村が	as kusu アックス	建っていたので
unisuk wa ウニス ツ ワ	集まって、	rorunpuyar ロルンプヤ ラ	上座の窓
i=kohopuni イコホプニ	私を襲う	teksamake テッサマケ	の側に
etoko haw エトコハウ	準備をしているという話	an=kosirepa アンコシレパ	行って
an sekor アンセコロ	があると	rorunpuyar ロルンプヤ ラ	上座の窓の
inu=an kusu イヌア ン クス	私は聞いたので、	puyarorotpe プヤラオロ ッ ペ	簾の
taporowano タポロ ワ ノ	それから、	sepka utu セツカウト ル	編み糸の隙間
homar ホマ ラ	微かな	an=kosismasanasan アンコシ シ マサナサン	に目を大きく見開いて
kamuymaw sirka カムイマウシ ル カ	神の風の上に	inkar_=an_awa インカラナワ	見てみると
an=mawnoyere アンマウノイ レ	私の風を絡ませ	rorun_so ka ta ロルインカ タ	上座に
enontasino エノンタシノ	どこかへ	tupesan kotan トゥベサンコタン	八つの村の
tu atuy oika トゥアトウイオイカ	二つ海を越え	utarpa patek ウタ ラ パ テ ッ	旦那衆ばかりが
re atuy oika レアトウイオイカ	三つ海を越え	utaperari ウタペ ラ リ	肩を並べ
an=_ehopuni アネホプニ	私は飛んで行った	iku haw ene okay_hi イクハウエネオカイ	酒を飲んで言うには

学習の要点

1. yaykonisnu

yaykonisnuは「**独り**でいる」ことを指す語で、ある時には「**寂しい**」、またある時には「**退屈である**」といった意味を持ちます。ユカルなどの英雄の物語では、主人公（語り手）の暮らす様子を描写するのにしばしば用いられます。

ramma kane kemeyki patek ikarkar patek	いつも裁縫だけ 刺繍だけ
an=_yaynewsarka_wa okay_=as awa.	で退屈しのぎをして いた。
sinean to ta	ある日
yaykonisnu =as kusu /hun/ aynu mosir mosir so	一人暮らしで退屈なので 人間の国あたりに
ci=kohosari inkar_=as awa	振り向いてみたところ

2. sineanta/nisatta

本文にある**sineanta**はsinean hi ta（ある・時・に）が約まった形、次の課で出てくる**nisatta**はnisat ta（明け方・に）が約まった形で、それぞれ「**ある時**」、「**明日**」を意味する語です。sineantaに似た表現に、sinean to ta「ある日」などがあります。nisattaは、元来の意味から考えると「朝に」のような意味の表現ですが、このように「朝に」という表現が「明日」という意味を持つようになる現象は他の言語にもみられるようです。日本語の「あした」も「朝（あした）に紅顔ありて夕（ゆうべ）に白骨となる」のように元来「朝」を意味する語です。英語の tomorrowは本来「朝」という意味を持っていた morrowにtoを付けて作られていますし、ドイツ語の morgensもMorgen「朝」にsを付けて派生された語です。

3. e-/ko-/o-

動詞に付く接頭辞で、(e)ne「～へ」、ta「～に、～で」、wa「～から」、ani「～で」、tura「～と」などの助詞に似た意味を持ちます。e-やko-は、hopuni「**飛んで行く**」やsirepa「**到着する**」のように主語や目的語の指示対象の**移動を意味する動詞に付くと**、ehopuni「**～へ飛んで行く**」やkosirepa「**～に到着する**」の**ようにしばしばその移動の終点を表現します**。それに対して、移動をそれほど強く含意しない動詞に付くe-は、「～に、～で」のような場所、「～で」のような道具や材料の他、「～と共に」や「～について」など様々な意味を表します。

ehotke「～で寝る」	（< e-hotke で ・寝る）
etuye「～で～を切る」	（< e-tuye で ・を切る）
ekar「～で～を作る」	（< e-kar で ・を作る）

eyaykoitak「～について独り言を言う」	（< e-yaykoitak について ・独り言を言う）
eyaynewsarka「～で退屈・寂しさを紛らわす」	（< e-yaynewsarka で ・気分を紛らわす）

それに対して移動をあまり含意しない動詞に付くko-は、koasi「～の側に立てる（< **ko**-asi**と一緒に**・立てる）」やkomoyre「～で遅れる（< **ko**-moyre**と共に**・遅くなる）」のように「～と」程度の意味を付加するようです。o-もooman「～へ行く（< **o**-oman**へ**・行く）」や移動の動詞の前に付いて oran「～に降りる（< **o**-ran**へ**・降りる）」のように、移動の方向をあらわすことがあるようですが、e-やko-に比べて用いられる頻度が高くありません。ko-とo-はkouk「～から～を受け取る」やoitak「～から読む、～を音読する」のように「～から」という移動の起点を表すのにも使われやすい点がe-と異なる点です。

4. u

ここで扱っている英雄の物語や後ほど扱うことになる会見の挨拶、神への祈りなど正式な言葉（これまで教科書で扱ってきた言い方では文語体）を使う場合には、**口調を整えるために虚辞のuと呼ばれる要素がしばしば用いられます**。従って、基本的にはこの要素に特別な意味はありません。アイヌ語の韻文（オйна、ユカル、カムイノミなど）は、一節が5音節を基調とするように整えられる傾向があります（教科書では、一節を1行で表記しています）。uもそのように韻律にあわせるために用いられていると思われます。

今日の構文

tu...re...

同じ名詞（+動詞）をtu「二つの」とre「三つの」で修飾して作られる二つの句を併置することで得られる表現は、tu atuy oika re atuy oika「二つの海越え、三つの海越え」やtu metot oika re metot oika「二つの山越え、三つの山越え」などに見られ、**修飾される名詞の指示対象が「複数」、「多数」あるいは「連続的に」関与することを表します**。

enontasino tu atuy oika re atuy oika an=ehopuni iki=an awa....	どこへやら（私が）幾つかの海を越えて飛んでいくと…。
enontasino tu metot oika re metot oika an=ehopuni....	どこへやら（私が）幾つかの山を越えて飛んでいくと…。
tu kem ru etok re kem ru eto　an=sikkotesu....	幾針も幾針も縫う針先に（私は）目を遣り…
tu aynu kurmam re aynu kurmam cisipusure....	次から次へ人影が現れ…。
tu kotan ka re kotan ka opittano an=wente an=okere.	（私は）沢山の村々を全て破壊してしまった。
hokke=as ayne nani tu pirka mokor re pirka mokor ci=ki ayne....	（私は）横になるとすぐにぐっすりと眠って…。

文化的背景

Tomisanpeci Sinutapka: 英雄の物語の主人公 Poyyaunpe の居城がある場所の呼称で、「トミサンベツ・シヌタブカ」と音訳されます。太田満さんの『アイヌ語辞典稿』は、tomi-san-pet（豊かさ・下る・川）、sinutap-ka（川の湾曲部の内側あるいはそそり立つ崖・の上）という解釈を挙げ、「現在の浜益村で、天に届くほど尖った高い山があったが、江戸時代の砂金取りのため、今はなくなつたと言う」という川村マイサシマツツの説明を引用しています。永田方正著『北海道蝦夷語地名解』の石狩国浜益部の地名の中にトミサンベツがあり、「軍勢を出したる処　上古の土人「ポイヤウンベ」兵を出し戦争をせしは「ユーカリ」にあり今「ビサンベツ」と云」という解説が与えられています。ムイサシマツさんの説明はこれと一致します。但し、『地名解』ではトミの部分をつumi（戦争）と解釈している点が異なります。

今日の単語

an アン【自動詞】 ある、いる、暮らす、あらわれる 。（反 <i>isam</i> ; 複 <i>okay</i>):katu kor, tum kor（姿がを待つ、体を持つ）	kosismasanasan コシシマサナサン【他動詞】 ～に目を大きく開く 。:an=kosikuru wa an=siki an=maka（～を向いて目を開く）
an= アン【人称接辞】〔+動詞〕【 物語の中で 】私（が～する）。（類 <i>an=</i> ）;〔+名詞〕【 物語の中で 】私（の～）。:itak kur utar iki sekor an moymoykeitak etoko us（話し手が何かするという動詞の前に付く）	kotan コタン【場所名詞】 村、集落、町 。:or ta aynu cise kar wa okay hi（人が家を作り住むところ）
=an アン【人称接辞】〔動詞+〕【 物語の中で 】私（が～する）。（類 <i>=an</i>):itak kur iki sekor an moymoykeitak okake us（話し手が何かするという動詞の後ろに付く）	kotantay コタンタイ【名詞】 村の立ち並ぶところ 。:kotan okay hi（村が沢山あるところ）
as アッ【自動詞】 立つ 。（反 <i>a</i> ; 複 <i>roski</i>):rikin（高くなる）	kusu クス【接続助詞】 ～なので、～だから 。:〔節+〕[～する・した]ので、[～する・した]から。:〔iki +〕iki p an wa（～したことがあって）
=as アッ【人称接辞】〔動詞+〕【 物語の中で 】私（が～する）。（類 <i>ci=</i>):itak kur utar iki sekor an moymoykeitak okake us（話し手が何かする[が聞き手はしない]という動詞の後ろに付く）	mawnoyere マウノイ レ 【他動詞】（ 自分の ） 風を～に絡める 。:an=kor maw noye kuni iki=an（自分の風が～を捲るようにする）
atuy アトツイ【名詞】 海 。:or wano pet yan sippo o poro wakka（そこから川が陸にはいる塩の入った大きな水）	noski ノシキ【場所名詞】 ～の中央、～の真ん中 。:pa kes or wa tuyma hi（端から遠いところ）
awa アワ【接続助詞】〔文・動詞+〕（～する）と。:kor（～すると）	oika オイカ【他動詞】 ～を超える 。:(en)ka peka paye=an（～の上を渡る）
cise チセ【名詞】 家 。:an=uni（棲みか）	okay オカイ【自動詞】 ある、いる、暮らす、あらわれる 。（反 <i>isam</i> ; 単 <i>an</i>):katu kor, tum kor（姿を持つ、体を持つ）
ehopuni エホプニ【他動詞】 ～へ飛んで行く 。（類 <i>kohopuni</i>):ekota hopuni=an kor paye=an（～へ飛んで行く）	patek パテッ【副詞】 ～ばかり、～だけ 。:mosma okay pe isam no（他のものは無く）
ene エネ【副詞】 こう、そう、ああ 。（自分の思い描いていることを指して）こう、そう、ああ。:〔ene anの形で〕こんな、そんな、あんな。:〔ene 動詞句hi/katuの形で〕～の仕方、～する様子、～するには。:an=eramup p neno an（考えているような）	poro ポロ【自動詞】 大きい、大きくなる 。:somo poro（小さくない）、rupne（大きい、大きなる）
enontasino エノンタシノ【副詞】 どこへやら、いずくにか 。:ney ne ya ka an=erampetek hi ekota（どこだか分らないところへ）	puyarorotpe プヤロロッペ【名詞】 窓の簾 。:puyar or ta an=atte citarpe neno an pe（窓のところに掛ける真鍮のようなもの）
etok, etoko エトク エトコ【位置名詞】〔名詞+〕（時間的・空間的に）（ ～の・より ）前、〔文+〕 ～する前 、〔期間を意味する名詞句〕 ～前に :iwan pa etok ta六年前に。（反 <i>okake</i>):paye=an hi ta nukar=an easkay oro（進むとき見えるところ）	re レ【形容詞】 三つの 。:sinep wano tup uekari p（一つと二つが集まったもの）
haw ハウ【形式名詞】〔文・:〔文+〕（人から聞いたことから判断して）（ ～する・した ）こと、（ ～する・した ）という話。:an=ye p（言われたこと）	rorunpuyar ロルンプヤ ラ 【名詞】 東窓・神窓 。:epera an puyar（東にある窓）
hi ヒ【形式名詞】〔文+〕（ ～する・した ）こと。:〔文+〕（ ～する・した ）時:〔tan/taan/toan/nean +〕（こ・そ・あそ・そ）こ。:〔ene 動詞句 hiの形で〕（ ～する ）方法。:katu（～という様子）、hawe（～という話）	rorunso ロルンソ【名詞】 上座 。（しばしばroruyso/と発音。）:epera an so（東にある座）
hike ヒケ【接続助詞】〔文・動詞+〕（～する）と。:awa（～すると、～したところ）	sekor セコロ【助詞】 ～と 。:〔語、句、文+〕～と（言う、思う）。:yak, ari（～と）
homar ホマ ラ 【自動詞】 微かだ 。:ponno patek an（少しだけある）	sepka セツカ【名詞】 菓蔗の編み糸 。:citarpe ka, tusi（菓蔗の糸、紐）
i= イ【人称接辞】〔+動詞〕【 物語の中で 】私（を～する）、私（に～する）。:itak kur ekota iki=an sekor an moymoykeitak etoko us（話し手に対して何かがされるという動詞の前に付く）。〔+位置名詞〕【 物語の中で 】私の～。	sineanta シネアンタ【名詞・副詞】 ある時、ある日 。:sienan to ta（ある日に）
iki イキ【自動詞】する、そうする。（他 <i>ki, kan</i>):nep ka an=ki（何かをする）	sirka シカ【名詞】 刀の柄 。:emusi tuypoki, an=ani hike（刀の下端、持つ所）
inkar インカ ラ 【自動詞】見る、目をやる。（他 <i>nukar</i> ; 類 <i>ehowpa</i>):an=siki an=kiru（目を向ける）	ta タ【助詞】【場所名詞・位置名詞+】 ～に、～で 。:oma wa（～にあって、～にいて）
inu イヌ【自動詞】 聞く、耳を傾ける 。（他 <i>inu</i>):an=kisara an=kiru（耳を向ける）	taporowano タポロ ワ ノ【副詞】 それから、それで 。（類 <i>orowano</i>):neanpe ne ruwe ne kor（そのようであって）
ka カ【位置名詞】（ ～の接触した ）上。（反 <i>nok</i>):pake an hike（頭の側、顔の側）	teksamake テクサマケ【位置名詞】（ ～のすぐ ）側。:teke an=repa easkay hi（手を届かすところが出来るところ）
kamuymaw カムイマウ【名詞】 神の風 。:kamuy kor maw（神の風）	Tomisanpeci Sinutapka トミサンベツ・シヌタブカ【場所名詞】 トミサンベツ・シヌタブカ 。:Ruymoy samake ta an yak an=ye hi re（留萌の側にあると言われる所の名前）
kohopuni コホプニ【他動詞】 ～へ飛んで行く 。（類 <i>khopuni</i>):ekota hopuni=an kor paye=an（～へ飛んで行く）	tu トッ【形容詞】 二つの 。:sinep wano sinep uekari p（一つと一つが集まったもの）
kor コロ【接続助詞】〔文・動詞+〕（～し）ながら・つつ。:〔動詞kor an/okayの形で〕 ～している（最中である） 。（反 <i>uwa an</i>):kane（～の途上）	tupesan トゥベサン【形容詞】 八つの 。:wanpe akkari tup hayta（十までに二つ足りない）
kosirepa コシレバ【他動詞】 ～に着く 。:an=yaysirepare（～に着く）	u ウ【虚辞】口調を合わせるために用いられる。

kampinuye 41 (sinep ikasma ine hot):ユカル(2)

カンピヌイエ シネナйкаシマイネホツ

tupesan kotan トゥベサンコタン	八つの村の	kane kuntari カネクンタリ	金の酒汲みを
utarpa patek ウタꣳパパテꣳ	旦那衆ばかりが	etekomare エデコマレ	手にして
utaperari ウタペラリ	肩を並べ	ahun kusu アフンクス	入って来たので
iku haw ene okay_hi イクハウエネオカイ	酒を飲んで言うには	rekut tuypoki レクットウイボキ	首を
nisatta anakne ニサッタアナッネ	明日は	an= tametuye アナメトウイエ	切って殺した
u tanpe neno ウタンペネノ	このように	mutpe opitta ムツペオピッタ	佩く物全てを
u Poyyaunpe ウポイヤウンペ	ポイヤウンペを	an=mut_hine アンムチネ	身に付けて
an= tuypa kuni アトウイバクニ	私たちが斬ってやると	kane paykasa カネバイカサ	金の笠
u tekturi ウテクトゥリ	手を伸ばしたり	an=mut_emusi アンムテムシ	私の帯刀
u tekyoni kor ウテꣳヨニコロ	曲げたりして	opitta オピッタ	全てを
ikupa kane イクパカネ	大勢で酒を飲んで	an=honturasire アンホントゥラシレ	懐に入れて
okay kor オカイコロ	いた	kane kuntari カネクンタリ	金の酒汲みの
orowano オロワノ	それから、	sempirkehe セムピリケヘ	陰
peker_rera ne ペケンレラネ	澄んだ風になり	an= nanomare アナノマレ	に顔を隠し
cise onnay チセオンナイ	家の中に	ahun_ =an ki kor アフバンギコロ	入って行くと
ahun wa アフンワ	入って	utarpa utar ウタꣳパウタꣳ	旦那衆は
an=mawnoyere アンマウノイエレ	私の風を絡ませ	u kiroroan wa ウキロロアンワ	喜んで、
mosem sikkew ta モセムシꣳケウタ	玄関口の隅に	Cupkaunmat チュꣳカウンマツ	「チュブカの婦人
okay_ =as ki kor オカヤꣳキコロ	私がいますと	isoneka イーソネカ	よろこそ
Cupkaunmat チュꣳカウンマツ	チュブカの婦人が	i=konivasnu イコニワッヌ	私たちのところに馳せ参じ
inutua イヌトゥア	そろりと	i=ekarkar siri” イエカꣳカꣳシリ	られましたな」
		sekor itak kor セココイタツコロ	と言いながら

学習の要点

1. -pa

-paは動詞に付く接尾辞で、動詞が表す出来事のいずれかの要素が複数であることを表します。**自動詞につく場合は、「その動作をするもの（主語の指示対象）が複数存在する」か、「その動作が複数回行われる」ことを意味します**。本文で用いられているikupaは「大勢の人が酒を飲む」の意味で解釈されています。別の文脈では「何度も酒を飲む」という解釈も可能です。それに対して、**他動詞につく場合には典型的には「その動作を受けるもの（目的語の指示対象）が複数存在する」か「その動作が複数回行われる」ことを意味しますが、「動作をするもの（主語の指示対象）が複数存在する」ことを意味することもあります**。本文のtuypaは、「（我々が）大勢で（ポイヤウンペを）斬る」と解釈されています。この表現も、別の文脈では「何回も斬る」や「何人もの人を斬る」など他の解釈が与えられる場合があります。

2. tametuye

tametuye「～を斬る」に見られる**e-は、kampinuye 40「学習の要点3」で学んだ動詞接頭辞で、「～で」という道具の意味を表しています**。kampinuye 44「学習の要点3」で触れるtameranke「刀で斬り落とす」でもe-が同じように用いられています。

3. -re

-reは、動詞に付いて「～させる」という意味を加える接尾辞です。従って、hoyupu「走る・飛ぶ」、oma「～にある・入る」、korpa「～を持つ」にこの接尾辞が付くことで、hoyupure「～を走らせる・飛ばせる」、omare「～を～に入れる」、korpore「～に～を持たせる・与える」のように使役の意味の加わった動詞が派生されます。本文で用いられているhonturasireという動詞にもこの接尾辞が含まれています。この語は、hon-turasi-re（お腹・に沿う・させる）に分析でき、「～を腹部に沿わせる」ことから「懐・わき腹にしまう」という程度の意味になっているようです。-reと同じような働きをする接尾辞に、-te、-ke、-eなどがあります。これらは、別の接尾辞というよりは全て同一で、直前に来る音に応じて音韻交代を起こしているだけかもしれません。子音をC(onsonant)と表記すると、それらは全て-(C)eという形になります。動詞の最後の音に応じてCが現れなかったり、あるいはk, t, rなどとして現れたりすると分析することができます。

動詞の最後の音	-(C)eの形	例
母音	-re	a-re 「座らせる」、hoyupu u-re 、oma -re 、korpa -re
k/p/t	-te	ek-te 「来させる」、ahun -te 「入らせる」、at -te 「立てる」
n	-ke/te	ahun -ke 「入らせる」、oman -te 「行かせる」
r	-e	nuka -e 「見せる」、kor -e 「持たせる・与える」
s	-te/-i	apka s-te 「歩かせる」、cis -te 「泣かせる」、as -i 「立たせる」
y	-ke/e	ray -ke /ray -e 「殺す」

4. utar

utarという語は、「仲間・親類」などの意味を持つ**名詞**として単独で用いられる一方で、別の**名詞**の直後に置かれて「～たち」といった意味を表すことも**あります**。また、utarの所属形と呼ばれるutariは「～の仲間・親類」という意味で、単独では「彼・彼女（ら）の仲間・親類」という意味になります。an=unari、es=utariのように人称接辞を付けて始めて「私たちの仲間・親類」、「あなたたちの仲間・親類」の意味になります。また、このutarという語にpa「頭・（集団の）長」という語を付けたutarpaは、「人の上に立つ方」、「立派な方」程度の意味を持ちます。このようなことから、本文に出てくる**utarpa utar**は「旦那衆」、「お歴々」、あるいはやや皮肉を込めて「**お偉いさん方**」のように解釈されています。

今日の構文

動詞句+kane an/okay

これは、kampinuye 5ならびに20の「今日の構文」で学んだ**動詞句**+kor an「**～している（最中だ）**」と**動詞句**+wa an「**（既に）～している**」の**どちらの意味でも用いられる表現**で、それら二つの表現よりもより文語的な響きを持つようです。本文では、**動詞句**+kor anに相当する意味で用いられており、「酒を大勢で飲んでいる最中であつた」のように解釈されています。ここで用いられるkaneは、ka-ne（の上・に）と分析できるかもしれませんが。この分析でのka「上」が「～する途上」と解釈されれば「～している最中」の意味が得られ、kaが「～した上で」と解釈されれば「既に～している」の意味が得られます。

文化的背景

Poyyaunpe：英雄の物語に多く主人公として登場する超人的な力を持った存在で、「ポイヤウンペ」と音訳されます。幼少の頃より父母がなく、兄または姉に育てられた青年で、トミサンベツシヌタブカというところにある城に独り暮らし者として描かれます。太田満さんの『アイヌ語辞典稿』によれば、pon-ya-un-pe（子である・陸・に住む・者）の意味で、「ボンシヌタブカクル」、「ポイヤウンクル」とも呼ばれるそうです。ポイヤウンペに関する物語には、様々な人、神、怪物と戦い、美しい女性との巡り合いと結婚など沢山の話があり、それらは全体として壮大な英雄叙事詩をなすのだそうです。旭川方言では、それらの物語はほんの一部しか聞き起こしと解釈がなされていないため、その全容は判然としません。この辺りも、これからの研究に俟つほかないようです。

今日の単語

ahun アフン【自動詞】**入る**。（反*asin*；他*ahunke*；複*ahun*）:oske ne paye=an（中に行く）

ahup アフッ【自動詞】**入る**。（反*asin*；他*ahunke*）:oske ne paye=an（中に行く）

anakne アナッネ【副詞】（話題・対照となる要素を取り立てて）**～は**。:sine itak an=numke hi ta nean itak osi ek itak（一言選び出すときその後に来る言葉）

Cupkaunmat チュꣳカウンマツ【名詞】**チュブカの婦人**。:Chupka sekor rean hi un mat（チュブカという名の地出身の婦人）

ekarkar エカꣳカル【他動詞】〔自動詞・ci-他動詞+ekarkarの形で〕**～に～をし給う、～に～をし奉る**。:an=ki wa an=kore（～してくれる・あげる）

emusi エムシ【名詞】**刀**。（emusの異形・異綴り）:an=etuye p, tanne p（切るもの、長いもの）

etekomare エデコマレ【他動詞】**～を手にする、～を手に持つ**。:an=tekeani（～を手に取る）

hine ヒネ【接続助詞】**～して**。:wa（～して）

honturasire ホントゥラシレ【他動詞】**～を懐に入れる**。:an=honi turasi kuni an=mipi oske ne an=o（腹に沿うように衣の中に入れる）

iku イク【自動詞】**酒を飲む**。（複*ikupa*）:【名詞】飲酒、酒宴。:tonoto, sake an=ku（酒を飲む）

ikupa イクパ【自動詞】**酒を飲む**。（単*iku*）:【名詞】飲酒、酒宴。:tonoto, sake an=ku（酒を飲む）

inutua イヌトゥア【副詞】**そろりと**。:hum isam no（音も無く）

isoneka, iisoneka インソネカ イソネカ【間投詞】**よく～してくれました、～してよかった・ありがたい**。:yayrayke=an kor, kirorokay kor an=ye itak（感謝しながら、喜びながら言う言葉）

itak イタッ【自動詞】**話す、語る**。:nep ka ye（何か言う）

kane カネ【接続助詞】〔文・動詞+〕（**～し**）て、（**～し**）ながら、**〔副詞+〕～に**。:wa（～して）、kor（～しながら）

kane カネ【名詞・形容詞】**金**、〔+名詞〕**金の**。:sirokani neno an pe, siwnin pe（銀のような、黄色いもの）

ki キ【他動詞】**～をする**。（自*iki*；類*kar*）:〔動詞句+〕（**～**）する。:nep ka an=ki（何かをする）、nep ka moymoyke an=kar（何か動きをする）

kiroroan キロロアン【自動詞】**喜ぶ**。:yaykopuntek=an（喜ぶ）

koniwasnu コニワッヌ【他動詞】**～へ馳せ参じる**。:ekota arki=an（～へ来る）

kuni クニ【接続助詞】〔文+〕〔+ye/ramu〕（**～する・し**よう）と（**言**う・**思**う）:yak pirka（～するとよい）

kuntari クンタリ【名詞】**酒汲み、片口**。:or wa iomare=an pe（それから酒を注ぐもの）

mosem モセム【名詞】**物置、土間**。:cise oske ta an hi, or ta usa nisu、iutani, usaanpe an=anu hi（家の中にあるところで、臼や杵などを置くところ）

mut ムツ【他動詞】（**刀**）を**佩く**。:emus an=netopake ka an=usi（刀を体につける）

mutpe ムツペ【名詞】（普通は）**刀、（時に）鎧(hayokpe)**。:emus, somo ne ciki hayokpe（刀もしくは鎧）

nanomare ナノマレ【他動詞】**～に顔を入れる、～で顔を隠す**。:sempirkehe an=nanu an=nuyna（～の陰に顔を入れる）

ne ネ【助詞】**～として、～に**。:neno an=nukar wa（～を～として見て）

neno ネノ【副詞・助詞】**そのように、～のように**。:〔単独で用いられて〕（前で言われたことを指して）そのように。[名詞+] ～のように。:〔neno anの形で〕そのような、～のような。:hoski no an=ye p ye kor xtaat（既に言われたことに触れながら「こう」）

nisatta ニサッタ【名詞・副詞】**明日**。:tanto okake ta ek to（今日の後に来る日）

onnay オンナイ【位置名詞】**～の中**。:oske（～の中）

opitta オピッタ【副詞】**全て、みんな**。:tanpe ka taanpe ka nep ne yakka（これも、あれも、どれも）

orowano オロワノ【副詞】**それから、それで**。:neanpe ne ruwe ne kor（そのようであって）

patek パテꣳ【副詞】**～ばかり、～だけ**。:mosma okay pe isam no（他のものは無く）

paykasa バイカサ【名詞】**兜、陣笠、ヘルメット**。:iyaykipte hi peka apkas=an hi ta an=ekamu p（危険なところを歩き回る時に被るもの）

peker ペケレ【自動詞】**明るい・くなる、透明である・になる**。（反*kunne, nupur*）:nipeki an（光る）、mak ta an pe an=nukar easkay（奥にあるものが見える）

Poyyaunpe ポイヤウンペ【名詞】**ポイヤウンペ**。:yukar oske ta iyotta pase kur（ユカルの中で一番重要な人物）

rekut レクツ【名詞】**首**。:an=pake an=penram uturke（頭と胸の間の部分）

rera レラ【名詞】**風**。:apto as hi ta nitay suyesuye p（嵐の時に林を揺らすもの）

sempirkehe セムピリケヘ【場所名詞】**～の陰**。:sermake（背後）

sikkew シꣳケウ【場所名詞】（**～の**）隅。:kese（～の下手）

siri シリ【形式名詞】**目で見た様子、状況、天気**、〔文+〕＜様子をみて判断して＞（**～する・した**）**ねえ**。:ene an=nukar katu（見える姿）

tametuye タメトウイエ【他動詞】**～を斬る**:emus ani an=tuye（刀で切る）

tanpe タンペ【代名詞】**これ**。（反*taanpe, toampe*）: “te, teor” ta an pe, or ta itak kur inu kur tura an hi ta an pe（「ここ」にあるもの、話し手と聞き手のいるところにあるもの）

tekturi テꣳクトゥリ【自動詞】**腕を伸ばす**。:tek an=turi（手を伸ばす）

tekyoni テꣳヨニ【自動詞】**腕を縮める、腕を曲げる**。:tek an=yoni（手を伸ばす）

tuypa トウイバ【他動詞】**～を切る**。:usa makiri, tasiro, emus ani an=usaraye（短刀、山刀、刀などで分ける）

tuypoki トウイボキ【位置名詞】（棒状のもの）**下端**。（反*tuypka*）:repni neno an pe kese（拍子木のようなものの下の部分）（反*tuyka*）

utar ウタꣳ【名詞】**仲間、親類、同族、～たち**。:〔単独で時にutariの形で〕仲間、親類、同族。[名詞+] ～たち。:sine sinrit kor pe（同じ先祖を持つ者）

kampinuye 42 (tup ikasma ine hot):ユカル(3)

カンピヌイエ トゥウイカシマイネホツ

utarpa utar ウタヲパウタヲ	旦那衆は	u kiroroan wa ウキロロアンワ	喜んで
u kiroroan wa ウキロロアンワ	喜んで、	"Cupkaunmat チュプカウンマツ	「チュプカの婦人は
"Cupkaunmat チュプカウンマツ	「チュプカの婦人	ramuriten siri ラムリテンシリ	喜んでいるようですな
isoneka イーソネカ	ようこそ	nisatta anakne ニサッタアナッネ	明日は
i=koniwasnu イコニワッヌ	私たちのところに馳せ参じ	u Poyyaunpe ウポイヤウンペ	ポイヤウンペを
i=ekarkar siri" イエカラカシリ	られましたな」	an=_tuypa アトウイバ	斬る
sekor itak kor セコロイタツコロ	と言いながら	easkay kotom エアッカイコトム	ことができ
pakese パケセ	飲みさしを	u sirki na ウシリキナ	そうだぞ」
i=kotarara イコタララ	私に差し出して	sekor セコロ	と
an=nuyna ayne アンヌイナアイネ	私はそれを隠して	hawokaypa kor ハウォカイパコロ	口々に言うと、
an=_okutekari アノクテカリ	逆さにして空け	Atuyyaunmat アトウイヤウンマツ	アトウイヤの女性の
tuki sempiri トゥキセムピリ	杯の陰に	tusu repni トゥスレッニ	トゥス（巫術）に用いる 棒が
an=_nanomare アナノマレ	顔を隠して	cisanasanke チサナサンケ	取り出され
tuki an=rura kor トゥキアンルラコロ	杯を運びながら	tusu kusu トゥスクス	彼女が巫術を行ったので
iki=an_ayne イキアナイネ	そうしていると	ene itak_hi エネイタキ	こう言った。
iyoski_wa_an pe イヨシキ (ワ) アンペ	彼らは酔っ払っているもの	"u tan ikuso ウタンイクソ	「この酒宴の席の
u ne kusu ウネクス	だから	noski wa ノシキワ	中から
rumse...rimse yu_pke ルムセ…リムセユッケ	踊りが激しい	u tan cise ウタンチセ	この家
u_wa_an kusu ウ (ワ) アンクス	ので	or_ta okay pe オッタオカイペ	にいる者は
iopok_=an イオボカン	私は仲間に入り	sinen ka... シネンカ	一人も…
rimse=an kor リムセアンコロ	踊ると	onunposo オヌンポソ	生き残ることが
utarpa utar ウタヲパウタヲ	旦那衆は	easkay pe エアッカイペ	できる者は
		sinen ka isam" シネンカイサム	一人もいない」

学習の要点

1. isoneka/iisoneka

この表現には、大きく分けて二つの用法があります。一つは、運が良く「心配していたことが起こらなかった時の安堵の気持ち」や「あまり実現するとは思わなかった希望が叶った時の存外の喜び」を表現するのに用いられ、しばしば「よかったあ」、「ありがたい」などと訳されます。もう一つのは、isoneka e=ek「よく来たね」やisoneka es=arki「よくいらっしやいました」のような表現に代表される「相手の行為を歓迎あるいは祝福する気持ち」を表現する用法で、「よく(ぞ) ～ (してくれました)」といった具合に訳されます。本文の例isoneka i=koniwasnu i=ekarkar siriは、どちらかというと、この二つ目の用法に該当します。

2. i=ekarkar

ekarkarは、英雄の物語(yukar)、会見の挨拶(uerankarap)、神への祈り(kamuynomi)などの正式な言葉の使用で「人や神が別の人や神に対して～をする」ことを表現するのに用いられます。本文では、「チュプカの婦人がはるばる自分たちのもとへ来てくれた」ことの表現に用いられています。次の例のように、「～することを許す、～をさせる」という意味で用いられている例もあります。

ye a itak ku=hayta yakne nep pon_sikunu an=i=ekarkar pe ka somo ne?

(兄が) 言った言葉が私がないかしるにしたらどんな短い一生も私に許してもらえないのではないかと

神への祈りでは、特に「神が人に(～し)で下さる・給う」あるいは「人が神に(～し)申し上げる・奉る」ことを表現するのにしばしば用いられるようです。「～し」に該当する動詞句が他動詞の場合は、次の例ci-koniwasnu an=en=ekarkar(「神への祈り」の言葉から)のようにci-という人称接辞を伴って、いわば動詞句が名詞句化されるのが普通(kampinuye 50「学習の要点4」及びkampinuye 51「今日の構文」参照)なのですが、本文の例のように三人称主語の場合と同じ形になることもあるようです。ci-koniwasnu i=ekarkar、ci-koniwasnu es=i=ekarkar、ci-koniwasnu an=en=ekarkarとなるとより典型的な表現の形です。

inaw (uk) kamuy tu pirka iso re pirka iso ci=koekasnukar an=en=_ekarkar na .	イナウ（御幣）受くる神よ 二つの良き恵み 三つの良き恵み 授けること 汝が我になしたまえ。	aynu hura sak kunine takusa ani kasi ci=kik eci=ekarkar=an na.	人の臭い をなくすため 清め草もて 祓い清め 申し上げます。
--	---	--	--

3. siri

siriは、kampinuye 11と14の本文に出てきたsiriと同様に、「話し手が自分の目にした内容に基づいて判断を下している」ことを意味し(kampinuye 11「学習の要点3」を参照)、「～だなあ」、「～ですなあ」のように訳されます。本文の例でも、話し手はチュプカの婦人を実際に目の当たりにして、それに基づいてCupkaunmat isoneka i=koniwasnu i=ekarkar siri「チュプカの婦人、よくぞいらしてくださいましたなあ」やCupkaunmat ramuriten siri「チュプカの婦人は、上機嫌ですなあ」のように述べているのです。

文化的背景

1.tusu: 多くの場合「占い」に当たるもので、「巫術」と訳されたり「トゥス」と音訳されたりします。誰にでも出来るものではなく、家系などを通して特別な能力を引き継いだtusukurと呼ばれる人たちだけが出来るもののようです。その占いの様子はあまりよく知られていませんが、本文で取り上げた物語を見る限り、tusurepniという拍子木を打ちながらユカルなどと同様に節を付けて占いの内容が語られないしは謡われるように理解されます。太田満さんの『アイヌ語辞典稿』によると、「かつては男もしたと言われるが、近世はもっぱら女が行ってきた」そうです。

2. Chupka/Atuyya:Chupka、Atuyyaは英雄の物語にしばしば登場する地名で、大概「チュプカ」、「アトウイヤ」のように音訳されます。けれども、太田満さんはChupkaは「北千島」、Atuyyaは「中国」辺りを指すと考えているそうです。これは、知里真志保先生が、『アイヌ文学』の中で次のように述べていることと一致します:「ユーカラと云うのは、北海道を本拠とするヤウンクル(「内陸人」「本州人」「北海道本島人」と、大陸の方から海を越えてやって来て北海道の日本海岸の中部からオホーツク海岸の各地に橋頭堡を確保して住んでいたレプンクル(渡来者の異民族)との民族的な戦争の物語で、その戦争の舞台は、現在いわゆる北方方言地帯と称する北海道の中部北部東部を中心に、千島、樺太、利尻、礼文、それから北アジア大陸を結んだ広汎な地域なのであり、しかもオホーツク文化が本道沿岸に隆えたのは、今からおよそ、千三百年から八百年くらい前までの約五百年間とみられているので、ユーカラの内容も、大体その頃に現実に行われた民族的な葛藤を歌ったものだったことが分かるのである」。異民族の地としては、他にもSanta「山丹(沿海州の辺り)」、Tuyma Santa「満州」などが登場するようです。kampinuye 44「文化的背景」で紹介するように、北海道を中心に南は北東北から北は南サハリンまで、東は千島列島に到る範囲は、多くのアイヌ語地名が残っていることから、かつてはアイヌの生活圏であったことが察せられます。この範囲は、知里真志保先生がユカルの舞台と看做している地域と概ね一致しますし、またその北側に隣接して大きく取り囲む範囲が、ちょうど異民族の地として現れる地名と重なります。このようなことから、知里先生の言うようにユカルで語られる話は、古い時代の史実をある程度反映しているのかもしれませんが。地元で聞く限り、旭川方言の話者はユカルというものを太古の歴史と信じていたそうですし、また現在もそう信じられているようです。丁度、神道や仏教、キリスト教を信仰する人たちが、程度の差こそあれ『古事記』や『日本書紀』、仏教の経典や新旧約聖書に見出される史的内容を「昔あったこと」と信じているの同じかもしれません。金田一京助先生も『アイヌ叙事詩ユーカラ』の解題の中で、次のように述べています。:「否、その最大雄編である物語歌といえども、或は厳密には、文学と云えないかもしれない。なぜなら、その内容が常に本当のことと信じて伝承されているからである。伝承している部落の人々には、それは寧ろ歴史であり、法典でもあり、否聖教でさえもある。」

今日の単語

Atuyyaununmat アトウイヤウンマツ【名詞】アトウイヤの婦人。:Atuyya sekor rean hi un mat (アトウイヤという名の地出身の婦人)
ayne アイネ【接続助詞】(～し) たあげく、(～し) て、(～し) たところ。:awa (～して)
cisanasanke チサナサンケ【自動詞】～が取り出される。:an=sanasanke (取り出される)
easkay エアッカイ【他動詞】～が上手だ、～が出来る。(反 eaykap; as ikaskay):【助動詞】(～する) ことが出来る。(反 eaykap):pirkano an=ki (上手にやる) ene an=kar hi an (方法がある)
hawokaypa ハウォカイバ【自動詞】(大勢の人が) 口々に言う。:itakpa (大勢の人が言う)
iki イキ【自動詞】する、そうする。(他 ki, kar):nep ka an=ki (何かをする)
ikuso イクソ【場所名詞】酒宴の席。:or ta ikupa=an so (大勢で酒を飲む場)
iopok イオボク【自動詞】参加する、加わる。:utanne=an (～の仲間になる)
isam イサム【自動詞】ない、いない、なくなる、いなくなる、亡くなる。(反 an, okay):katu sak, tum sak (姿がない、体がない)
iyoski イヨシキ【自動詞】酔う。:iku=an wa yayeoyakno okya=an (酒を飲んで自分と違うようになる)
ka カ【副詞】～も。:[疑問代名詞+] ～か。:ne yakka (～でも) , he (か) , ya (か)
kotarara コタララ【他動詞】～を差し出す。:an=koipuni (～を差し出す)
kotom コトム【接続助詞】今にも(～し) そうで、今にも(～し) そうに。:nankor sekor yaynu=an (～するだろうと思われる)
mat マツ【名詞】妻、女。(反 nispa):hoku kor mat (夫を持つ女性)
na ナ【文末詞】[文+] ～よ、～ぞ。:an=epakasnu, an=pawetenke hi ta iyyotta osi an=ye itak (教えたり指図したりする時に最後に言われる言葉)

nuyna ヌイナ【他動詞】～を隠す。:nep ka sempirkehe an=omare (何かの陰に入れる)
okutekari オクテカリ【他動詞】～を逆さにする、～を逆さにして空ける。:kuttokono an=anu (逆さまに置く)
onunposo オヌンポソ【自動詞】生き延びる。(反 ray; 類 siknu):somo ray no an (死なずにいる)
pakese パケセ【名詞】飲みさし、飲み残り。:an=ku wa an=ama p (飲んで残したもの)
ramuriten ラムリデン【自動詞】喜ぶ、機嫌が良い。:kiroroan, yaykopuntek=an (喜ぶ)
repni レッニ【名詞】拍子木。:ani rep=an ni (それで拍子を取る木)
rimse リムセ【自動詞】踊る。(類 upopo):【名詞】踊り。(類 upopo):upopo=an (踊る)
rumse ルムセ【自動詞】(rimseの異形・異綴り) 踊る。(類 upopo):【名詞】踊り。(類 upopo):upopo=an (踊る)
rura ルラ【他動詞】～を運ぶ。:an=kor wa paye=an, an=kor wa arki=an (持って行く、持ってくる)
sempiri セムピリ【場所名詞】～の陰。:sermake (背後)
sinen シネン【名詞】一人。:sine kur (一人の人)
sirki シリキ【自動詞】(～の) ようである。:siri an (という様子がある)
tan タン【形容詞】この。(反 iaan, toan):“te, teor” ta an, or ta itak kur inu kur tura an hi ta an (「ここ」にある、話し手と聞き手のいるところにある)
tuki トッキ【名詞】杯。:an=oikup (酒を飲む道具)
tusu トゥス【動詞】巫術をする。:[名詞] 巫術、トゥス。:kamuy kor nupurpe an=etun wa yaykopeker=an (神の威力を借りて事物について判断する)
yupke ユッケ【自動詞】強い、激しい。:ataye～ (値段が) 高い。:somo hawke (弱くない) , ruy (激しい)

kampinuye 43 (rep ikasma ine hot):ユカル(4)

カンピヌイエ レッイカシマイネホッ

ene itak hi エネイタキ "u tan ikuso ウタンイクソ noski wa ノシキワ u tan cise ウタンチセ or_ta okay pe オッタオカイペ sinen ka... シネンカ onunposo オヌンポソ easkay pe エアシカイペ sinen ka isam" シネンカイサム sekor tusu kor セコトウスコロ utarpa utar ウタッパウタラ ene okay_hi エネオカイ "nekon ne kusu ネコンネクス ene an エネアン sine aynu シネアイヌ an=tuypa koyaykus アントウイパコヤイクシ somo tapan na ソモタパンナ sekor itakpa kor セコロイタクパコロ uminare ウミナレ orowano suy オロワノスイ rimse=an_ayne リムセアナイン monekuskonno モネクッコンノ cise onnay チセオンナイ u raykosanpa ウライコサンパ	こう言った。 「この酒宴の席の 中から この家 にいる者は 一人も… 生き残ることが できる者は 一人もいない」 と予言すると、 旦那衆が 言うには 「どうして あんな 人間一人を 私たちが斬れないことが あろうか」 と口々に言って、 大笑いした。 それから、また 私が踊ると 突然 家の中が シンと静まりかえり、	umoneotke ウモネオッケ i=nukar ki p イヌカッキッ sikeranaatte シケラナアッテ irukay kor イルカイコロ inkar_=an_awa インカラナワ an=penram ka ta アンペンラムカタ an=_mut_emusi アンムテムシ kane paykasa カネバイカサ u masatara ウマサタラ an=mi kosonte アンミコソント an=_emakaraye アネマカライエ an=mut_emusi アンムテムシ an=kutpokeciwre アンクッポケチウレ kane paykasa カネバイカサ ranpeci ランベチ an=notkoyupu アンノッコユブ Ponmosirunku ポンモシルンクル sake sanke kur サケサンケクル kor sintoko コロシントコ an=_erikipuni/ アネリキプニ an=_okutepare アノクテパレ oha sintoko オハシントコ cise kor nispa チセコロニシパ an=toytukan wa アントイトゥカンワ	彼らはお互いに肘でつつい て 私を見たが 目を伏せた。 しばらくして 私が見てみると 私の胸の上で 私の帯刀、 金の笠が ピカピカ光り 私が着ていた上等の着物を 脱ぎ捨て 私の帯刀を 帯の下に差して、 金の兜の 紐を あごに結び ボンモシリ人、 酒宴の主人 の酒樽を 私は持ち上げ 逆さにして空け、 その空になった樽（で） 家の主人 を私は酷く痛めつけ、
--	--	--	---

学習の要点

1. u-

u-は、**目的格の人称接辞** (**en=**, **un=**, **i=**など)に似た働きをする**接頭辞の一つで、「互い」を意味します**。ukoitak「会話をする」、unukar「会う」、ukoonkami「挨拶する」などは、u-koitak (互い・と話す)、u-nukar (互い・を見る)、u-koonkami (互い・に挨拶する) から来ています。本文で用いられているuminareは、mina「笑う」という動詞の後にkampinuye 41「学習の要点3」で学んだ使役の動詞接尾辞-reがついて派生されるminare「～を笑わせる」に、このu-が接頭してu-mina-re (互い・を笑わせる) となり「笑い合う、みんなで笑う」といった意味を表しています。あくまでもu-は「互い」という意味の名詞的要素ですから、英語のeach otherやone anotherと同様、単独では「互いに」という副詞的な意味を持たない点に注意してください。kampinuye 40「学習の要点3」で学んだe-やkoと結びついてはじめてue-「互いに対して」やuko-「共に、互いに」といった副詞の意味を動詞に加えることが出来ます (例: uenewsar「互いに語り合って楽しむ」、uerankarap「互いに挨拶する」、ukoonne「共に老いる」、ukousaraye「～を一緒に分ける」)。

2. -kosanu/kosanpa、-(i)tara/-natara

-kosanuは、擬態語・擬声語をはじめとする動詞の語根に付いて、それら**語根で表される出来事が一瞬のうちに素早く起こることを意味する動詞を派生する接尾辞**

です。旭川方言の例には、matkosanu「ぱっと立ち上がる」、carkosanu「バツと散る」、esoykosanu「素早く外に出る」、komkosanu「急に曲がる」、noykosanu「急に倒れる」、okacakkosanu「急に終わる」、oratkosanu「ずとんと座る」、perkosanu「バカッと割れる」、puskosanu「パンとはじける」、yaskosanu「(雷が) 空を切り裂く」などがあり、多くが「ざっと～する」、「ぱっと～する」という意味を持ちます。-kosanpaは-kosanuの複数形に当たる形ですが、旭川方言では用例が極めて限られているようです。本文にあるraykosanpaは、ray「死ぬ」に-kosanpaがついた形で、**家の中が「急に死んだ(ように静かになった)」程度の意味である**と思われるます。

これに対して、**-(i)tara**や**-natara**は**動詞語根で表される出来事が長く持続することを意味する動詞派生接尾辞です**。旭川方言では、本文に見られる**masatara「光(り続け)る」**の他にkomewnatarata「高くそびえる」、maknatara「光が差し込む」、kewsitara「ガラガラと音を立てる」などがあります。

3. okutepare/okutekari

この課の本文に見られるokut(t)epareは、kampinuye 42の本文に出てきたokut(t)ekariとほぼ同じ意味で用いられていると思われるますが、形がやや異なります。金成まつ姫筆録・金田一京助先生訳の『ユークラ集』のIVとVIにokutekariの語形が見られます。そこでは、kunne nizat peken nizat okutekari「暗い夜明けが明るい夜明けにいれかわると」(IV)、tane peken nizat kunne nizat okutekari kane siran ciki「今明るい朝が暗いに朝に入れ替わりつつあったから」(VI)のように訳されています。幌別方言ではekariが「～を回る」なので、o-kut-ekari (その下部が・のどの部分・を回る) で上下が入れ替わることから「～と～が入れ替わる」の意味になるのに対して、本文ではo-kut-e-kari (その下部・のどの部分・に・回す) で「**～を上下逆さにする**」の意味で解釈しています。同様な分析をすると、o-kut-epare (その下部・のどの部分・に着かせる) で、やはり「**～を上下逆さにする**」の意味になりそうです。

4. toy-/toyko-

toy-、**toyko-**は「**酷く**」という副詞的な意味を動詞に加える**接頭辞です**。従ってtoytukanはtoy-tukan (酷く・撃つ) または (酷く・射る) ことから「酷く痛めつける」と解釈しています。同様にこれらの接頭辞を含むものには、toykokikkik「～を酷く叩く」、toykoyekar「～を酷くののしる」、toykonospa「～を酷く追いかける」などがあります。類似した接頭辞にray-があります。尚、tukanは「狙う獲物」を目的語に取るのに対して、eakは「矢や弾など狙って飛ばされるもの」を、pattekkalは「鉄砲など飛ばすための道具」を目的語に取る点で異なります。

今日の構文

an=mut_emusi; an=mi kosonte

an=mut_emusi、an=mi kosonteの文字通りの意味は、「私の佩く刀」、「私の着る小袖」なのですが、「私の刀」、「私の小袖」がより自然な日本語訳です。つまり、mut「(刀など)を佩く」、mi「～を着る」という具体的な動詞が用いられてはいるものの、アイヌ語の所有表現の一形式と見做すべきもののようです。第一期教科書のkampinuye 9「今日の構文」で学んだように、(1) cise, itak, ekasi, huciのようにkorを用いて所有関係が表現される名詞と(2) kotan, yup, utar, tek, poのように語の最後に直前の音節の母音を加える (もともと母音で終わっている場合は、そのままかその母音を繰り返して間にhの音を挟んで-aha, -ehe, -ihi, -oho, -uhuのようにします)。an=mut_emusiやan=mi kosontelは、(2) の亜種と考えられますが、これは(3) kor「持つ」という所有を意味する一般的な語を用いずmutやmiのように後続の名詞に特有な動作を意味する動詞を用いる点で異なります。この第三の所有表現形式が用いられる名詞には「身に着けるもの」が多いようですが、まだはっきりとしたことは分かっていません。今後の研究と分析に俟つことにしたいと思います。

nean kur kor cise	● nean kur cise(he)	その人の家
nean kur kor itak	● nean kur itaki	その人の言葉
nean kur kor ekasi	● nean kur kor ekasi(hi)	その人のお爺さん
nean kur kor huci	● nean kur kor huci(hi)	その人のお婆さん
● nean kur kor yup	nean kur yupi(hi)	その人の兄
● nean kur kor utar	nean kur utari(hi)	その人の親類
● nean kur kor kotan	nean kur teke(he)	その人の村
● nean kur kor po	nean kur po(ho)	その人の子

今日の単語

aynu アイヌ【名詞】(kamuy「神」に対して) **人間**、(mat「女」に対して) **男**、(sisam「和人」に対して) **アイヌ人**。:kamuy ka kamias ka somo ne utari (神でも化け物でもない者たち)
emakaraye エマカライエ【他動詞】**～をぱっと脱ぐ**。:an=mipi an=maka wa an=osura (服を開いて捨てる)
erikipuni エリキプニ【他動詞】**～を持ち上げる**。:rik ene an=hopuniire (高みへ持ち上げる)
irukay イルカイ【副詞】**しばらく**。:somo ohonno (それほど長くない間): *irukay (an) kor*しばらくすると。
itakpa 【自動詞】**(大勢で) 話す、語る**。:hawokay (口々に言う):an=ye p (言われたこと)
koyaykus コヤイクシ【助動詞】**～出来ない**。(類*eakykap, koniwkes*):eaykap (～出来ない)
kur クル【形式名詞】【動詞・文十】**(～する・した) 者、(～する・した) 人**。:pe (～するもの)
kutpokeciwre クッポケチウレ【他動詞】**～を帯の下に差す**。:an=mut (～を佩く)
masatara マサタラ【他動詞】**輝く**。:nipeki an (光る)
monekuskonno モネクッコンノ【副詞】**俄かに、突然**。(類*ekuskonno*):etoko ta ci-eraman ka sakno (前もって知ることなく)
ne ネ【他動詞】**～が～である、～が～になる**。:[nep1 nep2+] [何か1] が [何か2] である、[何か1] が [何か2] になる:toanpe pu ne あれは倉庫だ。:[nep1 nep2+] nepka1 newa nepka2 sinep ne, nepka1 nepka2 ne yaykar ([何か1 何か2+] 何か1 と何か2は同じだ、何か1 が自分を何か2にする)
nekon ネコン【副詞】**どう、どのように**。:[nekon anの形で] どんな、どのような。:nep neno (何のように)
nispa ニシパ【他動詞】**紳士、旦那**。(反*katkemat*):icen poronno kor aynu (お金持ちの男の人)、pase kur (立派な人)
notkoyupu ノッコユブ【他動詞】**～をあごのところで結ぶ**。:an=not orke ta an=yupu (～をあごのところで結ぶ)

oha オハ【自動詞】**空である・になる**。:oske ta nep ka isam (中に何も無い)
okutepare オクテパレ【他動詞】**～を逆さにする、～を逆さにして空ける**。:kuttokono an=anu (逆さまに置く)
penram ペンラム【名詞】**胸**。:an=kuci an=honi uturke (首と腹の間のこと)
Ponmosirunkur ポンモシルンクル【名詞】**ボンモシリの人**。:Ponmosir sekor rean hi un kur (ボンモシリという名前の地出身の人)
ranpeci ランベチ【名詞】**(笠、帽子、ヘルメットの) 紐**。:paykasa, konci o tus (笠や帽子についた紐)
raykosanpa ライコサンパ【自動詞】**シンとなる**。:nep ka hum isam (何も音が無くなる)
sake サケ【名詞】**酒、強い酒**。:tonoto neno an pe (どぶろくのようなもの)
sanke サンケ【他動詞】**～を出す**。:soyke ne an=rura (外へ運ぶ)
sikeranaatte シケラナアッテ【自動詞】**目を伏せる**。:ra ene inkar (下を見る)
sine シネ【形容詞】**一つの～**。:ipiski=an yak hoski ek (数えると最初に来る)
sintoko シントコ【名詞】**宝器・米びつ**。:amam an=omare p (米を入れるもの)
somo ソモ【副詞】**[+動詞] [～し] ない**。:[方言ノート] 他の多くの方言でもsomoが用いられるが、静内や三石などでは*henne, homo* が用いられるらしい。:[+iki] iki hi ka isam ([+そうである・そうする] そうであること・そうすることがない)
tapan タパン【自動詞】**(～) であります**。(類*ne*):【形容詞】**かくある、かかる**。:ne, tan (～である、この～)
toytukan トイトゥカン【他動詞】**～を酷く撃つ、～を攻撃する**。:ay, puspe tama an=hoyupure (矢や鉄砲玉を飛ばす)
uminare ウミナレ【自動詞】**皆で大笑いする**。:uturano mina=an (一緒に笑う)
umoneotke ウモネオッケ【自動詞】**互いを肘でつつく、肘でつつきあう**。:uteke an=otke (互いの手を突く)

kampinuye 44 (inep ikasma ine hot):ユカル(5)

カンピヌイエ イネナイカシマイネホツ

Ponmosirunkur ポンモシルンクル sake sanke kur サケサンケクル kor sintoko コロシントコ an=_erikipuni アネリキプニ an=_okutepare アノクテパレ oha sintoko オハシントコ cise kor nispa チセコロニシパ an=toytukan wa アントイトゥカンワ inotuorke イノトゥオロケ oman konna オマンコンナ koturimimse コトゥリミムセ orowano オロワノ tu yupke tamkur トゥユッケタムクル re yupke tamkur レユッケタムクル an=_eterkerepa kor アネテレケレパコロ cise onnay ta チセオンナイタ kira poka キラポカ hopuni poka ホブニポカ koniwkes tek no コニウケッテクノ rikun suy リクンスイ yaypekare ヤイペカレ	ポンモシリ人、 酒宴の主人 の酒樽を 私は持ち上げ 逆さにして空け、 その空になった樽と 家の主人 を私は酷く痛めつけ、 その靈魂が 去り行く音が 響き渡って、 それから 二太刀 三太刀 私がお見舞いすると、 家の中で 逃げることも 跳ぶことも できなくなって、 天窓 を伝うのを	an=tameranke アンタメランケ iki ayne イキアイネ tupesan kotan_un kur トゥペサンコタ(ヌ)ンクル opittano オピッタノ an=tametuye iki アンタメトウイエイキ inkar=an_awa インカラナワ cise onnay ta チセオンナイタ siknu kur シックスクル sinen ka isam シネンカイサム iki kor イキコロ orowano homar オロワノホマヲ kamuy maw sirka カムイマウシリカ an=mawnoyere アンマウノイエレ yayunmosir ヤユンモシリ an=kohosipi アンコホシピ ramma neno ランマネノ Tomisanpeci トミサンペチ Sinutapka ta シヌタッカタ yaykonisnu=an kor ヤイコニッヌアンコロ okay_=as ki na オカヤシキナ	私が斬り落とし そうしているうちに、 八つの村の人 全員を 私は刀で斬り、 見てみると、 家の中に 生きている人は 一人もいなかった。 そうして それから、微かな 神の風の上に 私の風を絡ませて 祖国ヤウンモシリ に私は帰って、 いつものように トミサンペチ シヌタブカに 独り暮らしで いるのだぞ。
---	--	--	---

👉 学習の要点

1. **poka**
pokaは直前で用いられる名詞句の指示対象がほんのわずかな数量であることを意味する語で、普通「～（だけ）でも、～すら、～さえ」のように訳されます。従って、しばしば依頼を意味する命令文と共に用いられて「～だけでも～してくれ」という意味を伝えたり、eaykap、koniwkesのような否定語と呼応して「（わずかな）～すらも～出来ない」のような意味を表したりします。

suke poka wakkata poka u ki wa i=korpare	料理をする だけでも 水を汲むだけでも して 下さい。	mokor poka iki an=eaykap no,	眠ること すら 私は出来ず
--	---	--	-------------------------

2. **tek**
tekには助動詞的な用法と接続助詞的な用法があるようです。助動詞的な用法では、「**以前の状況から tek の前の動詞句で表現される状況への**

急激な変化」を意味し、「急に～（する）ようになる」ぐらいに訳されます。本文での用例もこの用法と考えられ、逃げることも飛ぶことも「急に出来なくなつて」のように解釈されています。接続助詞的な用法では、「**tek の前の動詞句で表現されるような状態への変化が起こってからすぐに新たな状況が生じること**」を意味します。この用法では、しばしば先行の動詞句と tek の間に patek ne が入って動詞句＋patek ne tek という形を取ることがあります。

an=_eunaotke _hike tek inkar=an_hike somo suy...	灰の中に押し込んで燃やして すぐ見るとまだ...	samake ta paye=an patek ne tek ekuskono ene sirki_hi....	そばに行くや 否や 突然起こったことは
--	-----------------------------	--	-------------------------------

3. **yay-**
u-が「互い」を意味する接頭辞であることをkampinuye 43「学習の要点1」で学びました。yay-も同様な接頭辞の一つで、「自分」を意味します。本文にあるyaypekareは、yay-peka-re（自分・に沿う・させる）に分解できることから、「自分を～に沿わせる・～を伝う」程度の意味で解釈されています。kampinuye 40の本文に出てきたyaysirepareにも、このyay-という要素が含まれています。形としてはe-yay-sirepa-re（に・自分・到着する・させる）と解釈したいところですが、録音を聞く限りe-が聞こえません。このようなyay-**動詞**-reのように「自分を～させる」という形をした動詞の意味は、真ん中の動詞だけでも表現出来ます。pekaとyaypekare、sirepaとyaysirepareはそれぞれどちらも同様な意味です。このyay-**動詞**-reのような形は、多くが英雄の物語をはじめとする文語体で用いられます。これは、アイヌ語の文語体に広く見られる5音節を基調とする韻律に合わせるために用いられていると思われる。pekaやsirepaでは2音節ないし3音節にしかならず短すぎますが、これにyay-と-reが加わることで5音節（ないしは4音節）となって、文語体のリズムに合いやすくなります。

4. **tameranke/tametuye**
tam-e-ranke（刀・で・を下ろす）、tam-e-tuye（刀・で・を切る）は、どちらもkampinuye 40「学習の要点3」で学んだe-を要素として含んでいます。**e-**は、いずれの場合も「**斬る**」、「**下ろす**」の**道具となるものを導き**、「**～で**」という意味で用いられています。

👉 今日の構文

動詞句 + (hum/ru/haw/sir) **konna** + **擬声語・擬態語**；**名詞句** + **konna** + **擬声語・擬態語**
konnaは、前に動詞句またはそれにhum、ru、sir、hawが付いた句、または名詞句を伴って、それら動詞句や名詞句の指示対象がどんな様子を表現する擬声語・擬態語を後ろに導く表現です。本文では動詞句が、次に引用した例では動詞句hum、ruが付いた名詞句または普通の名詞句がkonnaの前で用いられています。

makan kat kor pe ran_hum konna koturimimse. poro cas as ru konna komewnatara. ci=tempok konna carkosanu... an=tekpo konna u carkosanu...	何やら降り来る音、ブーンと鳴れり。 巨城建つ様、堂々たり。 私の脇元、ぱっと散りて… 手の下、ぱっと散りて…
---	---

📁 文化的背景

yaunmosir/yayunmosir:ya「陸」、un「にある」、mosir「国」で、現在は主に北海道を指します。yayunmosirと発音する人も少なくなく、その中にはyay「自分」、un「が本来いる・に本来ある」、mosir「国」と理解している人もいます。太田満さんによれば、yaunmosirは「アイヌが自分の領土、生活圏と考える領域」で、歴史的には北海道のみならず南は北東北から北は南サハリンまで、東は千島列島に到る範囲を含むそうです。これらの範囲は、多くのアイヌ語地名が残っていることから、ある程度は容易に見分けが付きます。アイヌ語地名を研究する人々の中には、関東やそれより西にもアイヌ語地名があると云って、嘗てのアイヌの領域・生活圏はここで述べたよりもっと広範囲に及ぶものだと主張する人もいます。けれども、山田秀さんの『東北・アイヌ語地名の研究』によれば、「東は仙台のすぐ北の平野の辺、西は秋田山形県境の辺」が「アイヌ語地名の濃い地帯の南限線」なのだそうです。それは、ナイという語尾の地名が最も目立ち、その中にベツ、ウシ、オマイのような語尾の地名が散在するというアイヌ語地名の典型的な姿がこの南限線から一歩南に下ると全く得られなくなり、「歩いていて別な国に入ったみたいである」のだそうです。アイヌ語地名を慎重に扱おうとするれば、現段階で嘗てのyaunmosirの南限として認めるのが妥当なのは、山形県北部と宮城県北部くらいまでではないでしょうか。

📖 今日の単語

eterkerepa エテレケレパ【他動詞】〔二重目的語＋〕**～を～に飛ばす、～を～に素早く動かす**。:an=ekohopunire（～を～に飛ばす）
hopuni ホブニ【自動詞】**起き上がる、立ち上がる、飛び上がる**。（反hotke；複hopunpa）:an=netopake an=rikinte（体を上げる）
inotuorke イノトゥオロケ【名詞】（～の）**魂、靈魂**。:inotu（命）
kira キラ【自動詞】**逃げる**。:an=osura（～を去る）
kohosipi コホシピ【他動詞】**～に帰る**。:ekota an=hosipi（～へ帰る）
koniwkes コニウケッ【助動詞】**～出来ない**。（類eaykap、koyaykus）:eaykap（～出来ない）
konna コンナ【副詞】〔動詞句＋(hum/ru/haw/sir) konnまたは名詞句＋konnaの形で擬声語・擬態語を導いて〕（～の様子）、（擬声語・擬態語）。:hum、ru、haw、sir okake ta an=ye wa ne okake ta humas、hawean、sirki sekor an itak ek（hum、ru、haw、sirの後に言われ、その後～ようだという言葉が来る）
koturimimse コトゥリミムセ【自動詞】**ブーンと響き渡る**。:nep ka hum as（何か音がする）
no ノ【副詞語尾】〔自動詞＋〕（副詞化する。）**～に、～く、～で**。:〔副詞・助詞〕口調を整える。:ruwe ne kor（～であり）
oman オマン【自動詞】（単数の人・ものが）**行く**。話し手と聞き手のいる場所から遠ざかる移動をする。（複paye）:or ta itak kur newa inu kur okay hi wa no tuyma（話し手と聞き手のいるところから遠くなる）
opittano オピッタノ【副詞】**全て、みんな**。:tanpe ka taanpe ka nep ne yakka（これも、あれも、どれも）
poka ポカ【副詞】**～（だけで）も、～すら、～さえ**。:patek ne yakka（～だけでも）
ramma ランマ【名詞・副詞】**いつも**。:hempara ne yakka（いつも）
rikun リクン【自動詞】**高い、上がる**。:rik ta an、rik ene oman（高みにある、高みに上がる）
siknu シッス【自動詞】**生きる、生き延びる**。（反ray；類onumposo；他siknuka）:somo ray=an no okay=an（死なずにいる）
suy スイ【名詞】**穴**。:oha hi（空であるところ）rikun suy天窓。
tameranke タメランケ【他動詞】**～を刀で切り落とす**。:an=tametuye wa an=ranke（刀で切って下ろす）
tamkur タムクル【名詞】**刀の一振り、（ひと）太刀**。:emus an=terkere（刀を振る）
tek テッ【助動詞】（～すると）**すぐ**。:patek ne tek（～するや否や）
un ウン【他動詞】**～が～に本来的にある、～が～につく**。:[nep' nep² +] [何か¹] が [何か²] に本来的に存在する。[何か¹] が [何か²] に生息する、[何か¹] が [何か²] につく。:[nep' nep² +] ney ne yakka nepka¹ nepka² or ta an、nepka¹ anakne nepka² or ta an pe ne（いつでも何か¹は何か²のところにある、何か¹は何か²のところにあるものである）
yaunmosir ヤウンモシリ【場所名詞】**祖国、領土、本国**。:**アイヌの生活圏**。:かつては、北東北、北海道、樺太南半分、千島列島までを含んだが、現在は主に北海道を指す。:an=kor kotan、an=kor mosir（自分たちの治める村、国）
yaypekare ヤイペカレ【他動詞】**～を伝う、～を這う**。:nep ka kaske an=kus（何かの上を通る）

kampinuye 45 (asiknep ikasma ine hot): アイヌ語教室

カンピヌイエ　アシクネナイカシマイネホツ

A: tanto usaanpe an=eyaypakasnu wa es=erampetek pe an ya? an yakne es=en=kopisi nankor. タント　ウサアンペアネヤイパカシヌワ　エセラムペテッペ アンヤ　アンヤクネ　エセンコピシナンコロ	今日学んだことで、他に何か質問ありますか。あったら訊いてください。
B: isam. イサム	ありません。
A: hawe ne ciki pakno. ハウネチキ　パクノ	それでは、これで終わりです。
C: tanto aynu itak poronno ku=eyaypakasnu easkay ruwe ne wa. sonno iyayraykere. タント　アイヌイタッ　ポロンノ　クエヤイパカシヌ　エアシカイ　ルウェネワ　ソンノ　イヤイライケレ	今日は、アイヌ語を一杯学べました。ありがとうございました。
D: isoneka, usaanpe e=eraman. Satporo un STV or wa e=ek hawe? tuymano wa no e=ek korka e=epirka na. イーソネカ　ウサアンペ　エエラマン　サッポロウンエスティ　バイオロワエエッハウエ　トゥイマノワノ　エエッコロカ　エエピリカナ	いろいろ勉強になってよかった。札幌のSTVから来たんでしょう。遠くからよく来たけど、よかったね。
E: tanto isoneka es=arki. suy arki wa i=korporare yan. タント　イーソネカ　エサㇰキ　スイ　アラㇰキワ　イコロパレヤン	今日はよく来てくれましたね。是非、また来てくださいね。
C: iyayraykere. sunke sak no suy ku=ek wa. イヤイライケレ　スンケサッノ　スイ　クエッナ	ありがとうございます。必ず、また来ますね。
D: pirkano mokor yan. ピリカノモコラン	おやすみなさい。
C: pirkano mokor yan. ピリカノモコラン	
E: pirkano yaysinire yan. suy unukar=an rok. ピリカノヤイシニレヤン　スイウヌカラアンローㇰ	おやすみなさい。また、会いましょう。

学習の要点

1. es=en=

第二期の教科書のkampinuye　16「学習の要点1」では、人称接辞について学びました。話し手ないしは聞き手（を含む者たち）がする行為あるいは話し手ないしは聞き手（を含む人）に対してなされる行為を表現する動詞には、それぞれの場合に合った人称接辞を付けなければなりません。話し手が動作主である場合（一人称主格）には**ku=**（単数：私が）、**an=**（聞き手を含む複数：私たちが）、**ci=**（聞き手を含まない複数：私たちが）が、話し手が動作の対象の場合（一人称目的格）には**en=**（単数：私を・に）、**i=**（聞き手を含む複数：私たちを・に）、**un=**（聞き手を含まない複数：私たちを・に）が用いられます。二人称は、主格と目的格が形の上では区別されず、**e=**（単数：あなたが・を・に）**es=**（複数：あなたたちが・を・に）の形が用いられます。従って、人称接辞が何も付かない動詞は、話し手・聞き手以外の者（たち）がまた別の（話し手・聞き手以外の）者（たち）に対してする行為を表していると解釈されます。主格の人称接辞が付かない動詞は話し手・聞き手以外の者（たち）の動作を、目的格人称接辞の付かない動詞は話し手・聞き手以外の者（たち）に対する動作を表すものとして理解されます。

ku=nukar	私は彼（女）（5）を見た。 （目的格の人称接辞なし）
an=nukar	私たちは彼（女）（5）を見た。 （目的格の人称接辞なし）
en=nukar	彼（女）（5）は私を見た。 （主格の人称接辞なし）
un=nukar	彼（女）（5）は私たちを見た。 （主格の人称接辞なし）
nukar	彼（女）（5）は（別の）彼（女）（5）見た。 （主格・目的格の人称接辞共になし）

e=nukar	あなたは彼（女）（5）を見た／彼（女）（5）はあなたを見た。 （目的格または主格の人称接辞なし）
es=nukar	あなたたちは彼（女）（5）を見た／彼（女）（5）はあなたたちを見た。 （目的格または主格の人称接辞なし）

本文に出てきたes=en=は、二人称複数主格（あなたたちが）と一人称目的格（私を・に）が連続した形です。このように聞き手（たち）が話し手（たち）に対してする動作を表す場合、用いられる動詞にはe=en=（あなたが私を・に）、e=un=（あなたが私たちを・に）、es=en=（あなたたちが私を・に）、es=un=（あなたたちが私たちを・に）といった人称接辞の連鎖が付きます。このように、聞き手（たち）の話し手（たち）に対する動作を表す場合は主格＝目的格＝動詞（～が～を・に）の形になるのですが、逆に話し手（たち）の聞き手（たち）に対する動作を表す場合はe=動詞=an（私があなたを・に）、e=動詞=as（私たちがあなたを・に）、es=動詞=an（私があなたたちを・に）、es=動詞=as（私たちがあなたたちを・に）のように目的格＝動詞=（自動詞に付く）主格（～を・に～が）の形になります。このような現象は、人称接辞が（1）目的格＝主格＝の順番には並ばない、（2）一人称は二人称の人称接辞の前には付かないという二つの規則で説明することが出来ます。e=やes=が目的格の場合、規則（1）からe=やes=の後でku=、an=、ci=は用いることは出来ず、（2）からe=やes=の前でku=、an=、ci=を用いることも出来ません。そこで、主に自動詞に付く一人称主格の人称接辞である=anまたは=asを用いて表現するというわけです。

2. pakno

第一期の教科書のkampinuye　10「学習の要点3」で学んだように、pakno（またはnoの付かないpak）は、前に名詞句または動詞句を伴って「～（する）まで・ほど・くらい」など期間・程度・限界を表現します。kampinuye　29「学習の要点1」で学んだtane paknoもそのような例の一つです。また、paknoは単独で用いることも出来、その場合は先行文脈で直接的ないし間接的に想起されているものを指して、「それまで・ほど・くらい、これまで・ほど・くらい」の意味で解釈されます（pakがそのように用いられることは極めてまれなようです。）。本文に見られるpaknoもそのような単独での用法の例で、「それまで、これまで」程度の意味です。ここでは、話し手が自分の発言や行動が済んだことを伝えるのに用いられており、日本語の「以上（です）」にやや似ています。

3. isoneka/iisoneka

kamipinuye　42「学習の要点1」で学んだように、isonekaには、（1）運が良く「心配していたことが起こらなかった時の安堵の気持ち」や「あまり実現するとは思わなかった希望が叶った時の存外の喜び」を表現するのに用いられ、しばしば「よかったあ」、「ありがたい」などと訳される用法と、（2）「相手の行為を歓迎あるいは祝福する気持ち」を表し、「よく（そ）～（してくれました）」といった具合に訳される用法があります。本文の一つ目の例は（1）の用法、二つ目の例は（2）の用法に相当します。

4. sak no/isam no/somo (ki) no

sak noは、前に名詞（または自動詞句、ci-他動詞句）を伴って「～（すること）なく、～（すること）なしに」という副詞句を形成します（「ci-他動詞」については、kampipinuye　42「学習の要点2」を参照）。類似した表現にisam no「～なく、～なしに」とsomo ki no「～せず」にがあります。isam noは、名詞を前に取るものの、自動詞句やci-他動詞句は（旭川方言資料を見る限り）取らないようです。それに対して、somo ki noは名詞ではなく（人称接辞を伴った）文や動詞句を前に取る点でsak　no、isam　noと異なります。sakは「～が～を持たない・欠く」という意味の他動詞、isamは「～がない」という意味の自動詞で、somo　kiは「（～し）ない」の意味のsomoと「～する」という意味の代動詞kiからなります。

ci-anunkopa	sak no ...	余所者扱いをすることなく
ramucuptek	sak no ...	怖気づくことなく
V an=pon_yupi nu haw ka	isam no ...	下の兄は聞こうとするようすもなく
nep an=kor_rusuy ari an pe	isam no ..	欲しいというものもなく
ipe=an ka	somo ki no ene oka=an_hine...	私は食事もしないでいて、
nep ka an=_ye ka	somo ki no oka=an	私が何も言わないでいたところ、

文化的背景

pirkano mokor yan/pirkano yaysinire yan: それぞれ文字通りには「よく眠って下さい」、「よく休んで下さい」という意味で、夜に交わされる別れの挨拶としてしばしば用いられる表現です。状況に応じて、「さようなら」にも「おやすみなさい」にもなるようです。pirkano sini yanという言い方もあるのですが、siniという言葉の音から日本語の「死に」が想起されるせいか、現在では避けようとする傾向があるようです。このことは、アイヌ語自体の意味には全く無関係なのですが、アイヌ語の話者は基本的に日本語とのbilingual「二言語使用者」であること、アイヌ語の使用の場は完全に日本語社会に呑み込まれていることなどから考えると不可避な影響なのかもしれません。このような経緯から、現在ではsiniをyay-と-reで挟む冗語法を使って派生されたyaysinireの方を好む話者が多いようです。同じような日本語社会からの影響は、aynuという言葉についてもあったようです。現在、「北海道ウタリ協会」と呼ばれている社団法人は、設立当初から1961に改称されるまでは「北海道アイヌ協会」という名前だったそうです。同協会編の『五十年のあゆみ』には、「当時「アイヌ」の用語を差別的にしようしていた和人社会があったため、その心理的抵抗を避けつつ組織拡大を図るためには組織名の変更もやむなしとし、北海道ウタリ協会と名称を改めた」と書かれています。aynu（アイヌ）という言葉は、第一にkamuy（カムイ）に対する「人間」を意味する語で、第二にmat(aynu)（マツ、マタイヌ）に対する「大人の（しばしば立派な）男性」、第三にsisam「和人」に対する「アイヌ人」を指すに過ぎません。この語に対する日本語社会の影響も、アイヌ語自体にとっては甚だ迷惑なものに違いないのですが、それだけ避けがたい大きな力を及ぼしてきたことは疑いようのない事実のようです。

今日の単語

arki アㇰキ【自動詞】「複数の人・物が」来る。(複 <i>ek</i>):or ta itak kur newa inu kur okay hi kohanke (話し手と聞き手のいるところへ近づく)	mokor モコロ【自動詞】寝る、眠る。: hotke=an wa cinita usa an=ki (横になって夢を見るなどする)
aynuitak アイヌイタッ【名詞】 アイヌ語 : an=kor itak (私たちの話す言葉)	nankor ナンコロ【助動詞】【動詞＋】～するつもりだ、～するだろう。: kunak itak kur ramu (と話者が思う)
ciki チキ【接続助詞】【文＋】（～する）なら: [+命令文]（～する）か。:[iki +] iki=an hi ta (～する時に)。iki=an yak(～したら)	no ノ【副詞頭尾】【自動詞＋】（副詞化する。）～に、～く、～て。:[否定的意味の動詞句＋]（～な）く。。:[副詞・助詞]口調を整える。: ruwe ne kor (～であり)
ek エㇰ【自動詞】来る。話し手と聞き手のいる場所に近づく移動をする。(複 <i>arki</i>):or ta itak kur newa inu kur okay hi kohanke (話し手と聞き手のいるところへ近づく)	pakno パクノ【副詞・助詞】それまで、それほど、～まで、～ほど。: kosirepa wa (～に連れて)
en= エㇰ【人称接辞】【＋動詞】私（を～する）、私（に～する）。: itak kur ekota iki=an sekora moymoykeitak etoko us (話し手に対して何かがされるという動詞の前に付く): [+位置名詞]私の。	pe ペ【形式名詞】【動詞・文＋】（～する・した）もの、（～する・した）こと。: hi (こと)、nep ka (何か): [接続助詞]《口語体》（～する・した）が、（～する・した）のに。: korka (～する・したのに): 子音で終わる動詞句に付く形。母音で終わる動詞句に付く形は-p
epirka エピㇰカ【他動詞】～で得ず。: an=ki wa nep ka pirka p an=uk (～をして何か良いものを得る)	pirkano ピリカノ【副詞】良く、しっかりと、しっかりと。(cf. pirka): wenko no (良く)
eraman エラマン【他動詞】～が分かる、～を理解出来る。(反 <i>erampetek</i> : eramus <i>kare</i>): somo an=eraman (分からない)	poronno ポロンノ【副詞】多く。: somo ponno (小さくない)。: rupe (大きい、大きくなる)
erampetek エラムベテㇰ【他動詞】～が分からない、～を理解できない。(反 <i>eraman</i> : 類 <i>eramus<i>kare</i></i>): somo an=eraman (分からない)	rok ロㇰ【文末詞】【文＋】（～し）よう、（～し）ましよう。: inu kur turano iki hi ta itak kur ye p iyotta iosi ek itak (聞き手と共にする時に話し手が言う言葉の最後にくる言葉)
es= エシ【人称接辞】【＋動詞】お前たち（が～する）。: [単数の聞き手に対して用いて] あなた（が～する）。: [+名詞] お前たち（の～）。: [単数の聞き手に対して用いて] あなた（の～）。: inu kur utar iki, inu kur utar ekota iki=an sekora moymoykeitak etoko us (聞き手が何かする、聞き手に対して何かがされるという動詞の前に付く)	ruwe ルㇰワ【形式名詞】【文＋】（～する・した）の。: [文末詞的に用いられて]（～する・した）の。: an=eraman pe (知っていること)
eyaypakasnu エヤイパカシヌ【他動詞】～を学ぶ、～を勉強する。: an=eraman kusu arikiki=an (～を知るために頑張る)	sak サㇰ【他動詞】～が～を持たない、～に～がない。(反 <i>kor</i>): [nep ¹ nep ² ＋] [何か ¹] が [何か ²] を持たない、[何か ²] が [何か ¹] にない。: (自動詞+sak　noの形で)～せず。: somo an=kor, or ta isam (～を持たない、～のところに～がない)
hawe ハㇰヱ【名詞】～の声、～の言うこと。(類 <i>itaki</i>):【形式名詞】【文＋】（人から聞いたことから判断して）（～する・した）こと、（～する・した）という話。: [文末詞的に用いて]～だねえ、～なの?: an=ye p (言われたこと)	Satporo サッポロ【場所名詞】札幌。: yaunmosir ta iyotta poro kotan (北海道で最も大きい街)
iyayraykere イヤイライケレ【開設詞】どうもありがとうございます。	sonno ソㇰノ【副詞】本当に、とても。: kasuy (～すぎる)
kopisi コピシ【他動詞】～に尋ねる。: an=erampetek pe i=eramante kuni an=nisuk (分からないことを分かってもらうよう～を頼る)	sunke スㇰケ【自動詞】嘘をつく。:【名詞】嘘。: anpe somo ne p (an=ye) (本当ではないことを言う))
korka コㇰカ【接続助詞】（～する・した）けれども。:[iki +] iki p ne yakka (～するのだとしても)	suy 【副詞】また、再度。: na arsayu (もう一度)
korporare コㇰロㇰㇰ【他動詞】二重目的語＋～が～に～を与える。(単 <i>kore</i>): [nep ¹ nep ² nep ³ ＋] [何か ¹] が [何か ²] に [何か ³] を与える。: [i=korporare ya(n)の形で]～して下さい。: [nep ¹ nep ² nep ³ ＋] nep ka ² nep ka ³ kor kuni nep ka ¹ iki ([何か ²] が [何か ³] を持つように [何か ¹] する。): [動詞　wa　（人称接辞）＋]～に（～して）あげる、～に（～して）くれる。: an=ki kor an=kasuy (～しなから～を助ける)	tanto タㇰト【名詞・副詞】今日。: tane an to (今ある日)
ku= ク【人称接辞】【＋動詞】私（が～する）、[+名詞] 私（の～）。: itak kur iki sekora moymoykeitak etoko us (話し手が何かをするという動詞の前に付く)	tuymano 【副詞】速く、速かに。(反 <i>hakeno</i>):【名詞】速く。: hanke ka somo ki no (近くなく)
	unukar ウㇰカラ【他動詞】会う。: sine hi ta okay=an wa uerankarap=an (同じところにいて挨拶する)
	usaanpe ウサアンペ【名詞】いろいろなもの、いろいろなこと。: sinep patek somo ne no oya p ka (一つだけでなく他のこと)
	ya ヤ【文末詞】～しますか、～して下さい。: [文＋]: [～し] ますが、「～して」下さい。: an=erampetek pe usa an=eramus <i>kare</i> p usa ne an ka an=ekopis hi ta ikopis itak kes ta an=anu p (分からないこと知らないことを誰かに尋ねる時、尋ねる言葉の最後につける言葉)
	yakne ヤㇰネ【接続助詞】～すると、～するなら、～したら。(類 <i>yakun</i>): [動詞句・文＋] 条件を導く。: [iki +] iki hi ta (～する時に)
	yan ヤㇰ【文末詞】【文＋】～して下さい。: nep ka ki wa en=kore sekora itaka=an hi ta iyotta osi an=ye itak (～して下さいと言う時に最後にいう言葉)
	yaysinire ヤイシニレ【自動詞】休む。(類 <i>sini</i>): sinki an=uska kusu ratci sukup an=ki (疲れを消すために寝やかに過ごす)

kampinuye 46 (iwanpe ikasma ine hot): ウエランカラプ(1)

カンピヌイエ トゥペサンペイカシマレホツ

irankarapte イランカラッテ	ご挨拶申し上げます	teeta wano テエタワノ	昔より
ku=kor utarpa クコロウタㇼパ	親愛なるお方	an=_nomi kamuy アノミカムイ	私達が拝みし神を
e=koteksam ta エコテッサムタ	あなたの傍らで	ekas_owano エカソロワノ	父祖の頃より
sukup okkayo スクッオッカヨ	暮らす男が	an=_nomi kuni アノミクニ	私達が拝むべく
an=_ne wa ne ciki アネワネチキ	私なれば	inawka... イナウカ…	御幣を（私たちは作る…）
tane an tono タネアントノ	今いる和人達	kamuy okay wa カムイオカイワ	神々がおられた
tane an oyapmosir タネアンオヤッモシリ	今ある余所者の国が	siran korka シランコロカ	ようなのですが
an=_kor_rok kotan アコンロッコタン	私達のものなりし村	oyap ne manu p オヤッネマヌㇼ	余所者というものが
soyokatciwe ソヨカッチウェ	を締め出し	(i=yosen...) i=ohupneka (i=ohupneska)* (イヨセン…) イオブネカ イオブネシカ	私達を狭め

*本文で語形・語義ともに未詳の表現は赤く表示してあります。

学習の要点

1. koteksam

koteksamは「～の側・傍ら」という意味の位置名詞（kampinuye 33「学習の要点2」を参照）の一つです。この語は、ここで学ぶ挨拶の言葉や今期最後に学ぶ祈りの言葉などでもっぱら用いられる**文語的ないし雅語的な表現**です。それに対して物語などで普通に用いられる形はteksamで、これは口語でも用いられます。teksam「～の側・傍ら」はtek「手」、sam「側」からなり、それに文語・雅語特有のko-付いた形です。このko-は、語源的にはkampinuye 40「学習の要点3」で学んだko-と関係があると思われますが、文語・雅語特有の語を形成する役割を果たすだけで、「～へ、～と」といった意味を加えない点が明確に異なります。そのため、**虚辞のko-と呼ばれることもあ**
るようです。

i= teksam ta u arki wa	私のそばに来て、
i=teksaykar	私に両手をさしのべて
temnikor i=omare	腕の中に私を抱きしめた。

2. ekas_owano

ekas(i)「祖父・お爺さん」、**oro**「～のところ」、**wa**「～から」、**no**（副詞語尾）からなる表現で、文字通りには「祖父のころより」程度の意味です。比較的決まった言い方で、ekasの代わりにどんな語でも入るわけではないため、ekasorowanoで「父祖の頃より」という一語として扱ってもよいかもしれません。

3. ne manu p

ne manu pは、前に名詞を取って「～というもの」、「～であるべきもの」、「～であるはずのもの」といった意味の名詞句を派生します。口語や散文の物語で用いられた時には「～であるべきもの」、「～であるはずのもの」のようにより具体的な意味を加えますが、韻文での使用例は韻律を整えるために用いられていると考えられるものが少なくありません。kampinuye 40「学習の要点4」で触れたように、**アイヌ語の韻文には一節5音節を基調とする傾向が広く見られます**。そのような調整のために、虚辞のuやkamipinuye 44「学習の要点3」で見たyay-動詞-reなどの（ある意味では冗長な）表現が用いられます。**韻文で用いられたne manu pも同様な韻律調整が主な機能と考えられます**。oyap「余所者」は2音節のため単独では一節（本文では、一節を1行で表しています）を形成するのに短すぎますが、ne manu pという3音節が加えられることで5音節(o-yap-ne-ma-nup)となる訳です。



今日の構文

動詞句 +wa ne ciki/ **動詞句** +ciki

kamipinuye 28「学習の要点2」では、cikiが語り手が目下のものに「私が～するから」のように語り聞かせる場面で用いられることを学びました。そのように目下のものに語り聞かせる場合以外では、**前に条件や理由を表す動詞句を取って「(～す) れば、(～する) から」のように訳されます**。そのようなcikiの更に文語的な表現がwa ne cikiです。ここで用いられるwa neという表現自体が文語的な言い回しで、口語などでは単にyakun, yakka, kusuと言えば済むところをwa ne yakun, wa ne yakka, wa ne kusuのように（やや冗長ながら重々しい）表現を形成するのに用いられます。このように、アイヌ語では冗長な言い方をすればするほど「重々しい、重厚な、荘厳な、厳かな」印象を与える文語的・雅語的に響くようです。これは、アイヌ語がpawetokor「雄弁」を重ねじるという文化的背景と関係があるかもしれない。同じような冗語による文語・雅語の形成という特徴は、本課の学習の要点1で触れた虚辞のko-にも当てはまるように思われます。



文化的背景

irankarapte：現在では、人によってあるいは方言によっては「出会った時に交わす挨拶言葉」として使われることもあるようです。けれども、本来は本課の本文に見られる使用例のように、後に長く続く正式な挨拶の言葉の導入に用いられる表現なのだそうです。これに対する結びの言葉が、kampinuye 47の本文の終わり近くに見られるukoonkami=an naのようです。kampinuye 1「今日の構文」で触れたように、i-動詞-re、i-動詞-teという形を持つ一連の定型挨拶表現があり、irankarapteはその一つです。i-はi=「私（たち）に」とも解釈することが出来、-re、-teが「(～さ) せる」を意味することを考え合わせると、それら一連の表現はどれも「～させて下さい」という意味を持っていることとなります：iyayraykere「感謝させて下さい<yayrayke（感謝する）」、iramkarapte「挨拶させて下さい<rankarap（挨拶する）」、ionkamire「拝礼させて下さい<onkami（拝礼する）」。

また、やはりkampinuye 1で既に述べたことですが、iyayraykereも伝統的にはかなり正式かつ丁寧な表現で、日本語の「どうも」、「わるいね」、「ありがとう」、「サンキュー」のような軽い感謝の表現として用いられることはなかったようです。何かをもらった時に言うhunnaやkampinuye 47の本文に出てくるhapapのほうがこれらに近いようです。更に、iyayraykereに対する返答（「どういたしまして」のような表現）としてionkamireが用いられる場合もあるようですが、日本語の「どうもありがとうございます」と「どういたしまして」のように綺麗な対をなしていたわけではないようです。

とはいえ、日本語社会という文脈でアイヌ語を用いていこうとする際、本来アイヌ文化(ainu puri)には存在しなかったか表現が必要となってくるかもしれません。i-動詞-re、i-動詞-teという表現形式は、そのような表現を新しく準備していくためにも有益かもしれません。どの表現も、「相手にある行為をさせてもらう」という発想をすることによって謙虚さと丁寧さが意図されていると考えることも出来ます。このような表現形式は、このようなアイヌ語の発想を新しい挨拶表現の中に受け継いでいく意味でも大切な文法と言えるかもしれません。

MEMO



今日の単語

ekasorowano エカソロワノ【副詞】父祖の頃より。: teeta wano (昔から)
inaw イナウ【名詞】御幣、イナウ。: ni an=ke wa an=kar p, aynu itak kamuy ekota ekte p (木を削って作られる、人間の言葉を神に届けてくれるもの)
irankarapte イランカラッテ【間投詞】ご挨拶申し上げます。: onkami=an sir tapan na (挨拶致しまする)
kor コロ【他動詞】～が～を持っている、～に～がある。(複他kore): [**~kor…の形で**] ~の…: kor cise 彼の家。: [nep¹ nep²+] [何か¹] が [何か²] を持っている、[何か²] が [何か¹] にある。(反sak): [nep¹ nep²+] nep ka² nep ka¹ or ta an ([何か²] が [何か¹] にある。)
koteksam コテッサム【位置名詞】～のすぐ側、～の傍ら。: teksam (～の側)
manu マヌ【助動詞】(～である) べきである、(～である) はずである。: kuni (べき)
nomi ノミ【他動詞】～に祈る、～を祀る、～を拝む。: kamuy an=koonkami (神に挨拶する)
ohupneka オフンネカ【他動詞】～を狭める。: 原典では、/ohupneska/と聞こえる。o (～の下部)、hupne (狭い)、-ka (～させる) 程度で解釈しているが正確な意味と語形は未詳。
okay オカイ【自動詞】ある、いる、暮らす、あらわれる。(反isam; 単an): katu kor, tum kor (姿を持つ、体を持つ)

okkayo オッカヨ【名詞】男、男性。(反menoka):
oyap オヤㇼ【名詞】よそ者。: oyakke un kur (よその場所の者)
oyapmosir オヤㇼモシリ【名詞】よそ(者)の国。: yayunkur mosir some ne mosir (祖国ではない国)
p ヲ【形式名詞】[動詞・文+] (～する・した) もの、(～する・した) こと。: hi (こと)、nep ka (何か): [接続助詞]《口語体》(～する・した) が、(～する・した) のに。: korka (～する・したのに): 母音で終わる動詞句に付く形。子音で終わる動詞句に付く形は-pe。
rok ロク【助動詞】(～し) た。(単a): wa an (～してしまっている)
siran シラン【自動詞】[文(kotom)+] ~のようだ。: siri an=nukar (～な様子が見える)
soyokatciwe ソヨカッチウェ【他動詞】～を締め出す。: soyke ne an=sanke (外へ出す)
sukup スクッ【自動詞】育つ、暮らす。: okay=an (暮らす)
teeta テエタ【名詞・副詞】昔。(反tane): husko toy (古い昔)
tono トノ【名詞】日本人。(類sisam): aynukor=an kor ene sisam utar an=rekore katu (和人に対する持ち上げた言い方)
wano ワノ【助詞】=wa [位置名詞・場所名詞+] ~から。: [普通名詞・人称接辞 or +] (～のところ) から; (特定の表現で) ~に、~で。: soyke ene (～の外へ)

kampinuye 47 (arwanpe ikasma ine hot): ウエランカラプ(2)

カンピヌイエ アラワンペイカシマイネホッ

an=_kor_rok kotan アコンロッコタン	私達のものなりし村が	uerankarap ku=ki_haw tapan ウエランカラップキアウタパン	そこで私は会見の挨拶を申し上げます
i=uteksam イウテッサム	お互いのすぐ側	ku=kor_utarpa クコルタㇰパ	親愛なるお方
an=_ekarkar wa アネカㇰカㇰワ	に作られて	u isoneka ウイーソネカ	ようこそ
siran ki, i=koteksam ta シランキイコテッサムタ	いたようで、私共の傍らでは	ukotektumam ウコテクトゥマム	互いに手を取り合い
tono irenka トノイレンカ	和人の法律	u ratcitara ウラッチタラ	穏やかに
u tanpe tapne ウタンペタㇰネ	これ、このように	i=koteksam ta イコテッサムタ	私共の許で
okanpa kusu オカンパクス	やかましいため	sukup_=an_hi スクパニ	私達が共に暮らすのを
i=uteksam ta イウテッサムタ	お互いのすぐ側に	ku=nukar_hike クヌカリケ	私は見て
okay=an_yakka オカヤナッカ	私達は暮らしながらも	hapap sekar ハパㇰセコロ	有り難うと
unukar poka ウヌカㇰポカ	会うことすら	ku=ye a (p) kor クイエアㇰコロ	言いながら
hayta p {haytakuey} ハイタブ	十分ではありませんでしたが	ukoonkami=an na ウコオンカミアンナ	互いに挨拶致します
u tanto or_ta ウタントオッタ	今日という日に	ku=kor utarpa クコロウタㇰパ	親愛なるお方
unukar=an ウヌカラン	お目に掛かりました	eee....	エエエ…

*本文で語形・語義ともに未詳の表現は赤く表示してあります。

学習の要点

1. rok/a

「座る」という意味のaという動詞があり、その複数形がrokです。本文で用いられているrok (並びにそれに対応する単数形a) はこの動詞に由来すると思われますが、もはや動詞としてではなく「(～し) た、(～し) ていた、(～し) てもうそれが終わってしまった」といった完了あるいは過去を表す助動詞として機能しています。教科書本文のan=_kor_rok kotanは「かつて我々が治めていた (今はそうではない) 村、かつて我々のものであった (今はそうではない) 村」のように解釈されます。

V an=_ye rok pe kamuy menoko	私が話で聞いたもの 神の女性、
V kamuy utar V somo an=kor_hekatci eramuan_ya V uwepekennu=as rok wa	神たちよ、 私の子どもが (どこにいるか) 知らないかと 尋ねて

また、kampinuye 36の本文にも出てきたように、動詞句+rok peの形で「～したが、～したけれども」という意味の副詞句を形成するのにも用いられます。それに対してaは、動詞句+a korkaのようにp(e)よりはkorkaと共に使われる傾向が強いようです。

yantoetun=as rok pe ne_hi pakno anak isam pe ne a korka... nep ne_yakka easkay kur ne a korka isam.	宿を借りようとしたが その時までではなかったものであったけれど、… 何でも上手に作る事ができる者だったが亡くなった。
---	--

2. uteksam/koteksam

uteksam「互いの側」は、kampinuye 46「学習の要点1」で学んだkoteksam「～の側・傍ら」、teksamに類似した位置名詞です。

teksam「～の側・傍ら」にkampinuye 43「学習の要点1」で学んだu-「互い」が付いた形です。他の位置名詞と同様、uteksamも目的格の人称接辞を取って「～の互いの側」といった意味を表現すると考えられます。ですから、i=uteksamは「私達互いの側」程度に解釈されます。「彼ら互いの側」の意味ならば、teksamの代わりにkoteksamを用いてより文語的・雅語的な表現としてukoteksamのように表現することも出来るかもしれません。これにtaがついて韻文に特徴的な5音節となります。

3. uerankarap/ukoonkami

uerankarapとukoonkamiは、いずれも複数の主語を受けて「互いに挨拶する」という意味の語です。erankarap、koonkamiの双方が「～に挨拶する」という意味の他動詞で、それにkampinuye 43「学習の要点1」で学んだu-「互い」が付いて出来ています。更にこれらの他動詞は、rankarap「挨拶する」、onkami「拝礼する」という語とkamipinuye 40「学習の要点3」で学んだe-やko-に分析することが出来ます。rankarapとonkamiの意味の違いから、uerankarapよりもukoonkamiの方がより丁寧な挨拶を含意することが窺われます。

4. ku=kor utarpa

ku=korは「私の」、utarpaはkampinuye 41「学習の要点4」で学んだように「人の上に立つ方」、「立派な方」、「旦那」あるいはやや皮肉を込めて「お偉いさん」ぐらいの意味ですが、これは敬意を表して相手の男性を呼ぶ際にも用いられる表現です。同様な表現にku=kor nispaなどがあり、女性に対してはku=kor katkematが用いられるようです。また、男女を共に並べて言うnispa utar katkemat utarは、英語のladies and gentlemenに似ています。

今日の構文

動詞句+haw(e) tapan/sir(i) tapan/ru(we) tapan (na)

これらは、祈りの言葉や正式な挨拶などで文の末尾に用いられる言い回しで、「～のであります」のように訳されます。kampinuye 11「学習の要点3」と「言葉をもう少し詳しく」で指摘したように、haw(e)、sir(i)、ru(we)はそれぞれ文に後続して、話し手または聞き手がhaw「声（で表現される言葉）」やsir「様子（から受け取った映像）」を通してその文の内容を得たのか、あるいはその内容は既に得られてru「跡（に当たる記憶）」となっているのかを伝えます。ですから、「～のであります」の「～の」の内容が、これらのうちのどれに該当するかに応じてhaw(e) tapan、sir(i) tapan、ru(we) tapanが使い分けられることになります。従って、本文のuerankarp ku=ki_haw tapanは「(聞き手が話し手の声を聞いて分かるように) ご挨拶するのでございます」という意味で解釈されます。この後、この教科書では最後に扱うことになる祈りの言葉の本文にも、次のような例が出てきます。

apkas_=as siri tapan na.	(聞き手が様子を見て分かるように) 私たちは廻るのであります。
tapan onkami/ku=ki_hawe tapan na.	(聞き手が話し手の声を聞いて分かるように) 私はご挨拶するのであります。

文化的背景

eee... : 正式な挨拶や神への祈りを述べ終わった後に発せられる咳払いに似た声です。声門（声帯）を狭窄させた状態で無声音の「エ」を発しながら声門（声帯）の開閉を素早く繰り返すようにして発せられます。直前に、やはり母音が無声化した「ハ」を短く入れてから、この声を発することがよくあるようです。また、中には口を閉じてこの声を発する人もおり、その場合は長めの咳払いに聞こえるかもしれませんが。はっきりとした意味は分かりませんが、神道などでの「かしこみかしこみもうもうす」のようにyakatanu「畏まる」していることを表現するのかもしれませんが。この点では、時代劇などで家臣が殿様の命を受け、「かしこまりました」たと申し上げる時などに発する「ハハハッ」ともある点では似ているように見えます。また、「以上申し上げたことに偽りはありません」という誓いとも解釈出来ます。あるいは、「かくあれかし、そうありますように」という念じとも受け取れます。そうだとすれば、キリスト教などでのamen「アーメン」などと似ていることになります。

今日の単語

eee... エエエ…【間投詞】「謹んで奏上しまする」程度の意味か。: yaykatunu=an kor itak=an haw tapan na (謹んで申し上げます)
hapap ハパㇰ【間投詞】ありがとう、どうも。(類hunna, iyayraykere): yayrayke tura an=ye itak (感謝しながら言う言葉)
hayta ハイタ【自動詞】足りない。: 【他動詞】～をないがしろにする。: nep ka an=kor rusuy sekar yaynu=an (何かが必要だと思う)
hi ヒ【形式名詞】[文+] (～する・した) こと。: [文+] (～する・した) 時: [tan/taan/toan/nean+] (こ・そ・あそ・そ) こ。: [ene 動詞句 hiの形で] (～する) 方法。: katu (～という様子)、hawe (～という話)
irenka イレンカ【名詞】意向、決まり、法律。: nen ka neno an kuni p sekar yaynu=an pe (誰かが、そうあるべきと考えること)
nukar ヌカㇰ【他動詞】～を見る。(他inkar): ekota inkar, sikkuste (～に目を遣る、～に目を通す)
okanpa オカンパ【自動詞】やかましい、むずかしい。: hawe yupke, yupke (うるさい、むずかしい)
ratcitara ラッチタラ【副詞】穏やかに、ゆっくりと。: yaykimatekka sakno (急がずに)

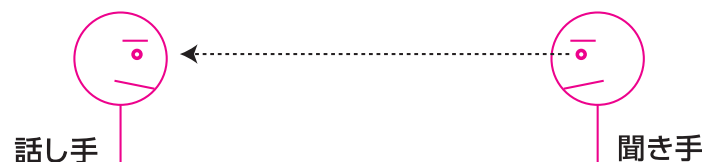
tanpe タンベ【代名詞】これ。話し手と聞き手のいる場所(「teテ」や「teorテ オロ」で指し示される場所)の中にあるもの。(反taanpe, toampe): *te, teor ta an pe, or ta itak kur inu kur tura an hi ta an pe (「ここ」にあるもの、話し手と聞き手のいるところにあるもの)
tapne タㇰネ【副詞】かく、かよに。: tanpe neno (このように)
uerankarp ウエランカラㇰ【自動詞】(通常二人が) 挨拶を交わす。: ukoonkami=an (挨拶を交わす)
ukoonkami ウコオンカミ【自動詞】(通常二人が) 挨拶を交わす。: ukoonkami=an (挨拶を交わす)
ukotektumam ウコテクトゥマム【自動詞】(通常二人が) 手を取り合う。: uteke an=anpa (互いの手を取る)
uteksam ウテッサム【自動詞】(通常二人の) 互いの側。: uteksam (互いの側)
yakka ヤッカ【接続助詞】< ya ka [文+] [+erampetek/eraman] (～する・した) か、(～する・した) かどうか(分からない・分かる)。: [iki +] iki=an he somo iki=an he (するのかししないのか)

kampinuye 48 (tupesanpe ikasma rine hot):練習問題(8)

カンピヌイエ トゥペサンペイカシマイネホツ

復習の要点

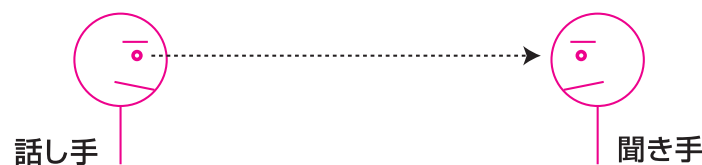
1. 「私（たち）は、あなた（たち）は～」、「私（たち）を、あなた（たち）を～」、「～していたけれど」



(1) 「あなたは私を見た」という表現を作ってみましょう。また、「あなたたち」、「私たち」というふうに、複数形も練習しましょう（人称接辞に注意してください。また複数の練習では、自分の家族や友達、同僚など実際の場面をイメージしてみましょう）。(45-1)

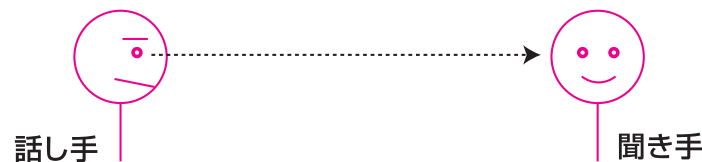
(例) 「あなたは私を見た。(e=en=nukar.)」、「あなたは私たちを見た。(e=un=nukar.)」、など

(2) 同じように、話し手が聞き手を見た場面（下の図）をイメージして、「私はあなたを見た」という表現を作ってみましょう。また(1)のときのように、「私たち」、「あなたたち」と複数形も練習しましょう。(45-1)



(例) 「私はあなたを見た。(e=nukar=an.)」、「私たちはあなたたちを見た。(es=nukar=as.)」、など

(3) 今度は、相手をずっと見ていたのに、相手が気づいていません（「気付く」はpaste）。「～したけれど」などの表現を使って、「見ていたのに気づかなかった」と言ってみましょう。複数形も練習してみましょう。(45-1, 47-1)



(例) 「私はあなたを見ていたけれど、(あなたは) 気付かなかった。(e=nukar=an a korka somo e=paste.)」、「私たちはあなたたちを見ていたけれど、(あなたたちは) 気付かなかった。(es=nukar=as rok pe somo es=paste.)」、など

(4) 気づいてくれないので、話し掛けてみました（「話し掛ける」はkoitak）。今度は話し掛けられた方の立場に立って、「話し掛けられるまで気がつかなかったよ」と言ってみましょう。複数形も練習してみましょう。(45-2)



(例) 「あなたが話し掛けるまで気がつかなかった。(e=un=koitak pakno somo e=paste=as.)」、「話し掛けただだねえ。それまで気がつかなかった。(e=un=koitak humi. pakno somo e=paste=as.)」、など

2. 「あいさつする」、「よく（ぞ）～（してくれました）」、「～（すること）なく」、「ありがとう」、「また～します、しましょう」、「おやすみなさい」、など



(1) 友達が遊びにやってきました。初めて会う人も一緒です。その中の人があいさつしてきました。「あいさつする」という色々な表現を、復習しましょう。(47-3)

(例) 「（彼らに）あいさつした(ku=erankarap.)」、「互いにあいさつする(uerankarapなど)」、など

(2) わざわざ来てくださったことを歓迎する表現を言いましょう。(45-3)

(例) 「よく来てくれましたね(isoneka es=arki.)」、など

(3) みんなで話して、楽しい時間をすごしました。夕飯もつくって、ご馳走しました。今日始めてあった人が、以下のように言っています。

ci=anunkopa sak no,
poronno rataskep
enci=ere.
sonno iyayraykere.

何ていつてくれたのか、下に書いてください(enci=erelは「私に食べさせてくれた」)。(45-4, 47-4)

(4) 楽しい時間をすごしていたら、もう夜遅くなってしまいました。2人とも帰るそうです。最後にお別れのあいさつをしましょう。(45-本文)

(例) 「また会いましょう(suy unukar=an rok.)」、「おやすみなさい(pirkano mokor yan.)」、など

3.応用問題（「～の～」など）

(1) 砂沢クラ著『私の一代の思いで』に、以下のような表現がありました。

(A) …pon unarpe kor totto huci ekasi hoski Kitami ta paye wa okay.

(B) …sine ku=kor acapo en=kay wa_hosippa=as.

今まで習ってきた色々な表現が入っています。単語の意味も、単語帳にありますので、それを参考にして、この文の訳を挑戦してみましょう（ヒント：(A) 北見に行ったのは誰でしょう？、(B) kayは「おぶう」という意味です）。(45-1, 47-4)

(A) _____

(B) _____

kampinuye 49 (sinepesanpe ikasma ine hot):カムイノミ(1)

カンピヌイエ シネペサンパイカシマイネホッ

iresu huci イレスフチ	育みの媼、	ekasi sermake エカシセシマケ	父祖の後ろ、
apehucikamuy アペフチカムイ	火の媼神へ、	utar sermake ウタッセシマケ	一族の後ろ
kamuy ekasi カムイエカシ	神の翁に	ekopunkine エコブンキネ	を守り
etok_ta_onkami=an na. エトットンカミアンナ	先んじてお祈り申す	teksamake テッサマケ	そのすぐ傍ら
wakkauskamuy ワッカウシカムイ	水の神、	tuyma ci=kus... トゥイマチクシ…	を我らは遙か行き来する
iresu huci イレスフチ	育みの媼と	ci=kusurka- チクシクルカ	往来の道すがら
oyuknokamuy {uyepnukamuy} オユクノカムイ {ウイエブヌカムイ}	奥山の神、	cipore wa apkas_=as チポレワアッカサシ	舟を入れ、ここかしこを廻る
kamuy ekasi カムイエカシ	神の翁が	siri tapan na. シリタパンナ	なり
sinep koraci シネッコラチ	一つのごとく		

*語形・語義未詳の表現は赤で表示されています。

学習の要点

1. etok_ta_onkami=an na

etok(o)は、「(～の) 前」を意味する位置名詞で、対義語はoka(ke)「(～の) 後」です。「～が行く先、～の(視線の) 先・前方」という空間的な意味でも、「～より(時間・順序が) 先」という時間的な意味でも用いられます。次の例は空間的な意味を例示しているのに対して、本文の例は時間的意味に該当します。従って、本文の**iresu huci apehucikamuy kamuy ekasi etok_ta_onkami=an na**は、「**育みの神、火の神よ、神の翁に対してお祈りする前に、(火の神に) お祈りいたします。**」という意味になります。

atuy ecacak i= etok ekari Aspet etoko ta rikip=as a wa... i= etok kus i=oka kus kane... anokay anakne ape etok ta hotke=an oka=an kane...	海のカモメが私の前にまわり(空間的意味) 芦別の水源に登って…(空間的意味) (女の人たちが) 私の前を通り私の後ろを通して…(空間的意味) 私は炉の上手に寝ていて…(空間的意味)
--	---

etok(o)の時間的意味には、「～より(時間・順序が) 先」の他、次に例を挙げたように「(一定期間) 前に」という意味もあります。また、**[動詞句]**+etok taの形で、「～する前に」という意味の接続表現として働きます。etok taの反意表現は**[動詞句]**+okake taです。

re pa pakno etoko ta...	三年くらい前に…(時間的意味)
ahun etok ta...	(夫が) 入る前に…(時間的意味)

2. koraci/neno

koraciは、北海道南西方言では「～のように・みたいに」という意味で日常的に用いられる助詞のようですが、**旭川方言の日常語ではほとんど用いられない文語的・雅語的な表現です。そこで、本文では「～のごとく」と訳されています。**この意味を表すのに旭川方言で普通用いられる口語的な助詞はnenoです。南西方言では逆にこのnenoが幾分文語的・雅語的に響くのか、 aynu neno an aynu「アイヌらしいアイヌ」に例示されるように、「～のように」だけでなく「～らしく」の意味でも用いられるようです。けれども、旭川方言を含む北海道北東方言でnenoは「～のように・みたいに」という意味で日常的に用いられる表現なので、この同じ句が「(アイヌではないけれどもまるで) アイヌみたいなアイヌ」のように響き、「立派なアイヌ、立派な人」を意味するものとしては解釈しにくいようです。奥田統己先生の『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』を見ますと、nenoの項に「aynu neno an aynuはかえて人を馬鹿にしたような言い方になるのでおかしい」という説明があります。これは、静内方言はどちらかというと北東方言に属し、nenoの使い方が南西方言と異なることに起因するのかもしれないと太田満さんは述べています。

3. eko

本文に見出されるekopunkineは、祈りの言葉にしか見られない文語的・雅語的表現です。普通、口語で「～を守る」という意味を表現するには、epunkineという形が用いられるようです。**ekopunkineは、このepunkineのe-の後にkampinuye 46「学習の要点1」で扱った虚辞のko-が加えられた形と考えられます。**kampinuye 46「今日の構文」でも述べたように、**このような虚辞のko-の挿入による文語的・雅語的表現の派生は、冗語による文語・雅語の形成という一般的な傾向の一つとして捉えることが出来るかも知れません。**祈りの言葉には、このようにe-のみで意味が充足するような語のe-の部分がeko-となった形がしばしば見出されます。

a=keytum kasi **eko**onkami ku=ki wa an na.
nusa so pake nusa san kese **ekot**apkar kuni...
a=kewtum kasi **eko**inonno=an na.
tapan newsar **ekoni**wasnu wa...
nep iramante ne yakka utar turano **eko**arikiki easkay kuni...
hoski ay kamuy siretoko **ekor**ikinte ku=ki sir tapan.

汝の御心の上に礼拝すること我いたしております。
幣座の上手祭壇の下手で踊るべく...
汝の心の上に祈ります。
これなる祭りの場に馳せ参じて...
いづれの獵なりとも皆共に励むことが出来ますよう...
最初の矢神の面前に捧げます。

4. ci=kusurkacipore wa apkas=as

この表現は、現段階では正確に理解することが困難な表現です。kusは「～が～を通る」という意味の他動詞、kurkaは「～の一带」という意味の位置名詞、cipは「舟」という意味の名詞、oは「～が～に入る」という意味の他動詞、-reはkampinuye 41「学習の要点3」で学んだ使役「～させる」を意味する動詞接尾辞です。これらの構成要素を総合すると、「～を通る一带に舟を入らせる」、「**～が通る(ところ) 一带に舟を入れる**」のような意味であると理解することが出来、この理解に基づいて「**～を舟に乗って通る**」程度の意味を持つ他動詞として解釈しています。そのあとに、**wa「～して」とapkas「歩く、歩き回る」がくっ付いた [動詞句] +wa apkas「～して廻る」という表現が続いています。従って、**ekasi sermake utar sermake ekopunkine teksamake tuyma ci=kusurkacipore wa apkas_=as siri tapan naは、「父祖の背後、一族の背後をお守り下さるそばを遠く舟に乗って往来致します」のように理解されています。

今日の構文

[名詞]+sermake ekopunkine; [自動詞]kurka ci-epunkine; irammakaka ci-epunkine; ci-kaopaste
神への祈りの代表的なものは、守護を求めるもの、手助を求めるもの、獲物や山菜などの恵みを授けてくれるよう求めるものなどがあるようです。守護を求める際に用いられる言い回しに、**[名詞/人称接辞]+sermake (ci-)e(ko)punkine**「～の背後をお守り(下さる)」、**[自動詞]kurka epunkine**「～する先々をお守り(下さる)」、irammakaka (ci-)epunkine「しっかりとお守り(下さる)」などがあります。それに対して、手助けを求める際にしばしば用いられるのがci-kaopaste「お助け(下さる)」です。また、恵みを求める言い回しとしてtu pirka iso re pirka iso ci=(ko)ekasnukar「二つの良き恵み三つの良き恵みをお授け(下さる)」などがあります。これらに、kampinuye 51「今日の構文」で学ぶekarkarやen=kore yanなどを続けることで、「～し給え」や「～して下され」という儀式的な祈りの言葉を組み立てることが出来ます。

文化的背景

iresu huci/apehucikamuy, wakkauskamuy, kamuy ekasi/oyuknokamuy:

apehucikamuyは「火の神」、wakkauskamuyは「水の神」で、どちらも生活には欠かせない「火」と「水」とを授けてくれることから**iresu huci「育ての媼神」とも称される**ようです。それに対して、oyuknokamuyは「奥山の神」で、他のクマ神を配下に持つ重要な神のようです。他にも、okyukkamuy, metotuskamuy, metotkorkamuyなどとも呼ばれるそうです。倉光秀明著『上川アイヌ熊祭り』並びにイヨマンテ実行委員会監修『イヨマンテ：上川地方の熊送りの記録』によれば、旭川ではiyomante「熊送り」の前夜祭と後日祭ではapehucikamuyに祈りが捧げられ、本祭りでは以下に列举した12の神に祈りが捧げられるそうです。従って、これらが旭川で祀られる代表的な神、a(n)=nomi kamuy「我ら祀る神」に相当します。川村兼一さんによれば、毎年5月に執り行われるcinomisirkamuynomiではこのうち⑨②⑧①⑤⑩⑫の七つの神様に祈りが捧げられるそうです。また、9月に行われるkamuycepnomi (asircepnomi)では、それらの神の他にciwasikorkamuy「渚の神(キツネ神)」とatuykorkamuy「海の神(クジラ神)」にも祈りを捧げるそうです。

	『上川アイヌ熊まつり』での和名	『イヨマンテ』での和名	人間界での姿
①kotankorkamuy	「国土の神」	「国土の神」	シマフクロウ神
②siranpakamuy	「土地の神」	「大地の神」	樹木神
③horkewkamuy	「勇気の神」	「武勇の神」	オオカミ神
④situnpekamuy	「幸運の神」	「運を授ける神」	キツネ神
⑤kimunkamuy/nupurikorkamuy	「山の神」	「山の神」	クマ神
⑥isoanikamuy	「獵の神」	「獵の神」	
⑦kutkorkamuy	「進路の神」	「進路の神」	(クマ神)
⑧nusakorkamuy	「祭りを受け持つ神」	「幣壇の神」	ヘビ神
⑨cackcakkamuy/inawukkamuy	「幸せを教え導く神」	「幸運の神」	ミノサザイ神
⑩upascironnupkamuy	「危難救いの神」	「厄除けの神」	エゾイタチ神
⑪katkewkamuy	「水獵の神」	「水獵の神」	カワガラス神
⑫wakkauskamuy	「水の神」	「水の神」	

今日の単語

apehucikamuy アペフチカムイ【名詞】**火の神**。:ape kor kamuy, iresu huci(火を治める、育ての神)

apkas アッカシ【自動詞】**歩く**。: [動詞句+wa apkasの形で] **～して廻る、～してある**。: huyuppa=an ka somo ki no paye=an(走らずに行く)

cip チッ【名詞】**舟**。: wakka ka peka paye=an hi ta an=o p(水上を行くとき乗るもの)

ekopunkine エコブンキネ【他動詞】**～を守る**。(類*epunkine, kopunkine*): an=epunkine(～を見守る)

huci フチ【名詞】**お婆さん、お婆ちゃん**。(反*ekasi*): rupne mat(年をとった女性)、an=ona unu(父の母)、an=unu unu(母の母)

iresu イレス【形容詞】**育ての、育みの**。: nen ka reska(誰かを育てる)

iresuhuci イレスフチ【名詞】**火の神、水の神の別称**。: apehucikamuy, wakkauskamuy an=koitak hi ta ene an=rekore katu(火の神、水の神に呼びかけるときの名)

kamuyekasi カムイエカシ【名詞】**神の翁**。: usa okay kamuy an=koitak hi ta ene an=rekore katu(様々な神に呼びかけるときの名)

koraci コラチ【助詞】**～のごとく**。: neno(～のように)

kus クッ【他動詞】**～を通る**。: peka paye=an(～を通る)

kusurkacipore クックルカチボレ【他動詞】**～を舟で通る**。: cip an=o wa an=kus(舟に乗って～を通る)

o オ【他動詞】[二重目的語+]**～に入る**。: an=koahun(～に入る)

onkami オンカミ【自動詞】**拝礼する、挨拶する**。: ierankarap=an(挨拶する)

oyuknokamuy オユクノカムイ【名詞】原典ではokyukkamuyと同一視して「奥山の神」と解しているが、発音は/uyepnukamuy/で「相談しあう神」と聞こえる。語形と語義は未詳。

sermake セシマケ【位置名詞】(**～の**) **背後**。: an=setur sam(背中の側)

sinep シネッ【名詞】**一つ**。: rep akkari tup hayta(三より二少ない)

teksamake テッサマケ【位置名詞】(**～の**) **すぐ側、(～の) 傍ら**。: teksam(～の側)

tuyma トウイマ【自動詞】**遠い**。: 【名詞】**遠く**。(反*hanke*): toanhi ta an(ずっと遠くにある)

wakkauskamuy ワッカウシカムイ【名詞】**水の神**。: wakka kor kamuy(水を治める神)

kampinuye 50 (asikne hot): カムイノミ(2)

カンピヌイエ アシツネホツ

iresu huci イレスフチ	育みの媼	sermakaki セレマカキ	お守り
kor_a sonko コラソンコ	の伝える知らせ	apkas kurka アツカシクルカ	往来の道すがら
sonko teksam ソンコテツサム	知らせの傍らに	ci-epunkine チエプンキネ	お守り
wakkauskamuy ワッカウシカムイ	水の神と	irammakaka イランマカカ	しかと
kamuy ekasi カムイエカシ	神の翁、	en=_okiru エノキルウェ	下さり
oyuknokamuy {uyepnukamuy} オユクノカムイ {ウイエブヌカムイ}	奥山の神が	tanpe tapne タンペタツネ	かく、かように
tap_anunke_ne タパヌンケネ	かくよそへと	iresu huci イレスフチ	育みの媼よ
apkas_=as_yakka アツカサーサツカ	我ら往来せんとも	e=kor_a sonko エコラソンコ	汝に託せし知らせは
irammakaka イランマカカ	しかと		
*語形・語義未詳の表現は赤で表示されています。			

学習の要点

1. a/rok

kampinuye 47「学習の要点1」で学んだ、「(～し) た、(～し) ていた、(～し) てもうそれが終わってしまった」といった完了あるいは過去を表す助動詞です。本文の例のように名詞修飾句で用いられる場合に、aが単数、rokが複数という区別がある程度成立するようです。kampinuye 47の本文にあるan=_kor_rok kotanは「かつて我々が治めていた(今はそうではない) 村、かつて我々のものであった(今はそうではない) 村」の場合は主語がan=「我ら」で複数なのに対して、。本課のe=kor_a sonkoでは主語がe=「汝」で単数となっています。それに対して、「～だが」という接続表現を形成するさいのrok pe、a korkaの場合には、必ずしも単数・複数で使い分けられている訳ではないようです。

2. tap/tapne

tapやtapneは、tanpe nono「このように」に対応する文語的・雅語的表現で、しばしば「かく、かように」と訳されます。tapneは、tapにne「(～の) ように」が付いた形です。また、kampinuye 51「学習の要点3」で扱うtapan「(こう) である」も、同様にtap「かく」とan「ある」から出ています。tapは、それ自体が硬い文語的な表現で、このように他の語と結び付いて更に他の文語的・雅語的表現を派生します。tapne、tapanは、kampinuye 47の本文でも用いられていたことから分かるように、祈りの言葉ばかりでなく正式な挨拶、儀式的な場面では盛んに用いられるようです。一方、同じ文語でも物語の地の文(直接話法や間接話法を除く語りの文)では殆ど用いられません。従って、これらを単に文語的な表現と特徴付けるのは不十分で、儀式的なあるいは改まった言葉遣いとしても捉えなおす必要があるかもしれません。

3. irammakaka

irammakaka「とてもよく、綺麗に、素敵に」は、kampinuye 47の本文に出てきたratcitara「ゆっくりと、穏やかに」と並んで正式な挨拶、儀式的な言葉遣いで頻繁に用いられる語です。それぞれ具体的な意味を持つ語ですが、次の例から分かるように、全て「宜しく」で矛盾無く意味が通ります。従って、これらはpirkanoという極めて口語的な言い方に対応する文語的・雅語的・儀式的な表現として機能していると見ることも出来ます。実際、kamuy nomi (神への祈り) のテキスト800行近くを調べてみますと、pirkanoが3例なのに対して、ratcitaraは4例、irammakakaは21例も見つかります。

tapanpe anak kamuy puri ne wa kusu ratcitara sirutu kuni...	此は神の習いであるが故、宜しく(穏やかに) 進むべく...
tane anakne tonon irenka an pe ne kusu arkotan ta arki=as ki wa ratcitara kamuy oreksi ci=ki _haw tapan na.	今や偉い方の意向があるため向こう村へ私たちやって来て宜しく(厳かに) 神を送りの儀式私たちはするそうです。
cianunkopa koisamnopo ratcitara iwankenopo konepirawe iki a yakka ki easkay kuni...	他人扱いせず宜しく(穏やかに) 達者で何か仕事をしても良く出来ますよう...
irammakaka ikoinkar wa en=kore yan.	宜しく(しっかりと) お守り下さいませ。
kamuy ponposta pirka tapkar teksama ta irammakaka	神の幼子良き舞の真近に宜しく(素晴らしく)

ci=oikus ku=ki hawe tapan na.	お送り致しまする。
nusa kor kamuy kamuy ekasi irammakaka kamuy imoka pirka imoka ci=oikus sir tapan na.	祭壇の神尊き神よ宜しく(素晴らしく) 神の土産良き土産を我ら供えまする。

4. ci-

他動詞に付く一人称複数の主格の人称接辞にはan=「聞き手を含む私たちが」とci=「聞き手を含まない私たちが」の二つがあることを第三期教科書のkampinuye 27「学習の要点1」並びにkampinuye 36「学習の要点3」で学びました。また、an=にはその他にもトゥイタツなどで一人称単数主格「語り手である私が」を指す用法、不定人称「一般的に人が(あるは受身)」を意味する用法などがあることをkampinuye 16「学習の要点2」で学びました。ci=にもこれに類する不定人称的用法があり、enci=やunci=のような一人称の受身を表す人称接辞などの要素として見出されるci-もその例のひとつです。enci=やunci=は、en=ci- (私を・誰かが)、un=ci- (私たちを・誰かが) に分析することが出来ます。

enci=omap kusu ene an iki ku=ki _hi ne nankor. orwano ikaoyki sisam or_ta enci=eiwanke. Nupurpet or wa unci=tak kusu suy...	私は可愛がられていたから、そのようにしていたのだろう。 それから医者である和人のところに雇われた。 登別から私たちは呼ばれたので、また...
tumi kes ta Upun ta toy tono or wa unci=kore.	戦争の後に雨紛の畑を道庁の役人から与えられた

また、kampinuye 51「今日の構文」で学ぶekarkar「(～し) て下さる、(～し) て差し上げる(し申し上げる)」の「～し」に当たる表現でも、不定人称のci-が用いられます。この「～し」に当たる表現の中心となる動詞が自動詞の場合には人称接辞を一切付けずに用いることが出来るのですが、他動詞の場合には原則としてこのci-を加えねばなりません。このci-は「一般に人が～するという動作」くらいの意味を他動詞に加えて、その他動詞をいわば名詞句化する働きを持つようです。

文化的背景

wakkauskamuy kamuy ekasi sinep koraci :

sinep koraciは文字通りには「一つのごとく」という意味です。けれども、次に挙げた祈りの言葉に見られるsinep koraciとその類似表現のsinep siri neは、それぞれ「良き舞を良き土産と共に・一緒に捧げる」、「神々が共に・一緒に馳せ参ずる」という意味で用いられます。従って、本文のwakkauskamuy kamy ekasi sinep koraciは「水の神と(奥山の) 神の翁が共に・一緒に」あるいは更に読み込んで「水の神と(奥山の) 神の翁が力を合わせて・協力して」と解釈することが出来ます。また、この句は類似表現を用いてwakkauskamuy kamy ekasi sinep siri neと表現することも出来るかもしれません。

nusa kor kamuy kamuy ekasi kor a sonko metot kor kamuy kamuy opoysam pirka tapkar pirka imoka ci=oikus tusukotni kamuy nusa ta_ apkas	祭壇の神 尊い神 が持ちたる知らせは 奥山の神 神の幼子に 良き舞 良き土産 を我ら持たせ 結び木の神が 祭壇を渡り	irammakaka tusukotni kamuy ci=oikus pirka tapkar sinep koraci ci=oikus sir tapan na.	素晴らしく 結び木の神に 我らそれらを捧げ 良き舞 (良き土産と) 一つのごとく 我ら捧げ まする。
a=nomi kamuy sinep siri ne tapan newsar ekoniwasnu wa ratci newsar	我ら祀る神 一つになりて これなる祭りの場 に馳せ参じて 厳かな祭り	ooma yakun kamuy or wano ramuye an=ekarkar nankor.	進められたなら 神に 褒め られん。

今日の単語

a ア【助動詞】(～し) た。(複rok) : wa an (～してしまっている)
=as アツ【人称接辞】[動詞+] (聞き手を含まない) 私たち (が～する)、一般に人 (が～する)、【物語の中でカムイである】私 (が～する)。(類ci=) : itak kur utar iki (korka inu kur somo iki) sekor an moymoykeitak okake us (話し手が何かする[が聞き手はしない]という動詞の後ろに付く)
ci- チ【動詞接頭辞】[他動詞+] 人が(～する) こと、誰かが(～する) こと。; enkarkarの目的語として用いられることが多い。; an=... hi (人が～すること)
epunkine エプンキネ【他動詞】～を守る、～を治める。; an=kasnukar (～を見守る)
irammakaka イラムマカカ【副詞】美しく、丁寧に、快く。; pirkano (良く)、siretokkornno (美しく)
sermakaki セレマカキ【他動詞】意味未詳。原典では、sermaka (～の背後)、ki (をする) で「背後を守る」と解釈。
tap タツ【副詞】かく、かように。(類tapne) : tanpe neno (このように)

kampinuye 51 (sinep ikasma asikne hot):カムイノミ(3)

カンピヌイエ シネファイカシマアシクネホツ

iresu huci イレスフチ	育みの媼よ	en=kore yan エンコレヤン	下され
e=kor_a sonko エコラソンコ	汝に託せし知らせは、	kamuy ekasi カムイエカシ	神の翁よ
wakkauskamuy ワッカウシカムイ	水の神と	irammakaka イランマカカ	しかと
kamuy ekasi カムイエカシ	神の翁、	ci-kaopaste チカオパシテ	我らをお助け下され
sinep koraci シネッコラチ	一つのごとく	tapan onkami タパノンカミ	かかる祈りを
irammakaka イランマカカ	しかと	ku=ki_hawe tapan na. クキアウェタパンナ	申し上げたるなり
c-iepunkine チエブンキネ	お守り下さり	iresu huci イレスフチ	育みの媼
tuyma ci=kus- トゥイマチクシ	遠く我ら通るべく	e=kor_a sonko エコラソンコ	汝に託せし知らせ
cipore yakka チポレヤッカ	舟を入れんとも	sonko teksam ソンコテッサム	その知らせの傍らに
yaytopeatte sakno ヤイトペアッテサクノ	波立てることなく無く	wakkauskamuy ka ワッカウシカムイカ	水の神にも
irammakaka イランマカカ	しかと	ku=onkami na. クオンカミナ	お祈り申し上げる
ci-epunkine チエブンキネ	お守り	eee....	エエエ…

学習の要点

1. tuyma ci=kuscipore

kampinuye 49「学習の要点4」では、**kuskurkacipore**を「**～が通る(ところ) 一帯に舟を入れる**」、「**～を舟に乗って通る**」程度の意味を持つ**一語の他動詞**として解釈する可能性について述べました。本課の本文にある**kuscipore**は、**それと同様な意味のkurkaを用いない(短めの) 形と解釈することが出来ます**。このような長い動詞を文語体で用いる際には、それに類似した別の形が近くで用いられることがあります。次の例では、ko-の付かない形が用いられた後にko-の付いた形が使われています。

ci-somokurkakoyaykatanu haw kor_wa_an sekor ぶしつけな言い方をしたなと(私は思い)
nep oyap_i=tuypa katu ne wa 誰か他人が私を切ったようで、
ne itak ne yakka ci-kosomokurkakoyaykatanu sekor yaynu=as kor その言葉も、ぶしつけだと私が思うと、

kuskurkaciporeの場合と同様に、kusは「～が～を通る」という意味の他動詞、cipは「舟」という意味の名詞、oは「～が～に入る」という意味の複他動詞、-reは使役「～させる」を意味する動詞接尾辞です。従って、**kusciporeは「～を通り(そこに) 舟を入れる」ぐらいの意味で解釈できます**。けれども、kuskurkaciporeでも述べたように、現段階では正確に理解することがやや難しい表現です。

2. yaytopeatte

この語も、現段階では解釈の難しい語の一つです。yay-はkampinuye 44「学習の要点3」で学んだ「自分」の意味の接頭辞、topeは「乳」を意味する名詞、atte「(煙や光をなど) を立ち上らせる」の意味の他動詞ですので、文字通りにこの語を解釈すれば「**自分の乳を立ち上らせる**」となります。また、次の引用した神への祈りの言葉の一節からも読み取れるように、アイヌ語・アイヌ文化の中では(川の)水がwakkauskamuy「水の神」のtope「乳」と理解されているようです。そこで、**本文のyaytopeatte saknoは「水の神が自分の乳(川の水)を大きく波立たせることなく」のように解釈されています**。

wakkauskamuy a=kor tope eciriri tope a=ne wa kusu utar_ turano ratci sukup	水の神 汝の乳 そこへ滴る乳 汝なるが故 皆共に 穏やかなる暮らし	sirutu siri pase itara onkami=an na. utar turano petaru so ka wa nep cep	恙無き様 丁重に お祈り申し上げます。 皆共に 船着場より いかなる魚	koyki ci=ki yakka apunnopopo un=eyam wa en=kore yan.	の獺 我らせんとも 無事 我らを守って 下され。
---	--	---	--	--	--------------------------------------

ここに引用した神への祈りは、教科書の本文で取り上げた祈りの言葉と同じく水の神に対して船による往来の安全祈願をするものです。

3. tapan

kampinuye 50「学習の要点2」で学んだように、tapはtanpe nono「このように」に対応する文語的・雅語的表現で、しばしば「かく、かように」と訳される語です。**これにan「ある」の付いた形がtapan「かくあり」で、口語訳すれば「このようにある」です。この表現は、(1) 名詞の前で用いられて「かかる」(口語で言えば「この(ような)」)のような意味の名詞修飾語として機能する用法と(2) 動詞句+siri/hawe/ruwe tapan (na)「～であります」という文語的・儀式的な言い回しを形成する用法があります**。本課の17～18行目に見つかる二つの出現例のうち、tapan onkami「かかる祈り」は(1)の用法を、ku=ki_hawe tapan na「致すのであります」は(2)の用法を例示しています。また、この(2)の用法はkampinuye 49の本文の最後の行でも用いられています。

4. teksam/teksamake

teksamの長い形がteksamaまたはteksamakeです。他の方言の中には、このような位置名詞の短形と長形の違いが普通の名詞の概念形(誰に属するかが定まらない形:e.g., tek「手」と所属形(誰に属するか定まっている形:e.g. teke「彼(女)(5)の手」)の違いに相当する場合もあるようですが、旭川方言の場合ではそのような区別が成立しているようには見えません。それら短形と長形の区別は、**アイヌ語の韻文(や散文)が基調とする韻律や音節数を実現するために駆使されているもののように見えます**。kampinuye 40「学習の要点4」、kampinuye 44「学習の要点3」、kampinuye 46「学習の要点3」で述べたように、**アイヌ語の韻文は一節5音節(ないし4音節)を基調とするため**、一節をteksamという語だけで埋める必要があるときにはteksamakeを用い、「～の側」となる際には～teksamのように短い形が用いられるといった使い分けがなされているのではないかと思います。

今日の構文

ci- 他動詞(句) + (en=/i=/eci=)ekarkar; 自動詞(句) + (en=/i=/eci=)ekarkar

kampinuye 42「学習の要点2」で触れたように、動詞句+ekarkarは神への祈りでは特に「神が人に(～し) て下さる・給う」、「人が神に(～し) 申し上げる・奉る」ことを表現するのに用いられるようです。そのようなekarkarは、本課の本文13行目や次の例文のようにkore yanになることもあるようです。

ci-epunkine ci-kaekosisma en=kore yan.見守ること、目を凝らすこと、して下され。

「～し」に当たる表現は基本的に名詞句でなければならないらしく、該当する表現で他動詞が用いられる場合はci-という人称接辞(kampinuye 50「学習の要点4」を参照) **を前に付けてこの他動詞を名詞化**(日本語の「(～する) こと」、韓国語の「(～ha) gi」、英語のing形などに相当する形に) **しなければなりません**。それに対して、自動詞はそのままの形で名詞として用いることが出来るため、自動詞にはci-を付けません(e.g., kamuy iso isooran an=en=ekarkar na神の恵みが降りること汝我になし給え)。

inaw (uk) kamuy tu pirka iso re pirka iso ci-koekasnukar an=en=_ekarkar na.	イナウ(御幣) 受くる神よ 二つの良き恵み 三つの良き恵み 授けること 汝が我になし給え。	kimerok kamuy pase haru hoski imek ci-koipuni eci=ekarkar=an na.	山にまします神 尊き山の幸 最初の取り分 我ら差出し 奉る。
---	---	--	--

ku=ye rok itak ci-kohosari an=en=_ekarkar na.	我申しける言葉 に振り向くこと 汝なし給え。	aynu hura sak kunine takusa ani kasi ci=kik eci=ekarkar=an na.	人の臭い をなくすため 清め草もて 祓い清め 申し上げます。
---	------------------------------	--	--

inaw opepe kamuy kamuy iso ci-koekasnukar an=en=_ekarkar na.	イナウ(御幣) を迎った神 神の恵み 恵むこと 汝我になし給え。		
---	---	--	--

(註：資料に関する限り、どういわけか「あなた」を意味する人称接辞としてe=でもes=でもなくeci=が用いられています。eci=は、旭川方言のes=に当たるものとして南西方言で用いられる人称接辞と同形です。

「神が人に(～し) て下さる・給う」の意味の 動詞句+ekarkarに類似した 動詞句+wa en=kore yan「～して下され」では、他動詞句が用いられてもci-は付きません。

pirkano an=kor kotan epunkine wa en=kore yan.	しっかりと 我らが村を 守って 下さいませ。	tapan imoka kamuy episte wa en=kore yan.	これなる土産 神に一つずつそろえて 下さいませ。
--	---------------------------------	--	--------------------------------

今日の単語

kaopaste カオパシテ【他動詞】**～を助ける**。：通常、kaopasが「～を助ける」の意であるため、kaopasteだと「～を助けさせる」の意味になってしまう。-teを使役の語尾としてでなく、-tekなどのほかの要素と見るべきか否かは未詳。
kuscipore クシチボレ【他動詞】**～を舟で通る**。：cip an=o wa an=kus (舟に乗って～を通る)
sakno サクノ【助詞】**[名詞・自動詞+] ～(すること) なく**。：sak「～を欠く」+no「副詞形成語尾」と分解されるが、名詞+saknoの形を一まとまりと考えれば、saknoを助詞と見ることも出来る。
yaytopeatte ヤイトペアッテ【自動詞】**波立たせる**。：文字通りには、yay-tope-atte(自分・の乳・を立ち上らせる)で、(川の)水がwakkauskamuy「水の神」のtope「乳」と理解されることから、原典ではこのように解釈しているが、意味は未詳。

kampinuye 52 (tup ikasma asikne hot):練習問題(9)

カンピヌイエ トゥッイカシマアシクネホッ

復習の要点

1. ～の前に、（～致し）まする、～し給え、～に託した、～の傍ら

1. ～の前に、（～致し）まする、～し給え、～に託した、～の傍ら

(1) 次のような場合に遭遇して、あなたはkamuyの力を借りたいと思ったとしましょう。それぞれ、どのkamuyにお祈りをすれば、一番力になってもらえるでしょうか。(49-文化)

「飛行機に乗って外国旅行へ出かける」、「友達が病気で入院した」、「明日の試合には何としても勝ちたい」、「明日から始まる学校祭を成功させたい」、「家族や友達と喧嘩した」、「新居に引っ越すことになった」、「両親と同居することになった」。

アベフチカムイ(apehucikamuy)、コタンコロカムイ(kotankorkamuy)、シランパカムイ(siranpakamuy)、ホロケウカムイ(horkewkamuy)、シトゥンベカムイ(situnpekamuy)、キムンカムイ(kimunkamuy)、イソアニカムイ(isoanikamuy)、クツコロカムイ(kutkorkamuy)、ヌサコロカムイ(nusakorkamuy)、チャクチャッカムイ(cakcakkamuy)、ウパシチロンヌブカムイ(upascironnupkamuy)、カッケウカムイ(katkewkamuy)、ワッカウシカムイ(wakkauskamuy)、チワシコロカムイ(ciwasicorkamuy)、アトゥイコロカムイ(atuykorkamuy)

(2) 時間と場所の制約から本格的なカムイノミ(kamuynomi)が行えないため、最も身近な火の神に頼んであなたの知らせ（願い）をそのkamuyに伝えてもらうことにしました。まずは、火の神に呼びかけて見ましょう。その場合、私たちの「生活を支えてくれている（私たちを育ててくれている）」ことを込めた呼称を冠することにししましょう。(49-文化)

(3) 知らせ（願い）の届け先の神よりも先に、（火の神に）挨拶申し上げることを伝えてください。(49-1)

(例) ...etok ta onkami=an（より前に挨拶する）、onkami=an sir(i) tapan na（挨拶致しまする）

(4) 「火の神に託した知らせ（願い）はこのようなこと」と言いましょう。(50-1)

(例) kor a sonko（の持った知らせ）、e=kor a sonko（汝が携えし知らせ）

(5) 「神の翁が見守ってくれること」、「しっかりと守ってくれること」、「助けてくれること」と表現してください。(50-4)

(例) epunkine, kopunkine, ekopunkine（～を守る）；kasnukar（～を見守る）；kasopas（～を助ける）；iramakaka, pirkano（しっかりと）

(6) 「～して下され」、「～し給え」と申し添えましょう。(51-構文)

(例) ...wa en=kore yan, i=ekarkar

(7) 知らせ（願い）をもう一度言って、「お聞きの通り、私はこのようにお祈り申し上げます」と付け加えましょう。(47-構文, 49-文化)

(例) tapan onkami ku=ki hawe tapan na（このような祈りを致しまする）

(8) 火の神の許に祈りを捧げたことを確認してください。最後に畏こまりの声と所作を加えましょう。(47-文化)

(例) ...teksam, ...teksama(ke)（～の傍らに）；eee...

2. 杯、捧酒箸、祈り言葉、御幣、幣場

(1) 今日は旭川で行事があり、その中でカムイノミ(kamuynomi)が執り行われます。その手伝いにやってきたあなたは、行事が始まる前に先ずciseで祈りを済ませて置くからと説明を受けました。この時、ciseではどのkamuyに祈りを捧げるのでしょうか。

(例) 上座の神、下座の神…

(2) tonotoはiomarekurが用意しているから、他を用意してくれと頼まれました。さて、あなたは何をどうしたら良いのでしょうか。

(例) tuki, ikupasuy...

(3) いよいよ、ciseの中で祈りが始まりました。iomarekurは、どの位置に座っている人からiomareを始めましたか。また、どちら側から注いでいますか。上座側ですか、下座側ですか。

(4) その人はiomareを受けるときに、どんな所作をしていますか。また、受け終わってiomarekurが次の人に移った後、どのような所作をしていますか。

(5) tukiとikupasuyを持った全ての人にiomareが済むと、祭司のonkami=an naという声と共に彼らはpasuyの先をtukiの中に浸けてはapeoyの上で軽く揺するという動作を繰り返しています。これは、何をしているのですか。

(6) 祭司がinonnoitakを言い終えた後、再度pasuyの先をtukiの中に浸けてはapeoyの上で軽く揺するという動作を繰り返し、今度はtukiの上にpasuyを横向きに置いて、数回tukiを持ち上げる仕草をした後、それを口へ運んで一口、二口飲みました。その後、彼らは飲み残しをどうしましたか。

(例) pakes（飲みさし）、kuta（空ける）

(7) 最後に、apeoyに差してあった小さめのinawを火に入れました。どうして、燃やしたのでしょうか。

(8) いよいよ行事が始まり、nusaのところでカムイノミを行う時間になりました。nusa sanには、七つのinawが並んでいます。祭壇の上手(nusa pa)と下手(nusa kes)は、それぞれ向かってどちらですか。

(9) 一番下手に背の低いinawが二本並んで立てられています。これは、どの神のinawでしょうか。

(10) nusaに向かって手前、上手側、下手側には大勢の人が立っていますが、nusa向こう側には人がいません。それは、何故ですか。

(11) 七人の人が一つのinawに一人ずつ付いて、いよいよカムイノミが始まりました。それぞれの人は、まずinawのkikeを束ねてあった木の皮の紐を解いてinawに結び付けました。inawのどこに結び付けましたか。

(12) それぞれの人は、どのようにしてtukiに入ったtonotoをinawに捧げていますか。

(13) 背の高い六つのinawは、それぞれどの神のinawか、確認して見ましょう。

(14) 七人の人は、inonnoitakを終えるとciseで見たのと同様な所作を経てtukiを口元へ運びました。pakesはどうしていますか。

（練習問題（9）は、川村兼一さんに監修頂いております）



Yukar (英雄の物語)

女装のポイヤウンペ (砂沢クラ・フチ)

Tomisanpeci	トミサンペツ	as kusu	建っていたので
トミサンペチ		アシクス	
Sinutapka ta	シヌタブカに、	rorunpuyar	上座の窓
シヌタツカタ		ロルンブヤラ	
yaykonisnu=an kor	私が独り暮らして	teksamake	の側に
ヤイコニシ (ヌ) アンコロ		テッサマケ	
okay_=as_awa	いると	an=kosirepa	行って
オカヤサワ		アンコシレパ	
sineanta	ある時、	rorunpuyar	上座の窓の
シネアンタ		ロルンブヤラ	
inu=an_hike	聞いたところ、	puyarorotpe	簾の
イヌアニケ		プヤラオロツペ	
tupesan kotan	八つの村が	sepka utur	編み糸の隙間
トゥペサンコタン		セッカウトウル	
unisuk wa	集まって、	an=kosismasanasan	に目を大きく見開いて
ウニスツワ		アンコシッササナサン	
i=kohopuni	私を襲う	inkar_=an_awa	見てみると
イコホブニ		インカラナワ	
etoko haw	準備をしているという話	rorun_so ka ta	上座に
エトコハウ		ロルインソカタ	
an sekor	があると	tupesan kotan	八つの村の
アンセコロ		トゥペサンコタン	
inu=an kusu	私は聞いたので、	utarpa patek	旦那衆ばかりが
イヌアックス		ウタヲパパテッ	
taporowano	それから、	utaperari	肩を並べ
タポロワノ		ウタペラリ	
homar	微かな	iku haw ene okay_hi	酒を飲んで言うには
ホマヲ		イクハウエネオカイ	
kamuymaw sirka	神の風の上に	nisatta anakne	明日は
カムイマウシリカ		ニサッタアナッネ	
an=mawnoyere	私の風を絡ませ	u tanpe neno	このように
アンマウノイエレ		ウタンペネノ	
enontasino	どこかへ	u Poyyaunpe	ポイヤウンペを
エノンタシノ		ウボイヤウンペ	
tu atuy oika	二つ海を越え	an=_tuypa kuni	私たちが斬ってやると
トゥアトウイオイカ		アトウイバクニ	
re atuy oika	三つ海を越え	u tekturi	手を伸ばしたり
レアトウイオイカ		ウテクトゥリ	
an=_ehopuni	私は飛んで行った	u tekyoni kor	曲げたりして
アネホブニ		ウテッコニコロ	
iki=an_awa	そうしたところ	ikupa kane	大勢で酒を飲んで
イキアナワ		イクパカネ	
u poro kotantay	大きい村の立ち並ぶところ	okay kor	いた
ウポロコタンタイ		オカイコロ	
an=_yaysirepare	に私は着いて	orowano	それから、
アイヤイシレパレ		オロワノ	
inkar_=an_awa	見てみると、	peker_rera ne	澄んだ風になり
インカラナワ		ペケンレラネ	
kotan noski ta	村の真ん中に	cise onnay	家の中に
コタンノシキタ		チセオンナイ	
u poro cise	大きな家が	ahun wa	入って
ウポロチセ		アフンワ	

an=mawnoyere	私の風を絡ませ	pakese	飲みさしを
アンマウノイエレ		パケセ	
mosem sikkew ta	玄関口の隅に	i=kotarara	私に差し出して
モセムシッケウタ		イコタララ	
okay_=as ki kor	私がいまずと	an=nuyna ayne	私はそれを隠して
オカヤシキコロ		アンヌイナアイネ	
Cupkaunmat	チュプカの婦人が	an=_okutekari	逆さにして空け
チュプカウンマツ		アノクテカリ	
inutua	そろりと	tuki sempiri	杯の陰に
イヌトゥア		トゥキセムピリ	
kane kuntari	金の酒汲みを	an=_nanomare	顔を隠して、
カネクンタリ		アナノマレ	
etekomare	手にして	tuki an=rura kor	杯を運びながら
エテコマレ		トゥキアンルラコロ	
ahun kusu	入って来たので	iki=an_ayne	そうしていると
アフンクス		イキアナイネ	
rekut tuypoki	首を	iyoski_wa_an pe	彼らは酔っ払っているもの
レクットウイポキ		イヨシキ (ワ) アンペ	
an=_tametuye	切って殺した	u ne kusu	だから
アナメトウイエ		ウネクス	
mutpe opitta	佩く物全てを	rumse...rimse yupke	踊りが激しい
ムツペオピッタ		ルムセ…リムセユッケ	
an=mut_hine	身に付けて	u_wa_an kusu	ので
アンムチネ		ウ (ワ) アンクス	
kane paykasa	金の笠	iopok_=an	私は仲間に入り
カネパイカサ		イオポカン	
an=mut_emusi	私の帯刀	rimse=an kor	踊ると
アンムテムシ		リムセアンコロ	
opitta	全てを	utarpa utar	旦那衆は
オピッタ		ウタヲパウタヲ	
an=honturasire	懐に入れて	u kiroroan wa	喜んで
アンホントウラシレ		ウキロロアンワ	
kane kuntari	金の酒汲みの	"Cupkaunmat	「チュプカの婦人は
カネクンタリ		チュプカウンマツ	
sempirkehe	陰	ramuriten siri	喜んでいるようですね、
セムピリケヘ		ラムリテンシリ	
an=_nanomare	に顔を隠し	nisatta anakne	明日は
アナノマレ		ニサッタアナッネ	
ahup_=an ki kor	入って行くと	u Poyyaunpe	ポイヤウンペを
アフバンキコロ		ウボイヤウンペ	
utarpa utar	旦那衆は	an=_tuypa	斬る
ウタヲパウタヲ		アトウイバ	
u kiroroan wa	喜んで、	easkay kotom	ことができ
ウキロロアンワ		エアシカイコトム	
"Cupkaunmat	「チュプカの婦人	u sirki na"	そうだぞ」
チュプカウンマツ		ウシリキナ	
isoneka	ようこそ	sekor	と
イーソネカ		セコロ	
i=koniwasnu	私たちのところに馳せ参じ	hawokaypa kor	口々に言うと、
イコニワシヌ		ハウオカイパコロ	
i=ekarkar siri"	られましたな」	Atuyyaunmat	アトウイヤの女性の
イエカヲカラシリ		アトウイヤウンマツ	
sekor itak kor	と言いながら	tusu repni	トゥス (巫術) に用いる棒が
セコロイタツコロ		トゥスレフニ	

cisanasanke チサナサンケ	取り出され	i=nukar ki p イヌカラキッ	私を見たが	tu yupke tamkur トゥユッケタムクル	二太刀	cise onnay ta チセオンナイタ	家の中に
tusu kusu トゥスクス	彼女が巫術を行ったので	sikeranaatte シケラナアッテ	目を伏せた。	re yupke tamkur レユッケタムクル	三太刀	siknu kur シクヌクル	生きている人は
ene itak_hi エネイタキ	こう言った。	irukay kor イルカイコロ	しばらくして	an=_eterkerepa kor アネテレケレパコロ	私がお見舞いすると、	sinen ka isam シネンカイサム	一人もいなかった。
"u tan ikuso ウタンイクソ	「この酒宴の席の	inkar_=an_awa インカラナワ	私が見てみると	cise onnay ta チセオンナイタ	家の中で	iki kor イキコロ	そうして
noski wa ノシキワ	中から	an=penram ka ta アンペンラムカタ	私の胸の上で	kira poka キラポカ	逃げることも	orowano homar オロワノホマラ	それから、微かな
u tan cise ウタンチセ	この家	an=_mut_emusi アンムテムシ	私の帯刀、	hopuni poka ホブニポカ	跳ぶことも	kamuy maw sirka カムイマウシリカ	神の風の上に
or_ta okay pe オッタオカイペ	にいる者は	kane paykasa カネパイカサ	金の笠が	koniwkes tek no コニウゲシテッノ	できなくなって、	an=mawnoyere アンマウノイエレ	私の風を絡ませて
sinen ka... シネンカ	一人も…	u masatara ウマサタラ	ピカピカ光り	rikun suy リクンスイ	天窓	yayunmosir ヤユンモシリ	祖国ヤウンモシリ
onunposo オヌンポソ	生き残ることが	an=mi kosonte アンミコンソnte	私が着ていた上等の着物を	yaypekare ヤイペカレ	を伝うのを	an=kohosipi アンコホシピ	に私は帰って、
easkay pe エアッカイ ペ	できる者は	an=_emakaraye アナマカライエ	脱ぎ捨て	an=tameranke アンタメランケ	私が斬り落とし	ramma neno ランマネノ	いつものように
sinen ka isam" シネンカイサム	一人もいない」	an=mut_emusi アンムテムシ	私の帯刀を	iki ayne イキアイネ	そうしているうちに、	Tomisanpeci トミサンペチ	トミサンベツ
sekor tusu kor セコロトゥスコロ	と予言すると、	an=kutpokeciwre アンクッポケチウレ	帯の下に差して、	tupesan kotan_un kur トゥペサンコタ(ヌ)ンクル	八つの村の人	sinutapka ta シヌタッカタ	シヌタブカに
utarpa utar ウタヲパウタヲ	旦那衆が	kane paykasa カネパイカサ	金の兜の	opittano オピッタノ	全員を	yaykonisnu=an kor ヤイコニシヌアンコロ	独り暮らしで
ene okay_hi エネオカイ	言うには	ranpeci ランペチ	紐を	an=tametuye iki アンタメトゥイエイキ	私は刀で斬り、	okay_=as ki na オカヤシキナ	いるのだぞ。
"nekon ne kusu ネコンネクス	「どうして	an=notkoyupu アンノッコユブ	あごに結び	inkar=an_awa インカラナワ	見てみると、		
ene an エネアン	あんな	Ponmosirunkur ポンモシルンクル	ポンモシリ人、				
sine aynu シネアイヌ	人間一人を	sake sanke kur サケサンケクル	酒宴の主人				
an=tuypa koyaykus アントゥイパコヤイクシ	私たちが斬れないことが	kor sintoko コロシントコ	の酒樽を				
somo tapan na ソモタパンナ	あろうか」	an=_erikipuni アネリキブニ	私は持ち上げ				
sekor itakpa kor セコロイタクパコロ	と口々に言って、	an=_okutepare アノクテバレ	逆さにして空け、				
uminare ウミナレ	大笑いした。	oha sintoko オハシントコ	その空になった樽(で)				
orowano suy オロワノスイ	それから、また	cise kor nispa チセコロニシパ	家の主人				
rimse=an_ayne リムセアナイネ	私が踊ると	an=toytukan wa アントイトゥカンワ	を私は酷く痛めつけ、				
monekuskonno モネクシコンノ	突然、	inotuorke イノトゥオロケ	その靈魂が				
cise onnay チセオンナイ	家の中が	oman konna オマンコンナ	去り行く音が				
u raykosanpa ウライコサンパ	シンと静まりかえり、	koturimimse コトゥリミムセ	響き渡って、				
umoneotke ウモネオツケ	彼らはお互いに肘でつついて	orowano オロワノ	それから				



ukoitak 7 (会話 7)

(生活館にて)

A: tanto usaanpe an=eyaypakasnu wa es=erampetek
pe an ya? an yakne es=en=kopisi nankor.

タント ウサアンベアネヤイパカシヌワ エセラムベテッペ アンヤ
アンヤクネ エセンコビシナンコロ

B: isam.

イサム

A: hawe ne ciki pakno.

ハウエネチキ パッノ

C: tanto aynu itak poronno ku=eyaypakasnu easkay
ruwe ne wa. sonno iyayraykere.

タント アイヌイタク ポロンノ クエヤイパカシヌ エアッカイ
ルウエネワ ソンノ イヤイライケレ

D: isoneka, usaanpe e=eraman. Satporo un STV or wa
e=ek hawe? tuymano wa no e=ek korka e=epirka na.

イーソネカ ウサアンベ エエラマン サッポロウンエスティブイオロワ
エエッハウエトゥイマノワノ エエッコロカ エエピリカナ

E: tanto isoneka es=arki. suy arki wa i=korpore yan.

タント イーソネカ エサヲキ スイ アヲキワ イコロバレヤン

C: iyayraykere. sunke sak no suy ku=ek wa.

イヤイライケレ スンケサッノ スイ クエッナ

D: pirkano mokor yan.

ピリカノモコラン

C: pirkano mokor yan.

ピリカノモコラン

E: pirkano yaysinire yan. suy unukar=an rok.

ピリカノヤイシニレヤン スイウヌカラアンローク

今日学んだことで、他に何か質問ありますか。
あったら訊いてください。

ありません。

それでは、これで終わりです。

今日は、アイヌ語を一杯学べました。ありがとうございました。
ました。

いろいろ勉強になってよかった。札幌のSTVから来たんでし
ょう。遠くからよく来たけど、よかったね。

今日はよく来てくれましたね。是非、また来てくださいね。

ありがとうございます。必ず、また来ますね。

おやすみなさい。

おやすみなさい。

おやすみなさい。また、会いましょう。



Uerankarap (会見の言葉)

北風磯吉エカシとの会見 (石山アツミヤシクル・エカシ)

irankarapte	ご挨拶申し上げます	tono irenka	和人の法律
イランカラッテ		トノイレンカ	
ku=kor utarpa	親愛なるお方	u tanpe tapne	これ、このように
クコロウタㇿパ		ウタンペタツネ	
e=koteksam ta	あなたの傍らで	okanpa kusu	やかましいため
エコテッサムタ		オカンパクス	
sukup okkayo	暮らす男が	i=uteksam ta	お互いのすぐ側に
スクウオッカヨ		イウテッサムタ	
an=_ne wa ne ciki	私なれば	okay=an_yakka	私達は暮らしながらも
アネワネチキ		オカヤナツカ	
tane an tono	今いる和人達	unukar poka	会うことすら
タネアントノ		ウヌカラㇿポカ	
tane an oyapmosir	今ある余所者の国が	hayta p {haytakuey}	十分ではありませんでしたが
タネアンオヤッモシリ		ハイタㇿ	
an=_kor_rok kotan	私達のものなりし村	u tanto or_ta	今日という日に
アコンロツコタン		ウタントオッタ	
soyokatciwe	を締め出し	unukar=an	お目に掛かりました
ソヨカッチウェ		ウヌカラン	
teeta wano	昔より	uerankarap ku=ki_haw tapan	そこで私は会見の挨拶を申し上げます
テエタワノ		ウエランカラツクキアウタパン	
an=_nomi kamuy	私達が拝みし神を	ku=kor_utarpa	親愛なるお方
アノミカムイ		クコルタㇿパ	
ekas_orrowano	父祖の頃より	u isoneka	ようこそ
エカソロワノ		ウイーソネカ	
an=_nomi kuni	私達が拝むべく	ukotektumam	互いに手を取り合い
アノミクニ		ウコテクトゥマム	
inawka...	御幣を(私たちは作る…)	u ratcitara	穏やかに
イナウカ…		ウラッチタラ	
kamuy okay wa	神々がおられた	i=koteksam ta	私共の許で
カムイオカイワ		イコテッサムタ	
siran korka	ようなのですが	sukup_=an_hi	私達が共に暮らすのを
シランコロカ		スクパニ	
oyap ne manu p	余所者というものが	ku=nukar_hike	私は見て
オヤッネマヌㇿ		クヌカリケ	
(i=yosen..) i=ohupneka (i=ohupneska)	私達を狭め	hapap sekor	有り難うと
(イヨセン…) イオフッネカ		ハパㇿセコロ	
an=_kor_rok kotan	私達のものなりし村が	ku=ye a (p) kor	言いながら
アコンロツコタン		クイエアㇿコロ	
i=uteksam	お互いのすぐ側	ukoonkami=an na	互いに挨拶致します
イウテッサム		ウコオンカミアンナ	
an=_ekarkar wa	に作られて	ku=kor utarpa	親愛なるお方
アネカㇿカラㇿワ		クコロウタㇿパ	
siran ki, i=koteksam ta	いたようで、私共の傍らでは	eee....	エエエ…
シランキイコテッサムタ			



Kamuynomi (祈りの言葉)

火の神・水の神への安全祈願 (石山アツミヤシクル・エカシ)

iresu huci	育みの媼、	kamuy ekasi	神の翁に
イレスフチ		カムイエカシ	
apehucikamuy	火の媼神へ、	etok_ta_onkami=an na.	先んじてお祈り申す
アペフチカムイ		エトットンカミアンナ	

wakkauskamuy	水の神、	en=_okiru	下さり
ワッカウシカムイ		エノキルウェ	
iresu huci	育みの媼と	tanpe tapne	かく、かように
イレスフチ		タンペタツネ	
oyuknokamuy {uyepnukamuy}	奥山の神、	iresu huci	育みの媼よ
オユクノカムイ {ウイエツヌカムイ}		イレスフチ	
kamuy ekasi	神の翁が	e=kor_a sonko	汝に託せし知らせは、
カムイエカシ		エコラソンコ	
sinep koraci	一つのごとく	wakkauskamuy	水の神と
シネㇿコラチ		ワッカウシカムイ	
ekasi sermake	父祖の後ろ、	kamuy ekasi	神の翁、
エカシセレマケ		カムイエカシ	
utar_sermake	一族の後ろ	sinep koraci	一つのごとく
ウタツセレマケ		シネㇿコラチ	
ekopunkine	を守り	irammakaka	しかと
エコブンキネ		イランマカカ	
teksamake	そのすぐ傍ら	ci-epunkine	お守り
テッサマケ		チエブンキネ	
tuyma ci=kus...	を我らは遥か行き来する	tuyma ci=kus-	遠く我ら通るべく
トウイマチクシ…		トウイマチクシ	
ci=kuskurka-	往来の道すがら	cipore yakka	舟を入れんとも
チクシクルカ		チボレヤツカ	
cipore wa apkas_=as	舟を入れ、ここかしこを廻る	yaytopeatte sakno	波立てることなく無く
チボレワアツカサㇿ		ヤイトペアツテサㇿノ	
siri tapan na.	なり	irammakaka	しかと
シリタパンナ		イランマカカ	
iresu huci	育みの媼	ci-epunkine	お守り
イレスフチ		チエブンキネ	
kor_a sonko	の伝える知らせ	en=kore yan	下され
コラソンコ		エンコレヤン	
sonko teksam	知らせの傍らに	kamuy ekasi	神の翁よ
ソンコテッサム		カムイエカシ	
wakkauskamuy	水の神と	irammakaka	しかと
ワッカウシカムイ		イランマカカ	
kamuy ekasi	神の翁、	ci-kaopaste	我らをお助け下され
カムイエカシ		チカオバㇿテ	
oyuknokamuy {uyepnukamuy}	奥山の神が	tapan_onkami	かかる祈りを
オユクノカムイ {ウイエツヌカムイ}		タパンノカミ	
tap_anunke_ne	かくよそへと	ku=ki_hawe tapan na.	申し上げたるなり
タバヌンケネ		クキアウェタパンナ	
apkas_=as_yakka	我ら往来せんとも	iresu huci	育みの媼
アツカサーサツカ		イレスフチ	
irammakaka	しかと	e=kor_a sonko	汝に託せし知らせ
イランマカカ		エコラソンコ	
sermakaki	お守り	sonko teksam	その知らせの傍らに
セレマカキ		ソンコテッサム	
apkas kurka	往来の道すがら	wakkauskamuy ka	水の神にも
アツカシクルカ		ワッカウシカムイカ	
ci-epunkine	お守り	ku=onkami na.	お祈り申し上げる
チエブンキネ		クオンカミナ	
irammakaka	しかと	eee....	エエエ…
イランマカカ			

*語形・語義未詳の表現は赤で表示されています。



単語表

a¹ア【自動詞】**座る**。(反*as*; 複*rok*) ; an=osoro　sirka　ne an=ranke (尻を地面に下ろす)

a²ア【助動詞】(**〜し**)**た**。(複*rok*) : wa an (〜してしまっている)

acapoアチャボ【名詞】**おじさん**。 ; an=onaha yupi ne yakka aki ne yakka (父の兄または弟)

ahaアハ【名詞】**ヤブマメ**。

ahunkeアフンケ【他動詞】**〜を入れる、〜を招き入れる**。(自*ahun* 複*ahup*) ; oske ne an=ama (中に置く)、an=unapte (〜を招き入れる)

ahupアフパ【自動詞】**入る**。(反*asin*; 他*ahunke*; 自*ahun*) ; oske ne paye=an (中に行く)

ahupteアフプテ【他動詞】**〜を招き入れる**。

aikeアイケ【接続助詞】(**〜した**) **ところ** : awa (〜したところ)

ak アッ【名詞】**弟**。

aki アキ【名詞】**〜の弟**。 : pon irwaki (〜の年下の兄弟)

akkari アッカリ【他動詞】**〜を越える**。【助詞】(比較の基準を示して) **〜より**。 : oika (〜を越す)

ama　アマ【他動詞】**〜を置く、〜を残す、取っておく**。(類*anu*) ; an=anu (〜を置く、〜を残す)

amam アマム【名詞】**米、穀物**。 : toyta=an wa an=kar ipe (耕して収穫される食べ物)。

amamecikap アマメチカッ【名詞】**雀(すずめ)**。

amkirkur アムキツル【名詞】**知り合い**。 : an=eraman kur (知っている人)

an アン【自動詞】**ある、いる、暮らす、あらわれる**。(反*isam*; 複*okay*) : katu kor, tum kor (姿がを持つ、体を持つ)

an= アン【人称接辞】[+動詞] (聞き手を含む) 私たち (が〜する)、一般に人 (が〜する)、[受身を形成して] (〜さ) れる、**【物語の中で】私 (が〜する)**。(類*an=*) : [+名詞] (聞き手を含む) 私たち (の〜)、**【物語の中で】私 (の〜)**。 : itak kur utar iki sekar an moymoykeitak etoko us (話し手が何かするという動詞の前に付く)

=an アン【人称接辞】[動詞+] (聞き手を含む) 私たち (が〜する)、一般に人 (が〜する)、**【物語の中で】私 (が〜する)**。(類*=an*) : itak kur iki sekar an moymoykeitak okake us (話し手が何かするという動詞の後ろに付く)

anak アナッ【助詞】**〜は**。

anakne アナッネ【副詞】(話題・対照となる要素を取り立てて) **〜は**。 : sine itak an=numke hi ta nean itak osi ek itak (一言選び出すときその後に来る言葉)

anenuyep アネヌイエッ【名詞】**鉛筆**。

anep アンエッ【名詞】**食べ物**。

ani アニ【他動詞】**〜を手に持つ、〜を掴む**。(複*anpa*) ; an=teke an=omare (手の中に入れる)

anmip アンミッ【名詞】**着物、衣類**。

anu　アヌ【他動詞】**〜を置く、〜を残す、取っておく**。(類*ama*) : an=ama (〜を置く、〜を残す)

apa アパ【名詞】**玄関**。 : kari cise an=koahun hi (家に入るところ)

apaorotpe アパオロッパ【名詞】(**玄関の**) **簾(すだれ)**。 : apa or ta an=otte citarpe (玄関にかけた莫蔭)

apehucikamuy　アペフチカムイ【名詞】**火の神**。 : ape　kor kamuy, iresu huci (火を治める、育ての神)

apeoy アペオイ【名詞】**囲炉裏**。 : cise oske ta an hi, or ta apeare=an hi (家の中にあるところ、火を焚くところ)

apkas アッカッ【自動詞】**歩く**。【動詞句+wa apkasの形で】**〜して廻る、〜してあるく**。 : huyuppa=an ka somo ki no paye=an (走らずに行く)

arka アラカ【自動詞】**病気になる**。 : 【名詞】**病気**。

arkare　アラカレ【他動詞】**〜を病気にする**。(自*arka*、　*siyeye*) : an=siyeyere (病気にならせる)

arki　アラキ【自動詞】[複数の人・物が] **来る**。(複*ek*) : or ta itak kur newa inu kur okay hi kohanke (話し手と聞き手のいるところへ近づく)

arpa¹ アラパ【自動詞】(**沙流・鶴川・千歳方言**) (単数の人・ものが)**行く**。旭川方言ではoman。(複*paye*) : (Sar un kur Sikot un kur iporse) oman

arpa² アラパ【名詞】**半年**。 : sine pa arke (一年の半分)

arwan アラワン【形容詞】**七つの**。

arwaniw アラフニウ【名詞】**七人**。

arwanpe アラワンペ【名詞】**七つ**。

as アッ【自動詞】**立つ**、[雨・雪] が降る、[風] が吹く、[噂] となる、**【文sekor/kotom+haw　asの形で】〜と言う、〜という話である**。(反*a*; 複*roski*) : rikin (高くなる)、an (現れる)

=as　アッ【人称接辞】[動詞+] (聞き手を含まない) 私たち (が〜する)、一般に人 (が〜する)、**【物語の中でカムイである】私 (が〜する)**。(類*ci=*) : itak kur utar iki (korka inu kur somo iki) sekar an moymoykeitak okake us (話し手が何かする[が聞き手はしない]という動詞の後ろに付く)

asankar, Asankar　アサンカラ【地名】**旭川**。 : Cikapuni (旭川)、peniunkur kotan (川上の人々の町・村)

asikne アシクネ【形容詞】**五つの**。

asiknen アシクネン【名詞】**五人**。

asiknep アシクネッ【名詞】**五つ**。

asin アシン【自動詞】**出る**。(反*ahun*; 複*asip*) : soyke ne paye=an (外に行く)

asinke アシンケ【他動詞】**〜を出す**。

asinpe アシンペ【名詞】**償い(の品)**。

asir アシリ【自動詞】**新しい、新しくなる**。(反*husko*) : somo husko (古くない)

asircepnomi アシリチェノミ【名詞】**新魚の儀**。

asirpanomi アシリパノミ【名詞】**新年の儀**。

asur アスル【名詞】**噂、評判、知らせ**。 : iweyyekar (人の悪口を言う言葉)、iotuwasi (人を褒める言葉)、sonko (知らせ)。

ataye アタイエ【名詞】**値段、税**。 : nep ka an=hok kusu an=kore icen (何かを買うのに払うお金)

atuy アトウイ【名詞】**海**。 : repun mosir ekota paye=an kusu an=kus poro wakka, sippo oma ene an poro wakka. (外国へ行くために通る大きな水、塩の入ったそのような大きな水)、or wano pet yan sippo o poro wakka (そこから川が陸にはいる塩の入った大きな水)

atuykorkamuy アトウイコロカムイ【名詞】**海の神**。

atuyta アトウイタ【名詞】**百**。 : wan wan (10個の十)

atuyyaunmat, Atuyyaununmat　アトウイヤウンマッ【名詞】**アトウイヤの婦人**。 : Atuyya sekar rean hi un mat (アトウイヤという名の地出身の婦人)

awa アワ【接続助詞】[文・動詞+] (**〜する**) **と**。 : kor (〜すると)

awtan アウタン【形容詞】**となりの**。 : i=sam ta an (そばにある・いる)

ayapo アヤボ【間投詞】**あら、あれ**。 : ramutuy=an hi ta an=ye itak (驚いたときに言う言葉)

ayne アイネ【接続助詞】(**〜し**) **たあげく、(〜し) て、(〜し) たところ**。 : awa (〜して)

aynu アイヌ【名詞】(kamuy「神」に対して) **人間**、(mat「女」に対して) **男**、(sisam「和人」に対して) **アイヌ人**。 : kamuy ka kamias ka somo ne utari (神でも化け物でもない者たち)

aynuitak アイヌイタッ【名詞】**アイヌ語**。 : an=kor　itak (私たちの話す言葉)

cakcakkamuy　チャクチャクカムイ【名詞】**幸せを教え導く神、幸運の神**、ミノサザイ神。

casi　チャシ【名詞】**砦。伝説の主人公の住みか、館**。 : or　ta kamuy ne an kur an hi (神なる人の住むところ)

cep チェッ【名詞】**魚**。

ci-　チ【動詞接頭辞】[他動詞+] **人が(〜する)こと、誰かが(〜する)こと**。 : enkarkarの目的語として用いられることが多い。 : an=... hi (人が〜すること)

ci=　チ【人称接辞】[+動詞] (聞き手を含まない) 私たち (が〜する)、一般に人 (が〜する)、**【物語の中でカムイである】私 (が〜する)**。(類*=as*) : itak kur utar iki (kor ka inu kur somo iki) sekar an moymoykeitak etoko us (話し手が何かする[が聞き手はしない]という動詞の前に付く)

cihoki チホキ【名詞】**品物**。 : an=eiyok pe, an=hok pe (売るもの、買うもの)

cihotappare　チホタツパレ【自動詞】**暴れる、のたうち回る**。 : an=arka wa moymoyke=an (体が痛くて動き回る)

cikapuni, Cikapuni　チカプニ【場所名詞】**近文、旭川**。(類*Asankar*) :

Iskarpet turas oman=an kor kamuy kotan yak an=ye hi an wa ne peni ta an kotan, tane Asankar sekar an re an=kore wa an (石狩川を遡っていくとカムイコタンというところがあって、その川上にある村)。

cikapチカッ【名詞】**鳥**。 : sirka kaske hoyupu easkay cikoykip (地面より上を飛べる動物)

ciki　チキ【接続助詞】[文+] (**〜する**) **なら** : [+命令文] (**〜する**) **から**。 : [iki +] iki=an hi ta (〜する時に)、iki=an yak (〜したら)

cikir　チキリ【名詞】**足(脚)**。

cikoykip　チコイキッ【名詞】**獲物、動物**。 : an=koyki　p (我々狩るもの)

cinita チニタ【自動詞】**夢で見る**。

cinitare　チニタレ【他動詞】[sekor+] **〜に(〜と) 夢を見させる、〜に(〜と) 夢で知らせる**。(自*cinita*) : cinita　oske　ta an=eramante (夢の中で知らせる)

cinomisirkamuynomi　チノミシカムイノミ【名詞】**チノミシリの儀**。

cip　チッ【名詞】**舟**。 : wakka ka peka paye=an hi ta an=o p (水上を行くとき乗るもの)

cis　チッ【自動詞】**泣く**。

cisanasanke　チサナサンケ【自動詞】**〜が取り出される**。 : an=sanasanke (取り出される)

cise チセ【名詞】**家**。 : an=uni (棲みか)

citatap　チタタッ【名詞】(cf. huipe)

ciwasikorkamuy　チワシコロカムイ【名詞】**渚の神**。

corpok　チョポク【位置名詞】(**〜の**) **下**。 : pokna　an hi (下の場所)

cuk　チュク【名詞】**秋**。 : sak mata uturuke (夏と冬の間)

cup　チュッ【名詞】**太陽**(=peker cup)、**月**(=kunne cup)、(**暦の**) **月**。 : inomí cup 1月、taskur cup 2月、toetanne (cup) 3月、upas rure cup 4月、mun tukka cup 5月、toyta cup 6月、kunne yas cup 7月、kunne susi cup 8月、yas cup 9月、konni ran cup 10月、nitek ranke cup 11月、upas ranke cup 12月。 :

cupkaunmat, Cupkaunmat　チュッカウンマッ【名詞】**チュプカの婦人**。 : Chupka sekar rean hi un mat (チュプカという名の地出身の婦人)

e¹　エ【他動詞】**〜を食べる**。(自*ipe*) : an=paroho an=o wa an=kuykuy, an=ruki (口の中に入れて嚥んだり、飲み込んだりする)

e²　エ【間投詞】**はい、そうです**。 : ese=an hi ta an=ye itak (承諾する時に言う言葉)

e=　エ【他動詞】[+動詞] **お前(が〜する)**、[+名詞] **お前(の〜)**。 : inu kur iki, inu kur ekota iki=an sekar an moymoykeitak etoko　us (聞き手が何かする、聞き手に対して何かがされるという動詞の前に付く)

eani エアニ【代名詞】**お前、君**。

easkay エアシカイ【他動詞】**〜が上手だ、〜が出来る**。(反*eaykap*; 自*askay*) : 【助動詞】(**〜する**) **ことが出来る**。(反*eaykap*) : pirkano an=ki (上手にやる) ene an=kar hi an (方法がある)

eaykap エアイカッ【他動詞】**〜が下手だ、〜が出来ない**。(反*easkay*; 自*askay*) : 【助動詞】(**〜する**) **ことが出来ない**。(反*easkay*) : wenno an=ki (下手にやる) ene an=kar hi isam (方法がない)

ecikki エチッキ【副詞】[+文] (**〜する**) **な**。 : [ecikki　文no　文の形で] (**〜せ) ずに〜 (しなさい)**。 : [iki +] somo iki na (〜するな)

eee...　エエエ...【間投詞】**「謹んで奏上します」程度の意味か**。 : yaykatunu=an kor itak=an haw tapan na (謹んで申し上げます)

eha エハ【名詞】**ヤブマメ**。

ehewpa エヘウパ【自動詞】**覗く**。 : nep ka oske ne inkar=an (中を見る)

ehopuni エホプニ【他動詞】**〜へ飛んで行く**。(類*kohopuni*) : ekota hopuni=an kor paye=an (〜へ飛んで行く)

ehumkekar エフムケカラ【他動詞】[+二重目的語] **〜を〜に言い聞かせる**。 : an=epakasnu (〜に〜を教える)

eikos エイコッ【副詞】**あまりに〜**。

eiyok エイヨク【他動詞】**〜を売る**。

ek　エッ【自動詞】**来る**。話し手と聞き手のいる場所に近づく移動をする。(複*arki*) : or ta itak kur newa inu kur okay hi kohanke (話し手と聞き手のいるところへ近づく)

ekarkar エカラカラ【他動詞】[自動詞・ci-他動詞+ekarkarの形で]**〜に〜をし給う、〜に〜をし奉る**。 : an=ki　wa　an=kore (〜してくれる・あげる)

ekasi　エカシ【名詞】**おじいさん、おじいちゃん**。 : rupne　kur, caca (年寄り、じいさん)、an=ona ona (父の父)、an=unu ona (母の父)

ekasorowano エカソロワノ【副詞】**父祖の頃より**。 : teeta wano (昔から)

ekatci エカツチ【名詞】**子供**。ekaciとも言う。 : po (子供)

ekohawesak　エコハウェサッ【他動詞】**〜に対して何も言わない、〜に負けない**。

ekopunkine エコプンキネ【他動詞】**〜を守る**。(類*epunkine, kopunkine*) : an=epunkine (〜を見守る)

ekota エコタ【副詞・助詞】**そこへ、〜へ**。 : an=kosikiru kor (そこに向かいながら)

ekupa エクパ【他動詞】**〜をくわえる**。 : an=kuykuy (〜に噛み付く)

ekusun エクスン【名詞】**南**。 : or ta peker cuk iyotta rikin hi (太陽が最も高くなるところ)

ekutkor エクツコロ【他動詞】**〜を腰に締める**。

emakaraye　エマカライエ【他動詞】**〜をばっと脱ぐ**。 : an=mipi an=maka wa an=osura (服を開いて捨てる)

emakas　エマカッ【名詞】**北**。 : ekusun　assoke (南の向かい側)、or ta poronociw an hi (北極星のあるところ)

emus, emusi エムシ　エムシ【名詞】**刀**。 : an=etuye p, tanne p (切るもの、長いもの)

emuskanuye　エムシカヌイエ【自動詞】**刀の鞘の模様を彫る**。 : sirka an=nuye (刀の鞘を彫る)

en=　エン【人称接辞】[+動詞] **私(を〜する)**、**私(に〜する)**。 : itak kur ekota iki=an sekar an moymoykeitak etoko us (話し手に対して何かがされるという動詞の前に付く) : [+位置名詞] 私の。

ene¹　エネ【副詞】**こう、そう、ああ**。 : (自分の思い描いていることを指して) こう、そう、ああ。 : [ene anの形で] こんな、そんな、あんな。 : [ene動詞句hi/katuの形で]　〜の仕方、〜する様子、〜するには。 : an=eramu p neno an (考えているような)

ene²　エネ【助詞】[位置名詞・場所名詞+] **〜へ**。 : ekota (〜へ向かって)

enontasino エノンタシノ【副詞】**どこへやら、いずくにか**。 : ney ne ya ka an=erampetek hi ekota (どこだか分からないところへ)

epakasnu エバカヌッ【他動詞】[二重目的語+] **〜に〜を教える**。 : nen ka nep ka an=eramante (誰かに何かを分からせる)

epas エパシ【名詞】**西**。 : ekota peker cup ahun hi (太陽の沈むところ)

eper　エペレ【名詞】**熊**。大きい熊(poro eper)に対しても、子供の熊(pon eper)に対しても使う。 : kimun kamuy, ponpe ne yakka porop ne yakka xeperƎ ne yak an=ye (熊、小さいものでも大きいものeperであると言う。)

epera エペラ【名詞】**東**。 : or wa peker cup rikin hi (太陽の上がるところ)

epirka エピリカ【他動詞】**〜で得する**。 : an=ki wa nep ka pirka p an=uk (〜をして何か良いものを得る)

epitta エピッタ【副詞】**ずっと〜、(期間) 中**。

eposon エポソン【副詞】　eposoun

eposoun　エポソウン【副詞】**どおりで、なるほど、どうやら**。 : eposoun　kusuどおりで、なるほど。 : pirkano an=eraman hi ta an=ye itak (良く分かった時に言う言葉)

epunkine　エプンキネ【他動詞】**〜を守る、〜を治める**。 : an=kasnukar (〜を見守る)

epututu エプトウトゥ【自動詞】**膨れっ面をする、怒る**。 : iruska=an wa notakam an=hupte (怒って頬を膨らます)

eraman　エラマン【他動詞】**〜が分かる、〜を理解出来る**。(反*erampetek; eramuskare*) : somo an=eraman (分らない)

erampetek　エラムベテッ【他動詞】**〜が分からない、〜を理解できない**。(反*eraman*; 類*eramuskare*) : somo　an=eraman (分からない)

eramuskare　エラムシカレ【他動詞】**〜が分からない、〜を見聞きしたことがない**。 : hoski no an=nukar hi ka an=nu hi ka isam (〜を以前に見たことも聞いたこともない)

eranak　エラナッ【他動詞】**〜を心配する、〜について悩む**。 : an=eranak　pe悩み事。 : an=pakari hike sampewen=an

(〜について考えて具合が悪くなる)

eranpokin エランボキン【他動詞】**〜を可愛そうに思う、〜を気の毒に思う**。: inunukas sekor yaynu=an (〜が可愛そうだと思う)

eras, **erasi** エラシ【副詞】**下へ**。

erekor エレコロ【他動詞】**〜が理由で名づけられる、〜が理由で名づけられている**。: kusu ene re an (そのためそう呼ばれる)

erepasi エレバシ【副詞】**沖へ**。

erikipuni エリキブニ【他動詞】**〜を持ち上げる**。: rik ene an=hopunire (高みへ持ち上げる)

es= エシ【人称接辞】[+動詞] **お前たち (が〜する)**。: [単数の聞き手に対して用いて] **あなた (が〜する)**。: [+名詞] **お前たち (の〜)**。: [単数の聞き手に対して用いて] **あなた (の〜)**。: inu kur utar iki, inu kur utar ekota iki=an sekor an moymoykeitak etoko us (聞き手が何かする、聞き手に対して何かがされるという動詞の前に付く)

etekomare エテコマレ【他動詞】**〜を手にする、〜を手を持つ**。: an=tekeani (〜を手取る)

eterkerepa エテレケレパ【他動詞】[二重目的語+] **〜を〜に飛ばす、〜を〜に素早く動かす**。: an=ekohopunire (〜を〜に飛ばす)

etok, **etoko** エトク エトコ【位置名詞】[名詞+] (時間的・空間的に) **(〜の・より) 前**、[文+] **〜する前**、[期間を意味する名詞句] **〜前に**: iwan pa etok ta六年前に。(反*okake*): paye=an hi ta nukar=an easkay oro (進むとき見えるところ)

etoranne エトランネ【助動詞】**〜するのが面倒である**。

etoyta エトイタ【他動詞】**〜を植える**。: sir ka ta an=ante (地面にあらせる)

etu エトゥ【名詞】**鼻**。

etuk エトゥク【自動詞】**飛び出す、突き出す**、(草などが) 生える。: an=pake an=asinke (頭を出す)

etuyep エトウイエフ【名詞】**鉄**。

eus エウシ【他動詞】**〜に突き刺さる**。: ene etara (〜に刺さる) , eciw (〜に突き刺さる)

eyaynewsarka エヤイノウサカ【他動詞】**〜をして楽しむ**。: an=ki kor kiroroan, an=eramuriten, an=ekiroroan (〜をして楽しむ)

eyaypakasnu エヤイパカシヌ【他動詞】**〜を学ぶ、〜を勉強する**。: an=eraman kusu arikiki=an (〜を知するために頑張る)

hampe ハンペ【名詞】**おとうさん** (hanpe)。

hani ハニ【文末詞】(主に目下の者に対して) **(〜し) なさい、(〜する) んだよ**。(類*na*): an=pawetenke hi ta iyotta osi an=ye itak (指図したりする時に最後に言われる言葉)

hapap ハパパ【間投詞】**ありがと、どうも**。(類*humna*, *iyayraykere*): yayrayke tura an=ye itak (感謝しながら言う言葉)

hapo ハボ【名詞】(沙流方言) **お母さん**。: (千歳方言) **お父さん**。: (Sar un kur iporse) totto, (Sikot un kur iporse) hanpe

harkiso ハラクソ【名詞】**左座**。rorunsoに視点を置いて左側。: cise oske ta ekusun an so (家の中で南側にある座)

hat ハツ【名詞】**山葡萄**。

hata ハタ【名詞】**旗**。

hatto ハット【名詞】**禁止**。

haw ハウ【形式名詞】**声**。: [文+] (人から聞いたことから判断して) **(〜する・した) こと、(〜する・した) という話**。: an=ye p (言われたこと)

hawan ハワン【自動詞】**(〜する・した) そうだ**。

hawas ハワシ【自動詞】言う、[文+hawasの形で] (〜する) 声がする、**[文sekor/kotom+hawasの形で] 〜と言う、〜という話である**。: an=ye (言われる)

hawe ハウェ【名詞】**〜の声、〜の言うこと**。(類*itak*): [形式名詞] [文+] (人から聞いたことから判断して) (〜する・した) こと、(〜する・した) という話。: [文末詞的に用いて] 〜だねえ、〜なの?: an=ye p (言われたこと)

hawke ハウケ【自動詞】**弱い、静かな、穏やかな**。: ataye?安い。: somo yupke (強くない) , ratcitara an (穏やかだ) , hawe sak (何も言わない) , humi sak (音がしない)

hawokaypa ハウオカイパ【自動詞】(大勢の人が) **口々に言う**。: itakpa (大勢の人が言う)

hawowen ハウオウエン【自動詞】**声が酷い**。: hawe wen (声が悪い)

hayta ハイタ【自動詞】**足りない**。: 【他動詞】**〜をないかしろにする**。: nep ka an=kor rusuy sekor yaynu=an (何かが必要だと思う)

he ヘ【助詞】**〜か**。

hemanta ヘマンタ【代名詞】(沙流・鶴川・千歳方言) **何、何か**。旭川方言のnepに相当。

hempano ヘンパン【副詞】**早く**。(類*hokure*): somo moyre=an no (遅れずに)

hempar ヘンパ^ラ【副詞】**いつ。出来事や状態が成立した時点がを問う**。: nekon an icicikan ta (どんな時間に)

hene ヘネ【副詞】**〜のか (〜のか)**。

henpak ヘンパク【形容詞】**幾つの、幾つかの、[+pe/paの形で] 何 (個、年)**。: ipiski=an yak nekon an (数えるときどんな)

henpakpe ヘンパッペ【代名詞】**幾つ**。: ipiski=an yak nep (数えるとき何)

heru ヘル【副詞】**同じ〜同士**。: uneno okay pe uturano (同じものが共に)

hetak ヘタク【間投詞】**さあ (早く)**。: hokure (早く)

hi ヒ【形式名詞】[文+] **(〜する・した) こと**。: [文+] **(〜する・した) 時**: [tan/taan/toan/nean+] **(こ・そ・あそ・そ) こ**。: [ene 動詞句 hiの形で] **(〜する) 方法**。: katu (〜という様子) , hawe (〜という話)

hike¹ ヒケ【形式名詞】[動詞+] **(〜な) ほう、(〜な) もの・こと**。: -p(e) (〜な) もの

hike² ヒケ【接続助詞】[文・動詞+] **(〜する) と**。: awa (〜すると、〜したところ)

hine ヒネ【接続助詞】**〜して**。: wa (〜して)

hok ホク【他動詞】**〜を貰う**。(反*ei yok*): icen an=kore wa nep ka an=uk (お金を払って〜を取る)

hoku ホク【名詞】**(〜の) 夫**。

hokure ホクレ【自動詞】**急ぐ**。: 【間投詞】さあ。: tunas (速くなる)

homa ホマ【他動詞】**〜を恐れる**。: an=sitoma (〜を怖がる)

homar ホマ^ラ【自動詞】**微かだ**。: ponno patek an (少しだけある)

honkuri ホンクリ【折り返し要素】「お腹の影」のように聞こえるが意味未詳。

honturasire ホントウラシレ【他動詞】**〜を懷に入れる**。: an=honi turasi kuni an=mipi oske ne an=o (腹に沿うように衣の中に入れる)

hopuni ホブニ【自動詞】**起き上がる、立ち上がる、飛び上がる**。(反*hotke*; 複*hopunpa*): an=netopake an=rikinte (体を上げる)

hopunpa ホブンパ【自動詞】**起き上がる、立ち上がる**。(反*hotke*; 複*hopuni*): an=netopake an=rikinte (体を上げる)

horkew ホロケウ【名詞】**狼**。: seta neno an katu kor kamuy (犬のような神)

horkewkamuy ホロケウカムイ【名詞】**勇気の神、武勇の神**、オオカミ神。

hosipi ホシピ【自動詞】**帰る、戻る**。: an=kor cise ene oman=an, or ta hoski no an=an hi ta oman=an (自分の家に行く、元いた場所に行く)

hosippa ホシツパ【自動詞】(複数の人が) **帰る、戻る**。(他*hosippare*): an=kor cise ene paye=an, or ta hoski no okay=an hi ene paye=an (自分の家に行く、元いた場所に行く)

hosippare ホシツパレ【自動詞】**〜を帰す、〜を戻す**。(自*hosippa*): kor cise ene an=omante, or ta hoski no an hi ene an=omante (自分の家に行く、元いた場所に行く)

hoski ホシキ【副詞】**最初に**。(反*ios(i)*): iyotta etoko an (一番先の)

hot ホツ【名詞】**二十**。: [数を表す形容詞+] 〜十。: tu wan (二つの十)

hotke ホツケ【自動詞】**横になる、横たわる**。(反*hopuni*): an=netopake an=ranke (体を下ろす)

huci フチ【名詞】**お婆さん、お婆ちゃん**。(反*ekasi*): rupne mat (年をとった女性) , an=ona unu (父の母) , an=unu unu (母の母)

huipe フイペ【名詞】**刺身、魚や動物を生で食べる料理**。: somo an=suye no an=e usa cep usa kam (煮炊きせずに食べる魚や肉)

humas フマシ【自動詞】**(〜する・した) ようだ**。

humi フミ【形式名詞】[文+] (言葉以外の聴覚・味覚・臭覚・触覚・直感から判断して) (〜する・した) 感じ、**(〜する・した) みたい・かもしれない**。: [文末詞的に用いて] **〜だねえ、〜なの?**: ene an=nu katu (感じたこと)

hunna フンナ【間投詞】**どうも**。

huraye フライエ【他動詞】**〜を洗う**。: toy ne yakka tur ne yakka wakka turano uska (土や汚れを水でなくす)

hure フレ【自動詞】**赤い**。

husko フシコ【自動詞】**古い、古くなる、[形容詞的に] 昔の、元の**。: somo asir (新しくない)

i= イ【人称接辞】[+動詞] **私たち (を〜する)、私たち (に〜する)、[物語の中で] 私 (を〜する)、私 (に〜する)**。(類*un*=): itak kur utar ekota iki=an sekor an moymoykeitak etoko us (話し手たちに対して何かがされるという動詞の前に付く): [+位置名詞] **私たちの〜、[物語の中で] 私の〜**。

icakkere イチャッケレ【自動詞】**汚い**。: turus (垢の付いた) , sirun (酷い)

ican, **ican** イチャン【場所名詞】**イッチャン (一巳)**: 北海道深川市内の地名。

ik イク【名詞】**千**。: wan atuyta (10個の百)

ikanepeka イカネベカ【副詞】**〜するな、〜しないで下さい**。

ikaneyepka イカネイベカ【副詞】**〜するな、〜しないで下さい**。

ikarkar イカ^ラカ^ラ【自動詞】**刺繍する**。: [名詞] 刺繍。: ka ani noka an=nuye (糸で絵を描く)

ikasma イカシマ【自動詞】余る。

iki イキ【自動詞】**する、そうする**。(他*ki*, *kar*): nep ka an=ki (何かをする)

ikianep イキアネフ【副詞】**〜するな、〜しないで下さい**。

ikianeypeka イキアネイベカ【副詞】**〜するな、〜しないで下さい**。

ikipa イキパ【自動詞】**する**。: nep ka an=ki (何かをする)

ikkew イッケウ【名詞】**腰、宝壇、(言葉の) 内容**。: an=osoro kaske (尻の上)

ikonnot イコンノツ【名詞】**お守り**。

ikor イコ^ロ【名詞】**宝、財産**。: icen usa emus usa neno an pe (お金や宝刀のようなもの)

iku イク【自動詞】**酒を飲む**。(複*ikupa*): [名詞] **飲酒、酒宴**。: tonoto. sake an=ku (酒を飲む)

ikupa イクパ【自動詞】**酒を飲む**。(単*iku*): [名詞] **飲酒、酒宴**。: tonoto. sake an=ku (酒を飲む)

ikupasuy イクパスイ【名詞】**捧酒箸**。: ani aynuitak kamuy ekota an=ekte pasuy (人間の言葉を神に伝える箸)

ikuso イクソ【場所名詞】**酒宴の席**。: or ta ikupa=an so (大勢で酒を飲む場)

imeruinaw イメルイナウ【名詞】**電話**。

imoka イモカ【名詞】**土産**。: anun kor cise ene oman=an hi ta an=koroman pe (よその人の家に行くとき持って行くもの)

inaw イナウ【名詞】**御幣、イナウ**。: ni an=ke wa an=kar p, aynu itak kamuy ekota ekte p (木を削って作られる、人間の言葉を神に届けてくれるもの)

inawkar イナウカ^ラ【自動詞】**御幣を作る**。

ine イネ【形容詞】**四つの**。

inen イネン【名詞】**四人**。

inep イネフ【名詞】**四つ**。

inkanep インカネフ【副詞】**〜するな、〜しないで下さい**。

inkar インカ^ラ【自動詞】**見る、目やる**。(他*nukar*; 類*ehewpa*): an=siki an=kiru (目を向ける)

inomi cup イノミチュフ【名詞】**一月**。

inonnoitak イノンノイタク【名詞】**祈り言葉**。: inomi=an hi ta an=ye itak (祈るときに言う言葉)

inotuorke イノトゥオロケ【名詞】**(〜の) 魂、靈魂**。: inotu (命)

inu イヌ【自動詞】**聞く、耳を傾ける**。(他*nu*): an=kisara an=kiru (耳を向ける)

inumpe イヌンペ【名詞】**炉縁**。: apeoy okari p (囲炉裏を囲むもの)

inutua イヌトゥア【副詞】**そろりと**。: hum isam no (音も無く)

iomante イオマンテ【名詞】**熊送りの儀式**。

iomare イオマレ【自動詞】**神酒を杯に注ぐ**。: [名詞] 神酒を杯に注ぐこと。: tuki tonoto an=omare (杯に神酒を注ぐ)

iomarekur イオマレクル【名詞】**神酒の注ぎ役** (の女性)。: kamuynomi or ta tuki tonoto omare kur (カムイノミで杯に神酒を入れる者)

ionkamire イオンカミレ【間投詞】**拝礼致します、[iyayraykereに] 対して**] どういたしまして。

iopok イオボク【自動詞】**参加する、加わる**。: utanne=an (〜の仲間になる)

ios, **iosi** イオシ、イオシ【副詞】**後で、最後に**。: nep ka okake ta

(何かの後に) , opiitano okake ta (全ての後に)

ipe イペ【自動詞】**食事をする**。(他^め): [名詞] **食事、食べ物、(実等の) 中身**。: anep an=e (食べ物を食べる)

iperuy イベルイ【自動詞】**大食である、大食いである**。: nep ne yakka poronno e (何でも沢山食べる)

iporo イボロ【名詞】**顔色**。: ene nanka an katu (顔の表面の様子)

iporse イボロセ【名詞】**言い回し、表現、方言**。(しばしば/iposse/と発音。) : ene itak=an katu (言い方)

iramkarapte イラムカラッテ【間投詞】: (cf. irankarapte)

irammakaka イラムマカカ【副詞】**美しく、丁寧に、早く**。: pirkano (良く) , siretokkornno (美しく)

irankarapte イランカラッテ【間投詞】**ご挨拶申し上げます**。: onkami=an sir tapan na (挨拶致しまする)

iraye イライエ【自動詞】**猟をする**。: nep ka cikoykip an=koyki (何か獲物を獲る)

irenka イレンカ【名詞】**意向、決まり、法律**。: nen ka neno an kuni p sekor yaynu=an pe (誰かが、そうあるべきと考えること)

iresu イレス【形容詞】**育ての、育みの**。: nen ka reska (誰かを育てる)

iresuhuci イレスフチ【名詞】**火の神、水の神の別称**。: apehucikamuy, wakkauskamuy an=koitak hi ta ene an=rekore katu (火の神、水の神に呼びかけるときの名)

iri イリ【自動詞】**動物の皮剥ぎをする**。: nep ka cikoykip an=ri (何か動物の皮を剥ぐ)

irukay イルカイ【副詞】**しばらく**。: somo ohonno (それほど長くない間)

irupaye イルバイエ【名詞】語り物、語られる物語。(反*sakoye*, 類*irupaye*, *rucaye*)

iruska イルシカ【自動詞】**腹を立てる、怒る**。(他*ruska*): nep ka an=ruska (何かに腹を立てる)

isam イサム【自動詞】**ない、いない、なくなる、いなくなる、亡くなる**。(反*an*, *okay*): katu sak, tum sak (姿がない、体がない)

isitoma イシトマ【自動詞】**何かを恐れる、怖がる**。

isoanikamuy イソアニカムイ【名詞】**猟の神**。

isoitak イソイタク【名詞】**語る**。

isoneka, **iisoneka** イソネカ イソネカ【間投詞】**よく〜してくれました、〜してよかった・ありがたい**。: yayrayke=an kor, kirorokay kor an=ye itak (感謝しながら、喜びながら言う言葉)

isounkur イソウンクル【名詞】**狩の名人**。

itak イタク【自動詞】**話す、語る**。: nep ka ye (何か言う): [名詞] **言葉、話**。: an=ye p (言われたこと)

itakpa イタクパ【自動詞】(大勢で) **話す、語る**。: hawokay (口々に言う): an=ye p (言われたこと)

itanki イタンキ【名詞】**お椀**。: anep an=oma p (食べ物入れるもの)

itomunpuyar イトムンプヤ^ラ【名詞】**中窓**。: cise tumu ta an puyar (家の中程にある窓)

itura イトゥ^ラ【自動詞】**お供する、付いて行く**。: nen ka an=tura (誰かに付いていく)

iwan イワン【形容詞】**六つの**。

iwaniw イワニウ【名詞】**六人**。

iwanke イワンケ【自動詞】**元気である、元気になる**。: tote=an (元気である)

iwanpe イワンペ【名詞】**六つ**。

iyaykipte イヤイキッテ【自動詞】**危ない**。: 【間投詞】**危ない**。: samake ta oka=an yakun piroma=an, arka=an, ray=an kotom an (〜の近くにいると怪我をしたり、病気になったり、死んだりしそうである)

iyayraykere イヤイライケレ【間投詞】**どうもありがとうございます**。

iyokir イヨイキ^リ【名詞】**宝壇**。: or ta sintoko okay hi (宝器があるところ)

iyoski イヨシキ【自動詞】**酔う**。: iku=an wa yayeoyakno okya=an (酒を飲んで自分と違うようになる)

iyotta イヨッタ【副詞】**一番、最も**。: nep akkari tunas no (何よりも早く)

k= ク【人称接辞】(沙流・鶴川・千歳方言) [+動詞] **私 (が〜する)**。旭川のku=に相当。: [+名詞] **私 (の〜)**。旭川のku=に相当。

ka¹ カ【名詞】**紐、糸**。: tus neno tanne p, akkari ane p (紐のように長いもの、それより細いもの)

ka^ə カ【位置名詞】**（～の接触した）上**。(反*pok*) : pake an hike (頭のある側)

ka^ə カ【副詞】**～も**。 : [疑問代名詞+] **～か**。 : ne yakka (～でも) , he (か) , ya (か)

kaco カチョ【自動詞】**太鼓**。

kam カム【名詞】**肉**。

kamiasi カミアシ【名詞】**化け物**。 : wen kamuy (悪い神)

kampi カムビ【名詞】**手紙、(=kampinuye)勉強**。 : ni or wa an=kar kapar pe (木から作られる薄いもの) , kurkaske ta nep ka an=nuye (表面に何かを書くもの)

kampinuye カンビスイェ【自動詞】**勉強する**。 : [名詞] **～課**。

kampisos カンビンソ【名詞】**本**。

kamuy カムイ【名詞】**神**。 : =kimun kamuy**熊**。 : <形容詞的に用いて> 尊い、立派な、非常に優れた。 : aynu ka somo ne utar (人間でない者たち) : eper (熊) : [+re] pase ([+名詞] 尊い)

kamuyekasi カムイエカシ【名詞】**神の翁**。 : usa okay kamuy an=koitak hi ta ene an=rekore katu (様々な神に呼びかけるときの名)

kamuykotan, Kamuykotan カムイコタン【地名】**神居古潭 (カムイコタン)**。石狩川の中流域と上流域を隔てる渓谷。近代に至るまで有名な交通の難所の一つで、事故が後を絶たなかった。旭川まで鉄道が通じてから昭和40年代までは同名の駅があったが、新線建設で線路はトンネルを抜けることになったため廃駅となった。駅舎は復元されており、旧国道から駅跡へは神居大橋を渡らねばならない。新国道はトンネルを抜けるため、旧道を回らなければ神居大橋を見ることは出来ない。

kamuymaw カムイマウ【名詞】**神の風**。 : kamuy kor maw (神の風)

kamuynomi カムイノミ【自動詞】**神に祈る**。 : [名詞] **神への祈り**。 : kamuy an=koonkami (神に挨拶する)

kane¹ カネ【名詞・形容詞】**金**、[+名詞] **金の**。 : sirokani neno an pe, siwnin pe (銀のような、黄色いもの)

kane^ə カネ【接続助詞】[文・動詞+] **（～し）て、（～し）ながら、[副詞+] ～に**。 : wa (～して) , kor (～しながら)

kani カニ【代名詞】(**沙流・釧川・千歳方言**) **私**。旭川方言では、kuani。

kaopaste カオパシテ【他動詞】**～を助ける**。 : 通常、kaopasが「～を助ける」の意であるため、kaopasteだと「～を助けさせる」の意味になってしまう。-teを使役の語尾としてでなく、-tekなどのほかの要素と見るべきか否かが未詳。

kapato カバト【名詞】**コウホネ**。

kar カヲ【他動詞】**～を作る、～をする**。 : monrayke=an wa nep ka an=ante (努力して何かを現れさせる) : (草木の枝から) を摘む・採る : nitek munnetopa or wa (usa hat usa kutci) an=uk (枝、茎から～を採る)

karikari カリカリ【折り返し要素】「くるくる、回る回る」のように聞こえるが意味未詳。

kasinukar カシヌカヲ【他動詞】**～を見守る**。(類*koinkar*) : an=epunkine (～を見守る)

kasuy¹ カスイ【他動詞】**～を助ける、～を手伝う**。 : ka opasi, kasi oyki (～を助ける)

kasuy^ə カスイ【助動詞】**（～し）過ぎる**。 : eikos (kane) (あまりに～過ぎる)

katkemat カツケマツ【名詞】**婦人、奥さん**。(反*nispa*) : hoku kor mat (夫を持つ女性)

katkewkamuy カツケウカムイ【名詞】**水獺の神、カワガラス神**。

katkiko カッキコ【自動詞】**不思議である**。

katu カトゥ【形式名詞】**姿、様子**。 : siri (様子)

kay カイ【他動詞】**～を背負う**。

kay カイ【副詞】(**釧路・白糠方言**) **～も**。 : [疑問代名詞+] ～か。

kaykay カイカイ【折り返し要素】「折れ波」、「折れる折れる」、「負ぶう負ぶう」などのように聞こえるが意味未詳。

kemeiki ケメイキ【自動詞】**針仕事をする**。 : [名詞] **針仕事**。 : itese, ikarkar (刺繍する)

kenas ケナッ【名詞】**林、森**。 : nitay (林)

kera ケラ【名詞】**味**。 : ipe=an hi ta parunpe ka ta ene humas humi (食べる時舌の上でする感じ)

keraan ケラアン【自動詞】**美味しい**。 : kera pirka (味が良い)

keray ケライ【副詞】[文+keray kusuの形で] **（～する・した）おかげで**。 : [iki keray kusu] ene kiroroan hi iki kusu (嬉しいことに～ので)

kespa ケッパ【名詞・副詞】**毎年**。 : hoski an pa ka, tanpa ka, oyapa ka (去年も、今年も、来年も)

kesto ケシト【名詞・副詞】**毎日**。 : [kesto kestoの形で] 来る日も来る日も。 : numan ka, tanto ka, nisatta ka (昨日も、今日も、明日も)

ki キ【他動詞】**～をする**。(自*iki*; 類*kar*) : [動詞句+] **（～）する**。 : nep ka an=ki (何かをする)、nep ka moymoyke an=kar (何か動きをする)

kim キム【場所名詞】(**狹の場としての**) **山**。

kimatek キマテッ【自動詞】**慌てる**。

kimun キムン【形容詞】**山にいて、山の**。

kimunkamuy キムンカムイ【名詞】**山の神**、クマ神。

kira キラ【自動詞】**逃げる**。 : an=osura (～を去る)

kiroroan キロロアン【自動詞】**喜ぶ**。 : yaykopuntek=an (喜ぶ)

kisa キサ【名詞】**汽車、列車**。 : kani ru ka kus anop (鉄の道を通る乗り物)

kisaeratkcise キサエラツキチセ【名詞】**駅、駅舎**。 : or ta kisa ratki wa an=o, or wa ratki=an hi (汽車が止まり、人が乗り降りするところ)

kisaru キサル【名詞】**線路、鉄路**。 : kisa kus ru oma tanne noka, kani ani an=nuye noka (汽車の通る道にある長い線、鉄で描かれた線)

koapkas コアッカッ【他動詞】**～へ歩いて行く、～を出かける**。 : ekota apkas, ekota oman (～へ行く)

koetunankar コエトゥナンカヲ【他動詞?】不明。

kohopuni コホブニ【他動詞】**～へ飛んで行く**。(類*ehopuni*) : ekota hopuni=an kor paye=an (～へ飛んで行く)

kohosipi コホシピ【他動詞】**～に帰る**。 : ekota an=hosipi (～へ帰る)

koinkar コインカヲ【他動詞】**～を見守る**。(類*kasnukar*) : an=epunkine (～を見守る)

komni コムニ【名詞】**榎 (ナラ) の木、柏 (カシワ) の木**。 : sinean ni (ある木)

koniwasnu コニワシヌ【他動詞】**～へ馳せ参じる**。 : ekota arki=an (～へ来る)

koniwkes コニウケッ【助動詞】**～出来ない**。(類*eakykap*, *koyaykus*) : eaykap (～出来ない)

konna コンナ【副詞】[動詞句+(hum/ru/haw/sir) konnまたは名詞句+konnaの形で擬声語・擬態語を導いて] (～の様子)、(擬声語・擬態語)。 : hum, ru, haw, sir okake ta an=ye wa ne okake ta humas, hawean, sirki sekor an itak ek (hum, ru, haw, sirの後に言われ、その後に～ようだという言葉が来る)

konni ran cup コンニランチュフ【名詞】**十月**。

kopan コパン【他動詞】**～を嫌う、～を避けたがる**。(類*etoranne*, *kiumwen*) : samake ta isam=an no oka=an rusuy (～の側にいないでいたい)

kopisi コビン【他動詞】**～に尋ねる**。 : an=rampetek pe i=eramante kuni an=nisuk (分からないことを分からせてくれるよう～を頼る)

kor¹ コ【他動詞】**～が～を持っている、～に～がある**。(複他*kore*) : **[～kor...の形で] ～の…** : kor cise彼の家。 : [nep¹ nep^ə+] [何か¹] が [何か^ə] を持っている、[何か^ə] が [何か¹] にある。(反*sak*) : [nep¹ nep^ə+] nep ka^ə nep ka¹ or ta an ([何か^ə] が [何か¹] にある。)

kor^ə コロ【接続助詞】[文・動詞+] **（～し）ながら・つつ**。 : [動詞 kor an/okayの形で] **～している (最中である)**。(反 動*wa an*) : kane (～の途上)

kor^ə コロ【接続助詞】[文・動詞+] **（～する）と、（～した）ところ**。 : hike, awa (～したところ)

koraci コラチ【助詞】**～のごとく**。 : neno (～のように)

korara コラヲ【他動詞】(< korar) **～を～に差し出す**。

kore コレ【他動詞】[二重目的語+] **～が～に～を与える**。(他 kor; 複 korpare) : [nep¹ nep^ə nep^ə+] [何か¹] が [何か^ə] に [何か^ə] を与える。(反*sak*) : [nep¹ nep^ə nep^ə+] nep ka^ə nep ka^ə kor kuni nep ka¹ iki ([何か^ə] が [何か^ə] を持つように [何か¹] する。) : [動詞 wa (人称接辞) +] **～に（～して）あげる、～に（～して）くれる**。 : an=ki kor an=kasuy (～しながら～を助ける)

korka コロカ【接続助詞】**（～する・した）けれども**。 : [iki +] iki p ne yakka (～するのだとしても)

korkay コロカイ【接続助詞】(**釧路・白糠方言**) **（～する・した）けれども**。 : (Kusuri un kur Sirarka un kur iporse) korka (～する・した) けれども

korpare コロバレ【他動詞】[二重目的語+] **～が～に～を与える**。(単

kore) : [nep¹ nep^ə nep^ə+] [何か¹] が [何か^ə] に [何か^ə] を与える。 : [i=korpare ya(n)の形で] ～して下さい。 : [nep¹ nep^ə nep^ə+] nep ka^ə nep ka^ə kor kuni nep ka¹ iki ([何か^ə] が [何か^ə] を持つように [何か¹] する。) : [動詞 wa (人称接辞) +] **～に（～して）あげる、～に（～して）くれる**。 : an=ki kor an=kasuy (～しながら～を助ける)

kosirepa コシレパ【他動詞】**～に着く**。 : an=yaysirepare (～に着く)

kosismasanasan コシッササナサン【他動詞】**～に目を大きく開く**。 : an=kosikiru wa an=siki an=maka (～を向いて目を開く)

kotan コタン【場所名詞】**村、集落、町**。 : or ta aynu cise kar wa okay hi (人が家を作り住むところ)

kotankorkamuy コタンコロカムイ【名詞】**国土の神**、シマフクロウ神。

kotantay コタンタイ【名詞】**村の立ち並ぶところ**。 : kotan okay hi (村が沢山あるところ)

kotanu コタヌ【名詞】**～の村、～の集落、～の町**。 : or ta aynu cise kar wa okay hi (人が家を作り住むところ)

kotarara コタラヲ【他動詞】**～を差し出す**。 : an=koipuni (～を差し出す)

kotcake コツチャケ【場所名詞】**～の前**。 : samake, an=nukar or (～の側、見えるところ)

koteksam コテッサム【位置名詞】**～のすぐ側、～の傍ら**。 : teksam (～の側)

kotom コトム【接続助詞】**今にも（～し）そうで、今にも（～し）そうに**。 : nankor sekor yaynu=an (～するだろうと思われる)

kotor コトロ【名詞】(**の内側の**) **面**。

kotumikor コトウムコロ【他動詞】**～に戦いを仕掛ける、～を攻撃する**。 : tura ukoiki=an (～と喧嘩する)

koturimimse コトゥリミムセ【自動詞】**ブーンと響き渡る**。 : nep ka hum as (何か音がする)

koy コイ【名詞】**波**。

koyaykus コヤイクッ【助動詞】**～出来ない**。(類*eakykap*, *koniwkes*) : eaykap (～出来ない)

koyki コイキ【他動詞】**～を狩る**。 : an=rayke (～を狩る)

ku= ク【人称接辞】[+動詞] **私 (が～する)**、[+名詞] **私 (の～)**。 : itak kur iki sekor an moymoykeitak etoko us (話し手が何かするという動詞の前に付く)

kuani クアニ【代名詞】**私**。 : itak kur ene yayrekore katu (話者が自分と呼ぶ時の呼び方)

kunak クナッ【接続助詞】**～と**

kuni クニ【接続助詞】[文+] [+ye/ramu] **（～する・しよう）と（言う・思う）** : yak pirka (～するとよい)

kunnano クンナノ【名詞】**朝**。 : sirpeker okake, tokam etoko (夜明けの後、昼の前)

kunne sus (i) cup クンネスシチュフ【名詞】**八月**。

kunne yas cup クンネヤシチュフ【名詞】**七月**。

kunne クンネ【名詞】**夜**。 : hotke=an kuni hi okake (床に就く時間より後)

kuntari クンタリ【名詞】**酒飲み、片口**。 : or wa iomare=an pe (それから酒を注ぐもの)

kur クル【形式名詞】[動詞・文+] **（～する・した）者、（～する・した）人**。 : pe (～するもの)

kus クッ【他動詞】**～を通る**。 : peka paye=an (～を通る)

kuscipore クッチボレ【他動詞】**～を舟で通る**。 : cip an=o wa an=kus (舟に乗って～を通る)

kuskurkacipore クックルカチボレ【他動詞】**～を舟で通る**。 : cip an=o wa an=kus (舟に乗って～を通る)

kusne クスネ【助動詞】[動詞+] **きっと～するつもりだ、～することになっている**。 : [iki +] sunkesakno iki=an nankor (きっと～するつもり・だろう)

kusu クス【接続助詞】**～なので、～だから**。 : [節+] [～する・した] ので、[～する・した] から。 : [iki +] iki p an wa (～したことがあって)

kusuri, Kusuri クスリ【地名】**釧路、釧路川筋**。 : yaunmosir ka ta epera an poro kotan (北海道の東にある大きな町)

kuta クタ【名詞】**～を空ける**。 : tuki, anoikup an=ohare (杯やコップなどを空にする)

kutci クッチ【名詞】**クワ**。

kutkorkamuy クッコロカムイ【名詞】**涯路の神**、(クマ神)。

kutpokeciwre クッボケチウレ【他動詞】**～を帯の下に差す**。 : an=mut (～を佩く)

ma マ【自動詞】**泳ぐ**。

manu マヌ【助動詞】**（～である）べきである、（～である）はずである**。 : kuni (べき)

masatara マサタラ【他動詞】**輝く**。 : nipeki an (光る)

mat マツ【名詞】**妻、女**。(反*nispa*) : hoku kor mat (夫を持つ女性)

mata マタ【名詞】**冬**。 : mata pa 冬の年。 : upas as hi (雪の降る時)

matak マタッ【名詞】**妹**。

mataki マタキ【名詞】**～の妹**。 : pon matne irwaki (～の年下の女兄弟)

mawnoyere マウノイエレ【他動詞】(**自分の**) **風を～に絡める**。 : an=kor maw noye kuni iki=an (自分の風が～を捻るようにする)

mean メアン【自動詞】(**天気が**) **寒い**。

meman メマン【自動詞】**涼しい**。

merayke メライケ【自動詞】(**人が**) **寒い (と感じる)**。

meun メウン【自動詞】**凍死する**。

mici ミチ【名詞】(**沙流川中・上流方言**) **お父さん**。 : (Sisirmuka peni un kur iporse) hanpe

mokor モコロ【自動詞】**寝る、眠る**。 : hotke=an wa cinita usa an=ki (横になって夢を見るなどする)

monekuskonno モネクコンノ【副詞】**俄かに、突然**。(類*ekuskonno*) : etoko ta ci-eraman ka sakno (前もって知ることなく)

monrayke モンライケ【自動詞】**働く、仕事を**する。

mosem モセム【名詞】**物置、土間**。 : cise oske ta an hi, or ta usa nisu , iutani, usaanpe an=anu hi (家の中にあるところで、日や杵などを置くところ)

mosem モセム【名詞】**物置**。 : or ta apa an pon cise (玄関のある小さな家)

mosir モシッ【名詞】**世界、国**。 : [名詞+] **～界**。 : aynu ne ciki kamuy ne ciki or ta okay hi (人間や神が住むところ)

mosmano モシマノ【副詞】**黙って**。 : hawesakno (黙って)

moyre モイレ【自動詞】**遅い**。

mukkur ムックル【名詞】**口琴、ムックリ**。 : ～rekte ムックリを鳴らす。 : an=paro samake ta an=rekte p (口の側で鳴らすもの)

mun tukka cup ムントウツカチュフ【名詞】**五月**。

mun ムン【名詞】**草、ごみ**。 : kina (草)

mut ムツ【他動詞】(**刀**) **を佩く**。 : emus an=netopake ka an=usi (刀を体に付ける)

mutpe ムツペ【名詞】(**普通は**) **刀、(時に) 鎧 (hayokpe)**。 : emus, somo ne ciki hayokpe (刀もしくは鎧)

muysapte ムイサप्テ【自動詞】**掃除をする**。 : mun an=sapte (ごみを掃く)

na¹ ナ【副詞】**まだ、もう (～個)**。 : moyre kane (遅く)

na^ə ナ【文末詞】[文+] **～よ、～ぞ**。 : an=epakasnu, an=pawetenke hi ta iyotta osi an=ye itak (教えたり指図したりする時に最後に言われる言葉)

naani ナアニ【副詞】**もう少しで (～する) ところだった**。

nani ナニ【副詞】**すぐ、まもなく、[nani ponkoの形で] 危うく? するところであった**。 : moyre somo ki no (遅れることなく)

nankor ナンコロ【助動詞】[動詞+] **～するつもりだ、～するだろう**。 : kunak itak kur ramu (と話者が思う)

nanomare ナノマレ【他動詞】**～に顔を入れる、～で顔を隠す**。 : sempirkehe an=nanu an=nuyna (～の陰に顔を入れる)

nanunpe ナヌンペ【名詞】**眼鏡**。

nay ナイ【名詞】**沢、川**。

ne¹ ネ【他動詞】**～が～である、～が～になる**。 : [nep¹ nep^ə+] [何か¹] が [何か^ə] である、[何か¹] が [何か^ə] になる : toanpe pu neあれは倉庫だ。 : [nep¹ nep^ə+] nepka¹ newa nepka^ə sinep ne, nepka¹ nepka^ə ne yaykar ([何か¹何か^ə+] 何か¹ と何か^əは同じだ、何か¹が自分を何か^əにする)

ne^ə ネ【形容詞】**その。既に前の文脈で表現された**。 : hoski no an=ye (前に言われた)

ne^ə ネ【助詞】**～へ、～に**。(類*ene*) : [場所名詞・位置名詞+] ～へ、(移動先を表して) ～に。 : ekota (～へ)

ne⁴ ネ【助詞】**～として、～に**。 : neno an=nukar wa (～を～として見て)

nean ネアン【形容詞】**その～。既に前の文脈で表現された～**。 : hoski no an=ye (前に言われた)

neanpe ネアンペ【代名詞】**それ。既に前の文脈で表現されたもの**。 :

hoski no an=ye p (前に言われたもの)

nekon ネコン【副詞】**どう、どのように**。: [nekon anの形で] どんな、どのような。: nep neno (何のように)

nen ネン【名詞】**だれ、だれか**。: nekon an kur (どんな人)

nene ネネ【代名詞】< **nen_he**誰。

neno ネノ【副詞・助詞】**そのように、～のように**。: [単独で用いられて] (前で言われたことを指して) そのように。[名詞+] ~の ように。: [nenô anの形で] そのような、～のような。: hoski no an=ye p ye kor xtaat (既に言われたことに触れながら「こう」)

nep ネプ【代名詞】**何、何か**。通常は人間以外のものの素性を問う表現だが、時にnep ka「何か・何も」と同様の意味で用いられる: *nep an=e rusuy nep an=kor rusuy pe isam* 食べたい、欲しいものは何もない。: nekon an hi (どのようなもの)

nepe ネペ【代名詞】< **nep_he**何。

newa ネワ【助詞】**～と(～)**、[～newa...kaの形で] ~と...のどちらも。: patek ka somo ne no (～だけでなく)

ney ネイ【代名詞】**どこ、どこか**。: [ney paknoで] いつも、いつまでも。: nekon an hi (どんな場所・時)

nimpa ニンパ【名詞】**～を引っ張る**。: an=sikoeyaye (引く)

ninun ニヌム【名詞】**クルミ**。

nis ニシ【名詞】**空**。

nisatta ニサッタ【名詞・副詞】**明日**。: tanto okake ta ek to (今日の後に来る日)

nisew ニセウ【名詞】**ドングリ**。

nispa ニシパ【他動詞】**紳士、旦那**。(反*katkemat*):icen poronno kor aynu (お金持ちの男の人)、pase kur (立派な人)

nitay ニタイ【名詞】**林**。: or ta ni poronno an hi (木の沢山あるところ)

nitek ranke cup ニテ克蘭ケチュプ【名詞】**十一月**。

nitne ニツネ【自動詞】**固い**。(反*riten*, *apur*; 類*niste*):somo riten (柔らかくない)

nitnekamuy ニツネカムイ【名詞】**ニチネカムイ、ニツネカムイ**。悪神。: wen kamuy (悪い神)

no ノ【副詞語尾】[自動詞+](副詞化する。)**～に、～く、～て**。: [否定的意味の動詞句+] **(～な)く**。: [副詞・助詞] 口調を整える。: ruwe ne kor (～であり)

nomi ノミ【他動詞】**～に祈る、～を祀る、～を拝む**。: kamuy an=koonkami (神に挨拶する)

noski ノシキ【場所名詞】**～の中央、～の真ん中**。: pa kes or wa tuyma hi (端から遠いところ)

notkoyupu ノッコヨユプ【他動詞】**～をあごのところで結ぶ**。: an=not orke ta an=yupu (～をあごのところで結ぶ)

noyne ノイネ【接続助詞】**(～し)そうで、(～する)ようで**。: kotom (今にも(～し) そうで、今にも(～し) そうに。)

nukar ヌカラ【他動詞】**～を見る**。(他*inkar*): ekota inkar, sikkuste (～に目を遣る、～に目を通す)

num ヌム【名詞】**粒**。: pon sikarip (小さな丸いもの)

numan ヌマン【名詞・副詞】**昨日**。(関*kunnano*, *tokam*, *kunne*): tanto etoko ta ek to (今日の前に来た日)

numi ヌミ【名詞】**～の粒**。: pon sikarip (小さな丸いもの)

numkar ヌムカラ【自動詞】**殻を取る**。: usa pekanpe usa an pe or wa kap uska (夢の実などから皮をなくす)

nupe ヌペ【名詞】**(感情に伴って出る)涙**。

nupuri ヌプリ【名詞】**山**。(類*sir*, *kim*):nupurpe kor pe oma sir (霊力持つものがいる山)

nusa ヌサ【名詞】**祭壇**。:inaw, nusasan an=asi hi (御幣や御幣棚などを立てるところ)

nusakes ヌサケシ【名詞】**祭壇の下手**。:nusa kotcake rok=as wa inkar yakne siso ne hike (御幣棚の前に立って見ると右側)

nusakorkamuy ヌサコロカムイ【名詞】**祭りを受け持つの神、幣場の神**、ヘビ神。

nusapa ヌサパ【名詞】**祭壇の上手**。:nusa kotcake rok=as wa inkar yakne harkiso ne hike (御幣棚の前に立って見ると左側)

nusasan ヌササン【名詞】**御幣棚**。:inaw kotcake an=amasan, kaske ne tuki ne ciki sito ne ciki rataskep ne ciki an=anu (御幣の前に置かれる棚、その上に杯や餅やご馳走が置かれる)

nuyna ヌイナ【他動詞】**～を隠す**。:nep ka sempirkehe an=omare (何かの陰に入れる)

nu ヌ【他動詞】**～を聞く、～に耳を傾ける**。(自*inu*): ekota an=kisara an=kiru (～に耳を向ける)

o¹ オ【他動詞】**～に入る、～に乗る**。: an=koahun (～が～に入る)

o² オ【他動詞】[二重目的語+] **～を～に入れる**。: an=omare (～を～に入れる)

oha オハ【自動詞】空である・になる。:oske ta nep ka isam (中に何も無い)

oho オホ【自動詞】**深い**。(反*ohak*; 類*rawne*):somo ohak (浅くない)

ohupneka オフッネカ【他動詞】**～を狭める**。: 原典では、/ohupneska/と聞こえる。o (～の下部)、hupne (狭い)、-ka (～させる) 程度で解釈しているが正確な意味と語形は未詳。

oika オイカ【他動詞】**～を超える**。: (en)ka peka paye=an (～の上を通る)

oka オカ【自動詞】=**okay**

okanpa オカンパ【自動詞】**やかましい、むずかしい**。: hawe yupke, yupke (うるさい、むずかしい)

okari オカリ【他動詞】**～を回る**。:【助詞】**～の周りに**。: piskani ta (～の周りで)

okay オカイ【自動詞】**ある、いる、暮らす、あらわれる**。(反*isam*; 単*an*): katu kor, tum kor (姿を持つ、体を持つ)

okere オケレ【他動詞】**～を終える**、(生き物)を滅ぼす。:【動詞 wa okereの形で】**(～し) 終える**。:【助動詞】**(～し) 終える、すっか(～し) てしまう**。:nep ka an=ki wa kese pakno iki=an (何かをして終わりまでやる)

okikurmi オキクルミ【名詞】**オキクルミ**。

okkay オッカイ【名詞】**男**。(類*okkayo*)

okkayo オッカヨ【名詞】**男、男性**。(反*menoko*):

okkaypo オッカイポ【名詞】**男の子**。

okutekari オクテカリ【他動詞】**～を逆さにする、～を逆さにして空ける**。: kuttokono an=anu (逆さまに置く)

okutepare オクテバレ【他動詞】**～を逆さにする、～を逆さにして空ける**。: kuttokono an=anu (逆さまに置く)

oman オマン【自動詞】(単数の人・ものが) **行く**。話し手と聞き手のいる場所から遠ざかる移動をする。(複paye): or ta itak kur newa inu kur okay hi wa no tuyma (話し手と聞き手のいるところから遠くなる)

omkekar オムケカラ【自動詞】**風邪を引く**。

ona オナ【名詞】《文語体》**父**。: hanpe (お父さん)

onaha オナハ【名詞】《文語体》**(～の) 父**。: hanpe (お父さん)

onkami オンカミ【自動詞】**拝礼する、挨拶する**。: ierankarap=an (挨拶する)

onnay オンナイ【位置名詞】**～の中**。: oske (～の中)

onne オンネ【自動詞】**年を取る**。

onuman オヌマン【名詞】**夕方**。:peker chup ahun okake, hotke=an etoko (太陽が沈んだ後、 寝る前)

onunposo オヌンボン【自動詞】**生き延びる**。(反*ray*; 類*siknu*):somo ray no an (死なずにいる)

opitta オピッタ【副詞】**全て、みんな**。:tanpe ka taanpe ka nep ne yakka (これも、あれも、 どれも)

opittano オピツァノ【副詞】**全て、みんな**。:tanpe ka taanpe ka nep ne yakka (これも、あれも、 どれも)

oputuytekka オプトウイテッカ【他動詞】**～を突き落とす**。: otetterke (蹴り落とす)

or オロ【位置名詞】**ところ**。: [名詞・人称接辞+] **(～の) ところ**。: hi (ところ)

orano オラノ【副詞】(cf. orowano)

oripak オリパケ【自動詞】**謹む、畏まる**。

orowa オロワ【副詞】=orowano **それから、それで**。:neanpe ne ruwe ne kor (そのようであって)

orowaciki オロワチキ【副詞】**どおりで、なるほど、どうやら**。: pirkano an=eraman hi ta an=ye itak (良く分かった時に言う言葉)

orowano オロワノ【副詞】**それから、それで**。:neanpe ne ruwe ne kor (そのようであって)

osison オンソン【場所名詞】**右座、右側**。: siso (右座)

oske オッケ【場所名詞】**その中、～の中**。:onnay, (そこに向かいながら)

otasut, Otasut オタスツ【地名】**オタスツ**。:ney ta ka yaunmosir ka ta an hi (どこか北海道にある場所)

otcike オツッケ【名詞】**お膳、お盆**。:itanki usa an=ama ita (お椀などを置く板)

otcina オツチナ【名詞】**幼子**。: ponpe (子供)

otoyposo オトイボン【自動詞】**土の中を抜ける**。

otoyposoru オトイボンル【名詞】**トンネル**。:nupuri oske kus ru (山の中を通る道)

oya オヤ【形容詞】**別の、よその**。: soy ta an (外にある)

oyap オヤッ【名詞】**よそ者**。: oyakke un kur (よその場所の者)

oyapmosir オヤッモシッ【名詞】**よそ(者)の国**。: yayunkur mosir somo ne mosir (祖国ではない国)

oyna オイナ【名詞】**オイナ、神々の物語**。

oyuknokamuy オユクノカムイ【名詞】原典ではokyukkamuyと同一視して「奥山の神」と解しているが、発音は/uyepnukamuy/で「相談しあう神」と聞こえる。語形と語義は未詳。

p ッ【形式名詞】[動詞・文+] **(～する・した) もの、(～する・した) こと**。: hi (こと)、nep ka (何か):【接続助詞】《口語体》(～する・した) が、(～する・した) のに。: korka (～する・したのに): 母音で終わる動詞句に付く形。子音で終わる動詞句に付く形は-pe。

pa パ【場所名詞】**年、歳**。: tup ikasma wan cup (12ヶ月)

paerupsi パエルプシ【名詞】**～の枕元**。:eninuype sama (～の枕の側)

pake バケ【名詞】**頭**。

pakes バケシ【名詞】**飲みさし、飲み残し**。: an=ku wa an=ama p (飲んで残したもの)

pakese バケセ【名詞】**～の飲みさし、～の飲み残し**。: an=ku wa an=ama p (飲んで残したもの)

pakno バクノ【副詞・助詞】**それまで、それほど、～まで、～ほど**。: kosirepa wa (～に達して)

pakusa バクサ【名詞】**手下**。

pani パニ【場所名詞】**(～の) 下流**。

paniunkur パニウンクル【名詞】**川下の人**。

paporo パパロ【自動詞】**年上である**。

paramoy, Paramoy パラモイ【地名】**パラモイ**。[広い入り江] 程度の意味。神居古潭に掛かる神居大橋の下流側にある深み。

pase バセ【自動詞】**重い、重要な、厳かな、尊い**。:somo kosne (軽くない)、an=eyam (大事な)

pasuy パスイ【名詞】**箸**。:apepasuy (火箸)、ikupasuy (捧酒箸)、ipepasuy (食事用箸) がある。: nit neno an pe, usat, pas ne ciki ipe ne ciki ne nit neno an pe tup uturke an=omare wa an=rura (串のようなもの、炭でも食べ物でもその間に挟んで運ぶ)

patek パテッ【副詞】**～ばかり、～だけ**。:mosma okay pe isam no (他のものは無く)

paye バイェ【自動詞】(複数の人・ものが) **行く**。話し手と聞き手のいる場所から遠ざかる移動をする。(単*oman*): or ta itak kur newa inu kur okay hi wa no tuyma (話し手と聞き手のいるところから遠くなる)

paykar バイカラ【名詞】**春**。: upas ru hi (雪の解ける時)

paykasa バイカサ【名詞】**兜、陣笠、ヘルメット**。:iyaykipte hi peka apkas=an hi ta an=ekamu p (危険なところを歩き回る時に被るもの)

pe ペ【形式名詞】[動詞・文+] **(～する・した) もの、(～する・した) こと**。: hi (こと)、nep ka (何か):【接続助詞】《口語体》(～する・した) が、(～する・した) のに。: korka (～する・したのに): 子音で終わる動詞句に付く形。母音で終わる動詞句に付く形は-p。

pekanpe ペカンペ【名詞】**菱の実**。:cuk an kor wakka ka ta an=uk ipe (秋になると水の表面で取れる食べ物)

peker ペケレ【自動詞】**明るい・くなる、透明である・になる**。(反*kunne*, *nupur*): nipeki an (光る)、mak ta an pe an=nukar easkay (奥にあるものが見える)

pencay ペンチャイ【名詞】**并財船、貨物船**。(類*cip*): cihoki an=omare cip, poro cip (品物を積む船、大きな船)

pene ペネ【自動詞】**腐ってどろどろになる**。

peni ペニ【場所名詞】**(～の) 川上**。: or wa peturasi=an kor an hi (そこから川に沿って上るとあるところ)

peniunkur ペニウンクル【名詞】**川上の人**。

penram ペンラム【名詞】**胸**。: an=kuci an=honi uturke (首と腹の間のところ)

peray ペライ【自動詞】**釣りをする**。: cepkoyki (魚を採る)

pet ベッ【名詞】**川**。

petcamun ペツチャムン【形容詞】**川村の、川端の**。:(< *pet-sam-un* 川・のそば・にいる): pet sam ta an (川のそばに居る)

pewre ペウレ【自動詞】**若い**。:somo onne wa an (年を取っていない)

pirka ピリカ【自動詞】**良い**。: 良い、綺麗である、元気である。: an=eramasuy (好ましい)

pirkano ピリカノ【副詞】**良く、しっかりと、じつくりと**。(cf. pirka): wenko no (良く)

pirkap ピリカッ【名詞】**良いもの**。

piskan ピシカン【場所名詞】**～の周り**。

piskani ピシカニ【場所名詞】**(～の) 周り**。: okari hi (の周りのところ)

po ポ【名詞】**子供**。

poho ポホ【名詞】**(～の) 子供**。

poka ポカ【副詞】**～(だけで) も、～すら、～さえ**。: patek ne yakka (～だけでも)

pon ボン【自動詞】**小さい、小さくなる**。(反*poro*):somo poro (大きくない)

ponko ボンコ【副詞】[**nani ponkoの形で**] **危うく～するところだった**。:naani (もう少しで～するところだった)

ponmosirunkur, Ponmosirunkur ボンモシルンクル【名詞】**ボンモシリの人**。: Ponmosir sekor rean hi un kur (ボンモシリという名前の地出身の人)

ponno ボンノ【副詞】**少し**。(反*poro*):somo poronno (多くない)

ponpoho ボンボホ【名詞】**小さな子**。

ponpuyar ポンプヤラ【名詞】**小窓**。:iyotta epas ta an puyar (一番西にある窓)

popke ポプケ【自動詞】**暖かい**。

poro ポロ【自動詞】**大きい、大きくなる**。:somo poro (小さくない)、rupne (大きい、大きくなる)

poronno ポロンノ【副詞】**多く**。:somo ponno (小さくない)、rupne (大きい、大きくなる)

poyyaunpe, Poyyaunpe ポイヤウンペ【名詞】**ポイヤウンペ**。: yukar oske ta iyotta pase kur (ユカルの中で一番重要な人物)

pu プ【名詞】**倉庫**。:onnay ta usa okay pe an=omare pon cise, ciekunip usa an pe an=anu hi (中にいろいろなものを入れる小さな家、食べ物などを置くところ)

puri プリ【名詞】**習慣、文化、儀式**。

puy ブイ【名詞】**ヤチブキの根**。:sinean kina sinrici (ある植物の根)

puyarotrope プヤロロッペ【名詞】**窓の簾**。:puyar or ta an=atte citarpe neno an pe (窓のところに掛ける莫座のようなもの)

ra ラ【名詞】**肝臓**。

ramaci【名詞】**(～の) 魂**

rametok ラメトク【名詞】**勇氣**。

ramma ランマ【名詞・副詞】**いつも**。: hempara ne yakka (いつでも)

ramu ラム【他動詞】**思う**。

ramuriten ラムリテン【自動詞】**喜ぶ、機嫌が良い**。: kiroroan, yaykopuntek=an (喜ぶ)

rankarap ランカラッ【自動詞】**挨拶する**。:onakmi=an neno an pe an=ki (拝礼のようなことをする)

ranpeci ランベチ【名詞】**(笠、帽子、ヘルメットの) 紐**。:paykasa, koncï o tus (笠や帽子についた紐)

rataskep ラタシケッ【名詞】**山の幸、ご馳走**。(類*ipe*, *anep*): pirka ipe (立派な食事)

ratci ラッチ【自動詞】**稲やかである、ゆっくりである、静かである**。:somo tunas (早くない)、humisak (おとなしい)

ratcitara ラッチタラ【副詞】**穏やかに、ゆっくりと**。: yaykimatekka sakno (急がずに)

raunkut ラウンクツ【名詞】**女性がする腰紐**。

ray ライ【自動詞】**死ぬ**。(反*siknu*; 他*rayke*, *ronnu*)

rayke ライケ【他動詞】**～を殺す**。(自*ray*; 複*ronnu*):ray kuni iki=an (～が死ぬようにする)

raykosanpa ライコサンパ【自動詞】**シンとなる**。:nep ka hum isam (何も音が無くなる)

re レ【形容詞】**三つの**。: sinep wano tup uekari p (一つと二つが集まったもの)

re, reheレ、レヘ【名詞】**(～の) 名前**。: nen ka an=hotuypakar hi ta an=ye itak (誰かを呼ぶ時に言う言葉)

rean レアン【他動詞】[名詞 sekor+] **～が(～と) 呼ばれる**。: rehe ...ne (名前は～だ)

rekor レコロ【自動詞】[名詞 sekor+] **～が(～と) 呼ばれる**。: rehe ...ne (名前は～だ)

rekor レコロ【自動詞】[名詞sekor+] **～が（～と）呼ばれる。**。: rehe …ne (名前は～だ)
rekore レコレ【他動詞】[名詞sekor+] **～を（～と）名付ける、～を（～と）呼ぶ。**。: re an kuni iki=an (名前があるようにする)
rekte レクテ【他動詞】**～を鳴らす。**。: humi an=nuyar (～の音を聞かせる)
rekut レクツ【名詞】**首。**。: an=pake an=penram uturke (頭と胸の間の部分)
ren レン【名詞】**三人。**
rep レパ【名詞】**三つ。**
repni レパニ【名詞】**拍子木。**。: ani rep=an ni (それで拍子を取る木)
rera レラ【名詞】**風。**。: apto as hi ta nitay suyesuye p (嵐の時に林を揺らすもの)
rerko レシコ【名詞】**日。**。: tokam rerko 昼の日。: kunne rerko 夜の日。: to (日)
reska レシカ【他動詞】**～を育てる。**(類*resu*)
resu レス【他動詞】**～を育てる。**
retar レタラ【自動詞】**白い。**
rewsi レウシ【自動詞】**泊まる。**
rikun リクン【自動詞】**高い、上がる。**。: rik ta an, rik ene oman (高みにある、高みに上がる)
rimse リムセ【自動詞】**踊る。**(類*upopo*)。: 【名詞】**踊り。**(類*upopo*)。: upopo=an (踊る)
riwka リウカ【名詞】**橋。**話者によっては ruyka ルイカと発音する場合もある。同じような例は、puyar と puray (窓) などにも見られる。: pet kama ru (川をまたぎ越す道)
ro ロ【文末詞】[文+] **(～し) よう、(～し) ましょう。**(類*rok*)。: inu kur turano iki hi ta itak kur ye p iyotta iosi ek itak (聞き手と共にする時に話し手が言う言葉の最後にくる言葉)
rok¹ ロク【助動詞】**(～し) た。**(単*a*)。: wa an (～してしまっている)
rok² ロク【文末詞】[文+] **(～し) よう、(～し) ましょう。**(類*ro*)。: inu kur turano iki hi ta itak kur ye p iyotta iosi ek itak (聞き手と共にする時に話し手が言う言葉の最後にくる言葉)
ronnu ロンヌ【他動詞】**～を殺す。**(単*rayke*)
rorunpuyar ロルンプヤラ【名詞】**東窓・神窓。**。: epera an puyar (東にある窓)
rorunso ロルンソ【名詞】**上座。**(しばしば/roruyso/と発音。)。: epera an so (東にある座)
roski ロスキ【自動詞】**立つ。**(単*as*)
ru ル【形式名詞】[文+] (知識から導かれた判断をさして) **(～する・した) こと・の。**(関*haw(e), hum(i), sir(i)*)。: [文末詞的に用いられて] (～する・した) の。: an=eraman pe (知っていること)
rumse ルムセ【自動詞】(*rimse* の異形・異綴り) **踊る。**(類*upopo*)。: 【名詞】**踊り。**(類*upopo*)。: upopo=an (踊る)
rupaye ルバイエ【名詞】**語り物、語られる物語。**(反*sakoye, 類irupaye, rucaye*)
rura ルラ【他動詞】**～を運ぶ。**。: an=kor wa paye=an, an=kor wa arki=an (持って行く、持って来る)
ruska ルスカ【他動詞】**～に腹を立てる、～に怒る。**(自*iruska*)。: an kusu iruska=an (～があるために怒る)
rusuy ルスイ【助動詞】**～したい。**。: [動詞句+] [～し] たい、[～し] たがる。: [iki+] iki=an hi an=eramasuy (～することが好ましく思う)
ruwe ルウェ【形式名詞】[文+] **(～する・した) の。**。: [文末詞的に用いられて] **(～する・した) の。**。: an=eraman pe (知っていること)
ruyanpe ルヤンペ【名詞】**雨。**「雨」の意味で apto を用いる方言もあるが、旭川で apto は寧ろ「嵐」となることが多いらしい。: nis kotor wa wakka rap (空から水が降る)
sa サ【名詞】**(～の) 姉。**。: pa poro matne irwaki (～の年上の女兄弟)
saha サハ【名詞】**(～の) 姉。**
sak サク【他動詞】**～が～を持たない、～に～がない。**(反*kor*)。: [nep¹ nep²+] [何か¹] が [何か²] を持たない、[何か²] が [何か¹] がない。: (自動詞+sak noの形で) ～せず。: somo an=kor, or ta isam (～を持たない、～のところに～がない)
sak サク【名詞】**夏。**。: sak pa 夏の年。: iyotta sirsesek hi (最も暑い時)
sake サケ【名詞】**酒、強い酒。**。: tonoto neno an pe (どぶろくのようなもの)
sakno サクノ【助詞】[名詞・自動詞+] **～(すること) なく。**。: sak [～

を欠く]+no「副詞形成語尾」と分解されるが、名詞+saknoの形を一まとまりと考えれば、saknoを助詞と見ることも出来る。
sakoye サコイエ【名詞】**誹り物、誹われる物語。**(反*rupaye, irupaye, rucaye*)
samayekur, Samayekur サマイエクル【名詞】**サマイクル、サマイエクル。**他の地方ではサマユンクル(Samayunkur)とも言う。人間の始祖となる巨大な神で、国造りの神とも呼ばれる。旭川では通常伝説の主人公で、それに対してオキクルミが悪い役回りをする。北海道南西方言ではこの関係が逆になる。
sampewen サンペウエン【自動詞】**具合が悪い、具合が悪くなる。**。: an=penramu an=honi arka (胸やお腹が痛くなる)
sanke サンケ【他動詞】**～を出す。**。: soyke ne an=rura (外へ運ぶ)
sankenay サンケナイ【場所名詞】**大沢、下手の沢。**。: panike ta an nay (川下側の沢)
sap サパ【自動詞】(川下へ) **下る、(山から野へ) 出る、(浜へ) 下りる。**(類*ran, asin*)。: panake ne paye=an, nupuri or wa nup or ene paye=an, pis or ene paye=an (川下へ行く、山から野へ行く、浜へ行く)
sasusysir サスイシリ【名詞】**子孫。**
satporo, Satporo サツポロ【場所名詞】**札幌。**。: yaunmosir ta iyotta poro kotan (北海道で最も大きい街)
sattek サツテク【自動詞】**痩せる。**(反*kamus*)。: kamsak (肉がない)
sayo サヨ【名詞】**粥。**。: amam wakka an=omare wa an=suwe p (米を水に入れて炊いたもの)
sekor セコロ【助詞】**～と。**。: [語、句、文+] ～と (言う、思う)。: yak, ari (～と)
sempiri セムピリ【場所名詞】**～の陰。**。: sermake (背後)
sempirkehe セムピリケヘ【場所名詞】**～の陰。**。: sermake (背後)
sepka セツカ【名詞】**莫座の編み糸。**。: citarpe ka, tusi (莫座の糸、紐)
sermakaki セレマカキ【他動詞】意味未詳。原典では、sermaka (～の背後)、ki (をする) で「背後を守る」と解釈。
sermake セレマケ【位置名詞】**(～の) 背後。**。: an=setur sam (背中の側)
sesek セセク【自動詞】**熱い、暑い。**
sihumnuyar シフムヌヤラ【自動詞】**(自分の来訪を知らせるために) 音を立てる。**。: ek=an hi an=eramante kusu humasi (来たことを知らせるために音を立てる)
sik シク【名詞】**目。**
sikaopaste シカオパシテ【他動詞】**～に助けを求める。**。: un=kao pas sekor itak (助けてと言う)
sikeranaatte シケラナアツテ【自動詞】**目を伏せる。**。: ra ene inkar (下を見る)
sikeuspa, Sikeuspa シケウシパ【地名】**シケウシパ。**「荷を背負うところ」程度の意味。神居古潭に掛かる神居大橋の下流側、石狩川左岸の岩畳のあたり。
sikkew シッケウ【場所名詞】**(～の) 隅。**。: kese (～の下手)
siknu シクヌ【自動詞】**生きる、生き延びる。**(反*ray*; 類*onumposo*; 他*siknuka*)。: somo ray=an no okay=an (死なずにいる)
siknuka シクヌカ【他動詞】**～を生かす、～を生き延びさせる。**(反*rayke, ronnu*; 自*siknu, onumposo*)。: somo an=rayke no an=anu (殺さずに置く)
sikpe シクペ【名詞】**(あくびなどに伴って出る) 涙。**
sine シネ【形容詞】**一つの～。**。: ipiski=an yak hoski ek (数えるとき最初に来る)
sinean シネアン【形容詞】**ある～。**。: nep ka an (何かの、いずれかの)
sineanta シネアンタ【名詞・副詞】**ある時、ある日。**。: sienan to ta (ある日に)
sinen シネン【名詞】**一人。**。: sine kur (一人の人)
sinep シネプ【名詞】**一つ。**。: rep akkari tup hayta (三より二少ない)
sinepesan シネベサン【形容詞】**九つの。**
sinepesaniw シネベサニウ【名詞】**九人。**
sinepesanpe シネベサンペ【名詞】**九つ。**
sinewe シネウェ【自動詞】**訪問する。**。: unukar kusu oman (会いに行く)
sinki シンキ【自動詞】**疲れる、疲れている。**。: monrayke=an kas uy wa nep ka an=eaykap (働き過ぎて何も出来ない)
sinnurappa シンヌラツパ【名詞】**先祖供養。**
sino シノ【副詞】**本当に。**

sinot シノツ【名詞】**遊び。**
sintoko シントコ【名詞】**宝器・米びつ。**。: amam an=omare p (米を入れるもの)
sinuma シヌマ【代名詞】**私。**。: itak kur ene an=rekore katu (話し手の呼び方)
sipase シパセ【形容詞】**とても大切な。**
siporoimeruipiskip シボロイメルイピシキツ【名詞】**コンピューター。**
sir シリ【形式名詞】**目で見た様子、状況、天気、[文+siriの形で接続助詞的に] ～するようで。**。: 【名詞】大地、(地形としての) 山。: ene an=nukar katu (見える姿)
siran シラン【自動詞】[文(kotom)+] **～のようだ。**。: siri an=nukar (～な様子が見える)
siranpakamuy シランパカムイ【名詞】**土地の神、大地の神、樹木神。**
siretok シレトク【名詞】**美貌。**
siri シリ【形式名詞】**目で見た様子、状況、天気、[文+] く様子をみて判断して (～する・した) ねえ、[文+siriの形で接続助詞的に] ～するようで。**。: 【名詞】大地、(地形としての) 山。: ene an=nukar katu (見える姿)
sirka シルカ【名詞】**刀の鞘。**。: emusi tuypoki, an=ani hike (刀の下端、持つ所)
sirkanuye シルカヌイエ【自動詞】**刀の鞘の模様を彫る。**(類*emuskanuye*)。: sirka an=nuye (刀の鞘を彫る)
sirki シルキ【自動詞】**(～の) ようである。**。: siri an (という様子がある)
sirun シルン【形容詞】**醜い。**。: siri wen, katu wen (姿が悪い)
sisam シサム【名詞】(アイヌ人に対して) **和人、近くの外国人。**(反*aynu*)。: hure sisam ロシア人。: tonokotan or wa arki utar (本州から来たものたち) , repun kur (外国人)
sisirmuka, Sisirmuka シシリムカ【地名】**沙流川筋。**。: Sar kotan (沙流川流域の集落のあるところ) , yayunmosir ka ta ekusun an (北海道の南にある)
siso シソ【名詞】**右座。**rorunsoに視点を置いて右側。: emakas an so (北にある座)
sitayki シタイキ【他動詞】**～を痛めつける。**
sitokere シトケレ【折り返し要素】「団子が終わる」程度に聞こえるが意味未詳。
sitoma シトマ【他動詞】**～を恐れる、～を怖がる。**(自*isitoma*)。: an=homa sekor yaynu=an (～が恐ろしいと思う)
sittekka シツテッカ【他動詞】**～を許す。**
situnpekamuy シトゥンペカムイ【名詞】**幸運の神、運を授ける神、キツネ神。**
siwnin シウニン【自動詞】**青い、黄色い。**
siyeye シイエイエ【自動詞】**病気である、病気になる。**。: 【名詞】病気。: arka=an (病気である、病気になる)
somo¹ ソモ【副詞】[+動詞] **[～し] ない。**。: [方言ノート] 他の多くの方言でもsomoが用いられるが、静内や三石などでは*henne, homo* が用いられるらしい。: [+iki] iki hi ka isam ([+そうである・そうする] そうであること・そうすることがない)
somo² ソモ【問投詞】**いいえ、違います。**。: somo ese=an hi ta an=ye itak (承諾しない時に言う言葉)
sonno ソンノ【副詞】**本当に、とても。**。: kasuy (～すぎる)
sonnoka ソンノカ【副詞】**本当に、とても。**。: kasuy (～すぎる)。
sorapci, Sorapci ソラツチ【場所名詞】**空知**。北海道滝川市を中心とする空知川流域。
soy ソイ【場所名詞】**外。**。: oske somo ne hi (中ではないところ)
soyokatciwe ソヨカツチウェ【他動詞】**～を締め出す。**。: soyke ne an=sanke (外へ出す)
suke スケ【自動詞】**料理をする。**。: 【名詞】料理。: ipe etoko an=oyki (食事の準備をする)
sukup スクツ【自動詞】**育つ、暮らす。**。: okay=an (暮らす)
sunke スンケ【自動詞】**嘘をつく。**。: 【名詞】嘘。: anpe somo ne p (an=ye) (本当ではないこと (を言う))
supop スポツ【名詞】**箱。**伝統的には、刀、宝物など大切なものを入れるのに用いたものらしい。suop スオプは「かご」と訳されることが多いが、同じ語である可能性が高い。: emus, ikor neno an pe an=o p. suop ka sine itak ne humas
suwe スウェ【他動詞】**～を煮る、～を炊く。**。: su oske ipe wakka an=omare wa suke=an (鍋に食べ物と水を入れて料理する)
suy¹ スイ【名詞】**穴。**。: oha hi (空であるところ) rikun suy天窓。
suy² 【副詞】**また、再度。**。: na arsuy (もう一度)
ta¹ タ【他動詞】(水) **を汲む、(地面から) ～を掘る、(水面から) ～**

を取る。。: sir wakka kaske wa uk (地面、水面から～を取る)
ta² タ【助詞】[場所名詞・位置名詞+] **～に、～で。**。: oma wa (～にあって、～にいて)
taan タアン【形容詞】**その、あの。**話し手と聞き手のいる場所(「*te* テ」や「*teor* テオロ」で指し示される場所)の外にある。(*toan* との対比で) 比較的近いと話し手が思う。(反*tan, toan*)。: " te, teor " soyke ta an, or ta itak kur inu kur tura an hi soyke ta an pe (*toanpe* akkari hankeno an) (「ここ」の外にある、話し手と聞き手のいるところの外にある [*toan* よりも近くにある])
taani タアニ【場所名詞】(< *taan hi*) **あそこ。**(類) : te akkari tuyma hi (ここよりも遠い場所)
taanpe タアンペ【代名詞】**それ、あれ。**話し手と聞き手のいる場所(「*te* テ」や「*teor* テオロ」で指し示される場所)の外にあるもの。(*toanpe* との対比で) 比較的近いと話し手が思うもの。(関*tanpe, toanpe*)。: "te, teor" soyke ta an pe, or ta itak kur inu kur tura an hi soyke ta an pe (toanpe akkari hankeno an pe) (「ここ」の外にあるもの、話し手と聞き手のいるところの外にあるもの [*taan* よりも遠くにあるもの])
takne タクネ【自動詞】**短い。**
tameranke タメランケ【他動詞】**～を刀で切り落とす。**。: an=tametuye wa an=ranke (刀で切って下ろす)
tametuye タメトウイエ【他動詞】**～を斬る**。: emus ani an=tuye (刀で切る)
tamkur タムクル【名詞】**刀の一振り、(ひと) 太刀。**。: emus an=terkere (刀を振る)
tan タン【形容詞】**この。**話し手と聞き手のいる場所(「*te* テ」や「*teor* テオロ」で指し示される場所)の中にある。(反*taan, toan*)。: xte, teor t ta an, or ta itak kur inu kur tura an hi ta an (「ここ」にある、話し手と聞き手のいるところにある)
tane タネ【副詞】**今、もう、いますぐ。**。: itak=an hi, nean hi ta (話している時、その時に)
tanene タネネ【折り返し要素】「今、このように」程度に聞こえるが意味未詳。
tanne タンネ【自動詞】**長い。**
tanokaype タノカイペ【代名詞】**これらのもの。**
tanpa タンパ【名詞・副詞】**今年。**。: tanto oma pa (今日が入っている年)
tanpe タンペ【代名詞】**これ。**話し手と聞き手のいる場所(「*te* テ」や「*teor* テオロ」で指し示される場所)の中にあるもの。(反*taanpe, toanpe*)。: "te, teor" ta an pe, or ta itak kur inu kur tura an hi ta an pe (「ここ」にあるもの、話し手と聞き手のいるところにあるもの)
tanto タント【名詞・副詞】**今日。**。: tane an to (今ある日)
tap タツ【副詞】**かく、かように。**(類*tapne*)。: tanpe neno (このように)
tapan タパン【自動詞】**(～) であります。**(類*ne*)。: 【形容詞】**かくある、かかる。**。: ne, tan (～である、この～)
tapanpe タパンペ【名詞】**かくあるもの。**
tapne タツネ【副詞】**かく、かよに。**。: tanpe neno (このように)
taporowano タボロワノ【副詞】**それから、それで。**(類*orowano*)。: neanpe ne ruwe ne kor (そのようであって)
taskur cup タシクルチュウ【名詞】**二月。**
tatni タツニ【名詞】**カンビ、樺の木。**。: sinean ni (ある木)
te テ【場所名詞】**ここ。**。: 話し手のいる場所。: or ta itak kur an hi
teeta テエタ【名詞・副詞】**昔。**(反*tane*)。: husko toy (古い昔)
tek¹ テク【名詞】**手。**
tek² テク【助動詞】**(～すると) すぐ。**。: patek ne tek (～するや否や)
teksama テクサマ【位置名詞】**(～の) すぐ側、(～の) 手もと。**。: an=temtem easkay hi (～が手探り出来るところ)
teksamake テクサマケ【位置名詞】**(～のすぐ) 側。**。: teke an=repa easkay hi (手を届かすことが出来るところ)
tekturi テクトウリ【自動詞】**腕を伸ばす。**。: tek an=turi (手を伸ばす)
tekyoni テッコニ【自動詞】**腕を縮める、腕を曲げる。**。: tek an=yoni (手を伸ばす)
temnikor テムニコロ【名詞】**腕の中。**。: an=tapsutu uturke (腕の間)
teor テオロ【名詞】**ここ。**
to ト【名詞】**沼、湖。**。: wakka uekarpa wa oma hi (水が集まるところ)

toan トアン【形容詞】**あの**。話し手と聞き手のいる場所（「*te*テ」や「*teor*テオロ」で指し示される場所）の外にある。（*taan*との対比で）比較的遠いと話し手が思う。（反*tan*, *taan*）；“te, teor” soyke ta an ruwe ne kor tuymano an, or ta itak kur inu kur tura an hi soyke ta an ruwe ne kor tuymano an (taanpe akkari tuymano an)（「ここ」の外にある、話し手と聞き手のいるところの外にある【*taan*よりも遠くにある】）

taanpe トアンペ【代名詞】**あれ**。話し手と聞き手のいる場所（「*te*テ」や「*teor*テオロ」で指し示される場所）の外にあるもの。（*taanpe* との対比で）比較的遠いと話し手が思うもの。（反*taanpe*, *taanpe*）；“te, teor” soyke ta an ruwe ne kor tuymano an pe, or ta itak kur inu kur tura an hi soyke ta an ruwe ne kor tuymano an pe (taanpe akkari tuymano an pe)（「ここ」の外にあるもの、話し手と聞き手のいるところの外にあるもの【*taan*よりも遠くにあるもの】）

toetanne (cup) トエタンネチュウ【名詞】**三月**。

tokam トカム【名詞】**昼**。:kunnano kunne uturke, peker cup ahun etoko（朝と夜の間、太陽の沈む前）

toma, Toma トマ【場所名詞】**当麻**:北海道当麻町。

tomisanpeci sinutapka, **Tomisanpeci Sinutapka** トミサンベチ・シヌタツカ【場所名詞】**トミサンベツ・シヌタツカ**。:Ruymoy samake ta an yak an=ye hi re（留萌の側にあると言われる所の名前）

tonkori トンコリ【自動詞】**トンコリ**、**五弦琴**。

tono トノ【名詞】**日本人**。（類*sisam*）:aynukor=an kor ene sisam utar an=rekore katu（和人に対する持ち上げた言い方）

tonokotan トノコタン【場所名詞】**本州**。:oro ta sisam okay poyyakotan（和人の住んでいる日本）

tonoto トノト【名詞】**神酒**。:sake（酒）

topenpe トベンペ【名詞】**甘いもの**、**お菓子**、**砂糖**。

totek トーテツ【自動詞】**元気である**。:pirka no an=an, siyeye an=sak（元気でいる、病気ではない）

totto トット【名詞】**お母さん**。（反*hanpe*）:unu（母）,pokor menoko（子を産んだ女性）

toy トイ【名詞】**土**、**畑**。: *toy ataye* 年貢。

toyta cup トイタチュブ【名詞】**六月**。

toytukan トイトukkan【他動詞】**～を酷く撃つ、～を攻撃する**。:ay, teppo tama an=hoyupure（矢や鉄砲玉を飛ばす）

tu トゥ【形容詞】**二つの**。:sinep wano sinep uekari p（一つと一つが集まったもの）

tuka トッカ【助数詞・形式名詞】**～本**。:tuy（～本）

tuki トウキ【名詞】**杯**。:an=oikup（酒を飲む道具）

tun トウン【名詞】**二人**。:sinen newa sinen（一人と一人）

tunas トウナシ【自動詞】**速い**。

tunasno トウナシノ【副詞】**速く**。

tup トアップ【名詞】**二つ**。

tupesan トゥベサン【形容詞】**八つの**。:wanpe akkari tup hayta（十までに二つ足りない）

tupesaniw トゥベサニウ【名詞】**八人**。

tupesampe トゥペサンベ【名詞】**八つ**。

tura トゥラ【助詞・副詞】**～と共に、～を伴って、それ（彼・彼女・彼ら）と共に、それ（彼・彼女・彼ら）を伴って**。:【他動詞】～を連れる、～を伴う。

turep トゥレツ【名詞】**ウバユリの根**。

turesi トゥレシ【名詞】（**～の**）**妹**。:okkay or wa an=nukar mat aki（男から見た女兄弟）。

tusse トウッセ【自動詞】**飛び**。

tusu トゥス【動詞】**巫術をする**。:【名詞】**巫術**、**トゥス**。:kamuy kor nupurpe an=etun wa yaykopeker=an（神の威力を借りて事物について判断する）

tuy トウイ【助数詞・形式名詞】**～本、～切れ**。:tuka（～本）

tuyka トウイカ【位置名詞】（棒状のもの）**上端**。（反*tuypok*）:repni neno an pe pake（拍子木のようなものの頭の部分）

tuyma トウイマ【自動詞】**遠い**。:【名詞】**遠く**。（反*hanke*）:toanhi ta an（ずっと遠くにある）

tuymano 【副詞】**遠く、遥かに**。（反*hankeno*）:【名詞】**遠く**。:hanke ka somo ki no（近くなく）

tuypa トウイバ【他動詞】**～を切る**。:usa makiri, tasiro, emus ani an=usaraye（短刀、山刀、刀などで分ける）

tuypoki トウイボキ【位置名詞】（棒状のもの）**下端**。（反*tuyпка*）:repni neno an pe kese（拍子木のようなものの下の部分）

（反*tuyka*）

u ウ【虚辞】口調を合わせるために用いられる。

uekarpa ウエカラバ【自動詞】**集まる**。（類*uekari*; 他*uekarire*）

uekatayratkino ウエカタイラッキノ【副詞】**円満に**:pirka sukup an=kor kane（達者に暮らして）

uekuruyse, Uekuruyse ウエクルイセ【名詞】**地名**。

ueoyakno ウエオヤクノ【副詞】**互いに異なって、互いに違って**。（反*uneno*）:uneno an ka somo ki no（互いに同じではなく）

uepirka ウエピリカ【自動詞】**共に達者に暮らす**。:uturano pirka sukup an=kor（共に良い暮らし持つ）

uerankarp ウエランカラツ【自動詞】（**通常二人が**）**挨拶を交わす**。:ukoonkami=an（挨拶を交わす）

uk ウク【他動詞】**～を取る、～を探る**。:an=ani（手で取る）, an=uekarire（集める）

ukoitak ウコイタク【自動詞】**話す、会話する**。:uturano itak=an（一緒に話す）:【名詞】**会話**

ukoonkami ウコオンカミ【自動詞】（**通常二人が**）**挨拶を交わす**。:ukoonkami=an（挨拶を交わす）

ukor ウコロ【自動詞】（**二人が**）**結婚する**。

ukotektumam ウコテクトウマム【自動詞】（**通常二人が**）**手を取り合う**。:uteke an=anpa（互いの手を取る）

ukousaraye ウコウサライエ【他動詞】**～を分け合う**。:serke poronno an=kar wa ponno ponno an=ukouk（部分を作って、ちよっとずつ取り合う）

ukuran ウクラン【名詞・副詞】**夜**。:kunne（夜）

uminare ウミナレ【自動詞】**皆で大笑いする**。:uturano mina=an（一緒に笑う）

umma ウンマ【名詞】**馬**。

umoneotke ウモネオツケ【自動詞】**互いを肘でつつく、肘でつつきあう**。:uteke an=otke（互いの手を突く）

un¹ ウン【他動詞】**～が～に本来的にある、～が～につく**。:[nep¹ nep²+]〔何か¹〕が〔何か²〕に本来的に存在する、〔何か¹〕が〔何か²〕に生息する、〔何か¹〕が〔何か²〕につく。:[nep¹ nep²+]ney ne yakka nepka¹ nepka² or ta an, nepka¹ anakne nepka² or ta an pe ne（いつでも何か¹は何か²のところにある、何か¹は何か²のところにあるものである）

un² ウン【助詞】（**沙流・鶴川・千歳方言**）**～へ**。旭川ではene。:(Sar un kur Sikot un kur iporse) ene

un= ウン【人称接辞】〔+他動詞〕**私たち（を～する）、私たち（に～する）、【物語の中で】私（を～する）、私（に～する）**。（類i=）:itak kur utar ekota iki=an sekor an moymoykeitak etoko us（話し手たちに対して何かがされるという動詞の前に付く）

unapte ウナツテ【他動詞】**～を招待する**。

unarpe ウナラペ【名詞】**おばさん**。:rupne mat, huci akkari pewre mat（歳を取った女性、お婆さんより若い女性）

uneno ウネノ【副詞】**互いに似て**。

unenoan ウネノアン【副詞】**互いに似て、同じく**。（反*ueoyakno*）:uneno an ka somo ki no（互いに同じではなく）

unintep ウニンテツ【名詞】**オニヤガラの根**。

unisuk ウニスク【自動詞】**互いに頼り合う、力を合わせる**。:an=uekarpa wa ukaopas=an（集まって助け合う）

unu ウヌ【名詞】《文語体》（**～の**）**母**。:totto（お母さん）

unuhu ウヌフ【名詞】《文語体》**母**。:totto（お母さん）

unukar ウヌカラ【他動詞】**会う**。:sine hi ta okay=an wa uerankarap=an（同じところにいて挨拶する）

upas ranke cup ウパシランケチュウ【名詞】**十二月**。

upas rure cup チュウ【名詞】**四月**。

upas ウパシ【名詞】**雪**。

upascironnupkamuy ウパシチロンヌプカムイ【名詞】**危難救いの神、厄除けの神**、シロイタチ神。

upopo ウポボ【自動詞】**歌う、踊る**。:【名詞】**歌、踊り**。:rimse=an（踊る）

uras ウラシ【名詞】**ささ、熊笹**。:cise tumam cise oson ekota an=tese kina, an=ecisekar pe ene an=ye korka toy or wa etuk pe anak ʔhuttaʔ sekor an=ye（家の壁、屋根に編みつける草、家の材料としてはこう呼ぶが、地面に生えているものはhuttatと言う）

ureska ウレスカ【自動詞】**互いを育てる、共に達者に暮らす**。:uturano pirka sukup an=kor（共に良い暮らし持つ）

uroreasi ウロレアシ【他動詞】**～を並べる**。:usam ta an=ama（隣り合うように置く）

uryu, Uryu ウリュウ【場所名詞】**雨竜**:北海道雨竜町。

usa ウサ【副詞】**いろいろ（と）**。

usaanpe ウサアンペ【名詞】**いろいろなもの、いろいろなこと**。:sinep patek somo ne no oya p ka（一つだけでなく他のことも）

ussiw ウッシウ【名詞】**召使**。

utaperari ウタペマリ【自動詞】**肩を並べる**。:usam ta okay=an（互いに隣り合う）

utar ウタラ【名詞】**仲間、親類、同族、～たち**。:[単独で時にutariの形で] 仲間、親類、同族。[名詞+] ～たち。:sine sinrit kor pe（同じ先祖を持つ者）

utarpa ウタラバ【名詞】**人の上に立つ者、立派な人、旦那**。:kotan ne ciki utari ne ciki kor kur（村であれ、親類であれ治める人）

uteksam ウテツサム【自動詞】（**通常二人の**）**互いの側**。:uteksam（互いの側）

utur ウトゥル【位置名詞】**～の間**。:nep ka newa nep ka an wa tup an=tomotuye hi（何かと何かがあり、二つのを横切るところ）

uturano ウトゥラノ【副詞】**一緒に**。:sine an hi ta okay wa（同じ場所にいて）

uymam ウイマム【自動詞】**交易に出かける**。

wa¹ ワ【助詞】[位置名詞・場所名詞+] **～から**。:[普通名詞・人称接辞 or +]（**～のところ**）**から**:(特定の表現で) ～に、～で。:soyke ene（～の外へ）

wa² ワ【接続助詞】**～して、～してから**。:[動詞+wa anの形で] [既に～し] ている、[～し] である。:kane（～した上で）

wa³ ワ【文末詞】[文+]（**～する・した**）**よ**。:ramu hawke no an=ye hi ta iyotta osi an=ye itak（優しく言う時に最後に言われる言葉）

wakka ワッカ【名詞】**水**。:pet or ta an=ta p（川で汲むもの）, pe（水）

wakkata ワッカタ【自動詞】**水汲みをする**。

wakkauskamuy ワッカウシカムイ【名詞】**水の神**。:wakka kor kamuy（水を治める神）

wan ワン【形容詞】**十の**。

waniw ワニウ【名詞】**十人**。

wano ワノ【助詞】=wa【位置名詞・場所名詞+】 **～から**。:[普通名詞・人称接辞 or +]（**～のところ**）**から**:(特定の表現で) ～に、～で。:soyke ene（～の外へ）

wanpe ワンペ【名詞】**十個**

wen ウェン【自動詞】**悪い**。（他*wente*）:悪い、ひどい。:somo pirka（良くない）

wenkur ウェンクル【名詞】**貧乏人**。:ikor sak pe（財産ないもの）

wenno ウェンノ【副詞】**悪く、酷く**。

wentarap ウェンタラツ【自動詞】**夢を見る**。

wente ウェンテ【他動詞】**～を荒らす**。（反*pirkare*; 自*wen*）:somo pirkakuni iki an（良くなくなることにする）

ya ヤ【文末詞】**～しますが、～して下さい**。:[文+] [～し] ますが、「～して」下さい。:an=erampetek pe usa an=eramuska re p usa nen ka an=ekopis hi ta ikopis itak kes ta an=anu p（分からないこと知らないことを誰かに尋ねる時、尋ねる言葉の最後につける言葉）

yak ヤク【接続助詞】[文+]:+発話・認識動詞】**～と（言う・思う）**:[文 yak pirka/wenの形で]（～する）といい・いけない。

yak, yakne, yakun ヤク、ヤクネ、ヤクン【接続助詞】**～すると、～するなら、～したら**。:[動詞句・文+] 条件を導く。:[iki +] iki hi ta（～する時に）

yakka¹ ヤッカ【接続助詞】< ya ka [文+] [+erampetek/eraman]（**～する・した**）か、（**～する・した**）**かどうか（分からない・分かる）**。:[iki +] iki=an he somo iki=an he（するのかしないのか）

yakka² ヤッカ【接続助詞】（**～する・した**）**としても**。:hi anpe ne kotom an korka（～することは事実でありそうだけれども）

yakkayki ヤッカイキ【接続助詞】《文語体》（～する・した）としても（～する・した）とはいえ。:（**釧路・白糠方言**）（**～する・した**）としても。:(Kusuri un kur Sirarka un kur iporse) yakka（～する・した）けれども

yakne ヤクネ【接続助詞】**～すると、～するなら、～したら**。（類*yakun*）:〔動詞句・文+〕 条件を導く。:[iki +] iki hi ta（～する時に）

yakun ヤクン【接続助詞】**～すると、～するなら、～したら**。（類*yakne*）:〔動詞句・文+〕 条件を導く。:[iki +] iki hi ta（～する時に）

yan ヤン【文末詞】[文+] **～して下さい**。:nep ka ki wa en=kore sekor itaka=an hi ta iyotta osi an=ye itak（～して下さいと言う時に最後にいう言葉）

yanke ヤンケ【他動詞】（**船など**）**を陸に揚げる**、～を水から道具で探る。:cip usa wakka or wa ya ta an=rikinte（舟などを水から陸に上げる）, pet to or wa aneiwanke ani nep ka an=uk（川・沼から道具で～を探る）

yantoetun ヤントエトウン【自動詞】**宿を借りる、泊めてもらう**。（反*yantokor*; 類*yantone*）:yantone=an, an=kor cise oyake ta an cise or ta mokor=an（泊まる、自分の家の他のところにある家で寝る）

yantokor ヤントコロ【他動詞】**～を泊める**。:yantonekur ne an=kor（客として持つ）

yas cup ヤシチュウ【名詞】**九月**。

yaunmosir ヤウンモシリ【場所名詞】**祖国、領土、本国**。:**アイヌの生活圏**。:かつては、北東北、北海道、樺太南半分、千島列島までを含んだが、現在は主に北海道を指す。:an=kor kotan, an=kor mosir（自分たちの治める村、国）

yayeisoitak ヤイエインイタク【自動詞】**自分について語る**。（類*yayetuytak*）:yayetuytak=an（自分について語る）

yayetuytak ヤイエトウイタク【自動詞】**自分について語る**。（類*yayeisoitak*）:yayeisoitak=an（自分について語る）

yayeyam ヤイエヤム【自動詞】**気をつける**。:yaytupare=an kuni iki=an（無事であるようにする）

yayeyukar ヤイエユカラ【自動詞】**自分について語る**。（類*yayeisoitak*）:yayeisoitak=an（自分について語る）

yaykonisnu ヤイコニヌ【自動詞】**独りである、寂しい、退屈である**。:sinen ne okay=an（独りで暮らす）、nep ka an=kar pe sak no okay=an（何もすることがなく過ごす）

yaynu ヤイヌ【形容詞】（< **yaun**）**陸の、祖国の**。

yaypekare ヤイペカレ【自動詞】**～を伝う、～を這う**。:nep ka kaske an=kus（何かの上を通る）

yayrayke ヤイライケ【自動詞】**感謝する**。:unci=ekarkar hi an=ekiroroan（してもらったことを嬉しく思う）

yaysinire ヤイシニレ【自動詞】**休む**。（類*sini*）:sinki an=uska kusu ratci sukup an=ki（疲れを消すために穏やかに過ごす）

yaysirepare ヤイシレパレ【他動詞】**～に着く**。:an=kosirepa（～に着く）

yaytopeatte ヤイトペアッテ【自動詞】**波立たせる**。:文字通りには、yay-tope-atte（自分・の乳・を立ち上らせる）で、(川の)水が wakkauskamuy「水の神」のtope「乳」と理解されることから、原典ではこのように解釈しているが、意味は未詳。

yaytupare ヤイトパレ【自動詞】**元気である・になる、健康である・になる**。:siyeye an=sak（病気がない）

yayunaske ヤユナツケ【自動詞】**謝る**。:wen=an korka isittekka wa en=kore sekor itak=an（自分は悪かったが許してくれと言う）

ye イエ【他動詞】[文yak+]（**～と**）**言う、～を言う、～に言う**。:sekor itak（～と言う）

yup ユプ【名詞】**兄**。:概念としての兄。「～の兄」の意味ではyupi, yupihiが用いられる。:pa poro irwak（年上の兄弟）

yupi, yupihi ユピ・ユピヒ【名詞】**～の兄**。: pa poro irwaki（～の年上の兄弟）

yupke ユプケ【自動詞】**強い、激しい**。:ataye～（値段が）高い。:somo hawke（弱くない）, ruy（激しい）

yupkep ユプケツ【名詞】**とんでもないこと**（< 激しいこと）。:an=homa p（恐ろしいこと）

yuukaraori, YUUKARAORI ユーカラオリ【名詞】**優良良織り**。木内綾氏考案の織物で、北海道観光の土産物として有名になった。アイヌの伝統文化に配慮してユーカラを優良良と変えた。:imoka ne an=hok anoskep（土産に買われる織物）